

和歌山大学新聞

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1	001	1951/2/15	1	1	大学管理法通過なるか 狭量なる教授主義 日教組ら圧倒的な反対の声	
2	001	1951/2/15	1	1	論説 和大新聞発刊の意義	
3	001	1951/2/15	1	2	認識薄い管理法 世論調査集計終る	
4	001	1951/2/15	1	4	予餞会	
5	001	1951/2/15	1	4	更に教育の窮迫化 大学地方移譲を勧告	
6	001	1951/2/15	1	5	創刊に際して 学園の公器たれ 学長 糸魚川祐三郎	
7	001	1951/2/15	1	5	オレンジ グリーン 合併問題	
8	001	1951/2/15	1	6	新入学の春近し 入試要領発表	
9	001	1951/2/15	1	7	就職戦線憂なし 求人殺到の経専生	
10	001	1951/2/15	1	8	最高八十八点 進適終る	
11	001	1951/2/15	1	8	遂に成立再建へ 学芸学生大会開かる	
12	001	1951/2/15	1	9	知性と情熱の新聞を 学芸学部長 岩崎真澄	
13	001	1951/2/15	1	9	授業料納付	
14	001	1951/2/15	1	10	通信教育二期生を募集 学芸通信教育にて受付け	
15	001	1951/2/15	1	10	日本空手連盟結成	
16	001	1951/2/15	1	11	“伸びゆく”学芸 但し三階以上は不可	
17	001	1951/2/15	1	12	和生研	
18	001	1951/2/15	1	12	テニスコート完成近し	
19	001	1951/2/15	1	12	附中新校舎建築	
20	001	1951/2/15	1	13	方言学会	
21	001	1951/2/15	1	13	和大卒業式	
22	001	1951/2/15	1	13	人事往来	
23	001	1951/2/15	1	13	ノーパーキング	
24	002	1951/2/15	2	1	大学白書発表 一段の協力要望 整備に懸命の努力	
25	002	1951/2/15	2	2	ウイリアム・フオークナーとその作品 J.D.ギリランド	
26	002	1951/2/15	2	3	十二万冊の最大利用 大学図書館展望	
27	002	1951/2/15	2	4	ヴィジョンとトウル 吉田昇三	
28	002	1951/2/15	2	5	産研より経研へ 近く新活動開始	
29	002	1951/2/15	2	6	音楽部紹介	
30	002	1951/2/15	2	6	生活の「詩」 榎垣實	
31	002	1951/2/15	2	8	静止状態	
32	002	1951/2/15	2	9	書評	
33	002	1951/2/15	2	10	武市健人著「ヘーゲル論理学の体系」 北川宗蔵	
34	002	1951/2/15	2	11	ぺんさき 投稿規定 和大生としての反省	
35	002	1951/2/15	2	11	映画評 嵐が丘 映研部	
36	002	1951/2/15	2	13	一面管理法記事続	
37	002	1951/2/15	2	13	編集室より	
38	003	1951/5/25	1	1	大いなる希望抱いて 第三期生入学式行わる	
39	003	1951/5/25	1	1	入学式学長講演	
40	003	1951/5/25	1	1	論説 学長訓示より	
41	003	1951/5/25	1	2	盛大なる歓迎会開かる 新入生に対する期待大	
42	003	1951/5/25	1	4	会予定	
43	003	1951/5/25	1	4	学長和楽の学園を強調 学長歓迎会で挨拶	
44	003	1951/5/25	1	5	特に悪かった語学 本年度入試回顧	
45	003	1951/5/25	1	6	心の緑化運動始まる 放送設備の利用	
46	003	1951/5/25	1	6	某紙の誇張か 天野文相発言について	
47	003	1951/5/25	1	7	学芸新自治会発足す 当面の問題は規約改正	
48	003	1951/5/25	1	8	活発化する教育研究所 奥安楽川を中心に総合研究	
49	003	1951/5/25	1	9	語学公開講座 十五日から学芸で	
50	003	1951/5/25	1	9	一行一五〇名の大遠征 大阪経大創立記念日に招待さる	
51	003	1951/5/25	1	10	土岐教授名大へ 和大は兼任	
52	003	1951/5/25	1	10	海外に紹介さる 榎垣教授の著書	
53	003	1951/5/25	1	11	某教授は 野瀬新三氏か	
54	003	1951/5/25	1	11	四勝四敗で第三位 近畿六大学軟式野球終る	
55	003	1951/5/25	1	12	甲子園で開幕 硬式野球リーグで和大活躍	
56	003	1951/5/25	1	13	軟式庭球第一位 近畿六大学軟庭リーグ	
57	003	1951/5/25	1	13	学界費値上げ決る	
58	003	1951/5/25	1	13	no Parking	
59	004	1951/5/25	2	1	和歌山大学二年半の歩み 大学整備委員会の業績大	
60	004	1951/5/25	2	1	昭和二十六年度入学者一覧	
61	004	1951/5/25	2	2	奨学資金制度について	
62	004	1951/5/25	2	4	和気暖々の励行寮 新入寮生歓迎コンパ寸描	
63	004	1951/5/25	2	5	乗馬得意の心理学博士 エデルマン女史	
64	004	1951/5/25	2	7	一まず充實か教授陣 新進気鋭の経済学部 今や誇り得る学芸学部	
65	004	1951/5/25	2	8	ぺんさき 投稿規定 教室について	
66	004	1951/5/25	2	9	教務課に苦言	
67	004	1951/5/25	2	10	真砂町文官の施設漸く成る だが大学図書館としての 整備いまだし	
68	004	1951/5/25	2	11	ESS観劇私見 中西祐之助	
69	004	1951/5/25	2	12	英語の授業について	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
70	004	1951/5/25	2	13	学芸に片山 下村兩氏	
71	004	1951/5/25	2	13	学生規則一部改正さる	
72	004	1951/5/25	2	13	編集室より	
73	005	1951/7/6	1	1	盛り上げる 学内自治活動 学芸学生大会	
74	005	1951/7/6	1	1	学部長 学問の自由を叫ぶ	
75	005	1951/7/6	1	1	論説 経学自治会統一問題に寄せて	
76	005	1951/7/6	1	3	新機構を確立 学芸自治委員会	
77	005	1951/7/6	1	3	高まる自治熱 乱立する立候補者 学芸正副委員長選挙終る	
78	005	1951/7/6	1	6	学芸自治会 食堂経営 開店は九月	
79	005	1951/7/6	1	7	百五〇名の遠征に凱歌 大経大二十周年招待試合	
80	005	1951/7/6	1	7	学部長委員の奮発望む 学芸学生補導委懇談会	
81	005	1951/7/6	1	9	胎動する学生寮活動	
82	005	1951/7/6	1	9	写真部誕生	
83	005	1951/7/6	1	9	組織確立急ぐ経済自治会 規約も改正か	
84	005	1951/7/6	1	10	ワークキャンプ行う YMCA	
85	005	1951/7/6	1	10	早く部室を 部室交渉進む	
86	005	1951/7/6	1	10	復活するオレンジ・グリーン	
87	005	1951/7/6	1	10	差別撤廃運動 一応終る	
88	005	1951/7/6	1	11	四佛文学者の来和	
89	005	1951/7/6	1	11	中央大を破る 東京遠征軟式野球部	
90	005	1951/7/6	1	11	近畿学芸総合体育大会	
91	005	1951/7/6	1	12	美術部のカンヴァス	
92	005	1951/7/6	1	12	田所教官消息	
93	005	1951/7/6	1	12	学内放送討論会	
94	005	1951/7/6	1	12	高野山 山の家開設	
95	005	1951/7/6	1	12	経自治役員決る	
96	005	1951/7/6	1	13	人事	
97	005	1951/7/6	1	13	ノーパーキング	
98	006	1951/7/6	2	1	スターリンと言語学 山口慶四郎	
99	006	1951/7/6	2	1	アンケート	
100	006	1951/7/6	2	2	四人の佛文学者を迎へるに際して 北山正迪	
101	006	1951/7/6	2	5	理論は実践から 教生実習	
102	006	1951/7/6	2	7	WADAI	
103	006	1951/7/6	2	8	ぺんさき 投稿規定 教室と自治	
104	006	1951/7/6	2	8	盛会だった水田教官独唱会	
105	006	1951/7/6	2	9	「三食」に苦言	
106	006	1951/7/6	2	10	今考えねばならぬこと 栗山健作	
107	006	1951/7/6	2	10	映画評『北西への道』	
108	006	1951/7/6	2	11	図書館エチイケット	
109	006	1951/7/6	2	13	学会九月に和歌山で 学生経営学研究会	
110	007	1951/11/20	1	1	掲示許可制の撤廃など決議 ようやく成立した学生大会 経済学部	
111	007	1951/11/20	1	1	多彩なスケジュール 和歌山大学祭開く	
112	007	1951/11/20	1	1	論説 経学協議会の前途	
113	007	1951/11/20	1	3	スローガンをかかぎて論争(経済学部) 格下げ反対を具体化	
114	007	1951/11/20	1	3	講和声明否決さる 第十一回日本学術会議	
115	007	1951/11/20	1	5	各地で活発な運動 大市大 京大ら批准反対スト	
116	007	1951/11/20	1	7	反響をよぶ「CIE32項目」	
117	007	1951/11/20	1	7	仮装行列に警官	
118	007	1951/11/20	1	7	強力な組織で対抗 格下げ反対運動	
119	007	1951/11/20	1	8	専門公開講座開かる	
120	007	1951/11/20	1	9	ようやく動いた和太教組	
121	007	1951/11/20	1	9	二位へ進出 底力みせた硬式野球	
122	007	1951/11/20	1	9	医歯科方面に二十四名志願	
123	007	1951/11/20	1	10	教授招へい 北海道まで	
124	007	1951/11/20	1	10	両学自治会協議会生る 既に八回の会合	
125	007	1951/11/20	1	10	自治会(経済) 規約改正か	
126	007	1951/11/20	1	11	“覚悟はよいか” 成績通知表出来る	
127	007	1951/11/20	1	11	関西心理学会 学芸で開かる	
128	007	1951/11/20	1	11	寮祭は23日より	
129	007	1951/11/20	1	12	東都リーグと対戦 軟式野球部	
130	007	1951/11/20	1	12	天皇杯ヨツト・レースで第九位	
131	007	1951/11/20	1	12	前号訂正	
132	007	1951/11/20	1	12	和太人事	
133	007	1951/11/20	1	12	no Parking	
134	008	1951/11/20	2	1	モーム雑感 明らかに通俗文学の旗印 しかも放つ芸術的香気 井上宗次	
135	008	1951/11/20	2	3	作品解説	
136	008	1951/11/20	2	4	学園の条件 ほしい学問の環境 まず学園の緑化 後藤清	
137	008	1951/11/20	2	4	原子力展断片	
138	008	1951/11/20	2	6	製作のことば 丸木位里 赤松俊子	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
139	008	1951/11/20	2	7	脱毛致命的な白血球の減多 人体に与える放射能の影響	
140	008	1951/11/20	2	8	ぺんさき 投稿規定 再び教務課に	
141	008	1951/11/20	2	9	大学祭雑感	
142	008	1951/11/20	2	9	望まれる原子力の平和的利用 解説	
143	008	1951/11/20	2	10	新刊紹介 “労働法” 磯田進著	
144	008	1951/11/20	2	11	文化室について	
145	008	1951/11/20	2	12	映画評 アメリカ映画復興の代表作 クレイマーの「チャムピオン」	
146	008	1951/11/20	2	13	わだい	
147	009	1951/12/20	1	1	こうして起つた 京大事件	
148	009	1951/12/20	1	1	『振子通学』はいや どうなる経済教場移転	
149	009	1951/12/20	1	1	論説 一九五一年を送る	
150	009	1951/12/20	1	2	問題は警官の侵入から 伝統貫く京大	
151	009	1951/12/20	1	3	教育目的の枠内で研究しよう 『教場移転』などにつき学長言明	
152	009	1951/12/20	1	6	学内自治結束へと進む その後の京大	
153	009	1951/12/20	1	7	大学祭を組上に 第九回LE協議会	
154	009	1951/12/20	1	7	委員長の辞表をめぐる 学自委 あわや総辞職 結局は受理されず	
155	009	1951/12/20	1	8	再軍備反対、だが応召？ 世論調査集計終る	
156	009	1951/12/20	1	8	『言論思想弾圧の明文化』	
157	009	1951/12/20	1	9	突如委員の改選 学芸三期文理	
158	009	1951/12/20	1	9	近代的施設を誇る 学芸体育館年内に完成	
159	009	1951/12/20	1	9	立教大学新聞に発禁処分	
160	009	1951/12/20	1	10	検閲ではない 補導部長談	
161	009	1951/12/20	1	10	木村斗伎子さんをむかえて 音楽祭盛会	
162	009	1951/12/20	1	10	文部省へ要望書 近畿地区大学図書館協議会	
163	009	1951/12/20	1	11	検閲としか思えない 委員会談	
164	009	1951/12/20	1	11	WCA演奏 各地で好評	
165	009	1951/12/20	1	12	二月下旬に完成 待望の経済研究所	
166	009	1951/12/20	1	12	学芸後期自治委員さまる	
167	009	1951/12/20	1	12	五連覇ならず 陸上競技部第二位	
168	009	1951/12/20	1	13	王座を占む 軟式庭球部	
169	009	1951/12/20	1	13	no Parking	
170	010	1951/12/20	2	1	未開放部落の歴史 渡邊廣	
171	010	1951/12/20	2	1	アヴァン・ゲールとアプレ・ゲール 宮本義男	
172	010	1951/12/20	2	3	重視される『進適』 27年度入試を探る	
173	010	1951/12/20	2	3	無節操なジャーナリズムの落し子	
174	010	1951/12/20	2	5	人種的偏見と差別 黒人問題にふれて ベティ・ラナム	
175	010	1951/12/20	2	7	ぺんさき 投稿規定 音楽界雑感	
176	010	1951/12/20	2	8	新春へ何を願い、誓うか	
177	010	1951/12/20	2	8	演劇寸感	
178	010	1951/12/20	2	10	新刊紹介 ニッポン日記 マーク・ゲイン著 井本威夫訳	
179	010	1951/12/20	2	11	教育実習について	
180	010	1951/12/20	2	13	わだい	
181	011	1952/2/21	1	1	東京大会で全国に組織網を確立 反対運動新局面へ 格下げ問題	
182	011	1952/2/21	1	1	論説 学生の主体性について	
183	011	1952/2/21	1	2	近畿でも組織の強化 近畿教育系大学連合会発足	
184	011	1952/2/21	1	4	民主教育防衛委員会と改称 学芸格下げ反対対策委員会	
185	011	1952/2/21	1	4	文理コース募集禁止か	
186	011	1952/2/21	1	5	寮賃値上げか 月二百円程度に	
187	011	1952/2/21	1	5	学長に決議文を手交 経済学生大会	
188	011	1952/2/21	1	6	静かな論争に終る 学芸学生大会	
189	011	1952/2/21	1	7	授業料値上げと防衛費	
190	011	1952/2/21	1	7	クラブ費削減 学芸学部自治会	
191	011	1952/2/21	1	8	流会后座談会	
192	011	1952/2/21	1	9	鉄筋三階建 自然科学教室	
193	011	1952/2/21	1	9	単なるプラン 鉄筋ビル山崎課長説明	
194	011	1952/2/21	1	10	名実共に体育だけ 体育館使用方法	
195	011	1952/2/21	1	10	会計課長噂を否定 入学許可証と寄付金	
196	011	1952/2/21	1	11	本年度修了生 学芸学部	
197	011	1952/2/21	1	11	no Parking	
198	012	1952/2/21	2	1	京都大学主催 『河上祭』に参加して 川田隆夫	
199	012	1952/2/21	2	1	和歌山と音楽 片岡頼太郎	
200	012	1952/2/21	2	3	経済二期生のために…『ゼミの手引』ドイツ語のできる人(宮本ゼミ) 新設は馬場、廣橋助教	
201	012	1952/2/21	2	4	オープン閲覧室を	
202	012	1952/2/21	2	5	学問への情熱	
203	012	1952/2/21	2	6	ぺんさき 投稿規定	
204	012	1952/2/21	2	7	凄まじい机争奪	
205	012	1952/2/21	2	7	新映画 日本社会へ示唆 伊・リッツオアマート 一九五〇年作品	
206	012	1952/2/21	2	9	十九名転学部 学芸から経済へ	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
207	013	1952/6/10	1	1	結集する学内平和勢力 教官協議会声明を中心に 学芸教官は静観か	
208	013	1952/6/10	1	1	教官は公務員法の枠内で	
209	013	1952/6/10	1	1	“大入満員”の盛況？ 教室狭く立ちんぼ授業	
210	013	1952/6/10	1	2	破防法闘争委員会生まる 学内運動統一(経済)	
211	013	1952/6/10	1	4	学芸自治会でも対策委を結成	
212	013	1952/6/10	1	4	古林氏を迎え破防法講演会	
213	013	1952/6/10	1	5	静観の学芸教官	
214	013	1952/6/10	1	5	学長「慎重」を要望	
215	013	1952/6/10	1	5	委員会刷新に転期 旧委員総退陣(学芸)	
216	013	1952/6/10	1	6	活動開始の和太職組	
217	013	1952/6/10	1	6	近畿 各大学 教授懇談会開かる 破防法に圧倒的反対	
218	013	1952/6/10	1	6	本年度行事予定	
219	013	1952/6/10	1	7	学外でも最高潮 破防法反対運動	
220	013	1952/6/10	1	8	経済自治委役員決定	
221	013	1952/6/10	1	8	声明 和歌山大学新聞部	
222	013	1952/6/10	1	9	意見書	
223	013	1952/6/10	1	10	広大から協力要請	
224	014	1952/6/10	2	1	破壊活動防止法案について 角を矯めて牛を殺すもの 廣橋次郎	
225	014	1952/6/10	2	2	科学的批判に権力で対抗 宮本義男	
226	014	1952/6/10	2	3	くりかえす治安維持法の悲劇 佐野稔	
227	014	1952/6/10	2	4	政治家の努力の放棄 藤田昭憲	
228	014	1952/6/10	2	6	ぺんさき 遅刻生の小さい贈物	
229	014	1952/6/10	2	7	“大迷惑じゃ” 一市民からの投書	
230	014	1952/6/10	2	7	映画評 欲望という名の電車	
231	015	1952/7/10	1	1	和市 被爆七周年 迎う 記念平和祭を開催 多彩な行事を盛って	
232	015	1952/7/10	1	1	好評裡に終わった破防法案反対デモ	
233	015	1952/7/10	1	1	論説 自治活動前進のために	
234	015	1952/7/10	1	4	天文学集中講座	
235	015	1952/7/10	1	5	就職懇談会開かる	
236	015	1952/7/10	1	6	就職斡旋委決る 前途多難を予想	
237	015	1952/7/10	1	7	五十歩・百歩の善後策 その後の教室問題	
238	015	1952/7/10	1	7	保健所からも注意 不完全な衛生設備 学内食堂	
239	015	1952/7/10	1	8	コール・アカデミー紀南へ 各地を演奏旅行	
240	015	1952/7/10	1	9	学芸自治委決定	
241	015	1952/7/10	1	10	夏期の家・山の家開設	
242	015	1952/7/10	1	10	自治会がアルバイトを斡旋	
243	015	1952/7/10	1	11	七面調	
244	016	1952/7/10	2	1	世界経済と朝鮮動乱 小段文一	
245	016	1952/7/10	2	1	軍拡の行悩みと英仏の動揺	
246	016	1952/7/10	2	1	クラブめぐり 軟式野球部	
247	016	1952/7/10	2	2	実力はAクラス 遠征金工面にやっさ・もっさ	
248	016	1952/7/10	2	3	西欧の危機とベヴァニズム	
249	016	1952/7/10	2	4	書評 詩集「面」 乾武俊著	
250	016	1952/7/10	2	5	水豊爆撃の意味するもの	
251	016	1952/7/10	2	6	国際関係の緊迫が動乱解決	
252	016	1952/7/10	2	6	わだい	
253	016	1952/7/10	2	7	ぺんさき 投稿規定 生ある中に呼ぼう	
254	016	1952/7/10	2	9	軟式野球北海道へ 全日本大会に出場	
255	016	1952/7/10	2	9	坂口君第四位に【マ杯英弁近畿予選】	
256	016	1952/7/10	2	9	虚偽の報道に抗議	
257	017	1952/10/27	1	1	開学 四周年記念祭 迫る 全学統一の記念行事を審議 経学合同学生大	
258	017	1952/10/27	1	1	論説 就職問題に寄せて	
259	017	1952/10/27	1	3	経学中執委 外人教師の拒否声明 学長に申し入れ	
260	017	1952/10/27	1	4	学芸 ESS中執声明に反対	
261	017	1952/10/27	1	6	補導部から 中執声明に警告	
262	017	1952/10/27	1	6	三期学生大会で討議 外人講師問題	
263	017	1952/10/27	1	6	学内にも吹く就職難旋風	
264	017	1952/10/27	1	7	学生の利用如何がポイント	
265	017	1952/10/27	1	8	本学に専攻科設置か 既に申請済み	
266	017	1952/10/27	1	9	陸上競技部の活躍に期待 十一月に西日本大会	
267	017	1952/10/27	1	9	人事移動	
268	017	1952/10/27	1	10	七面調	
269	018	1952/10/27	2	1	紀州の百姓一揆 関山直太郎	
270	018	1952/10/27	2	1	クラブめぐり 空手部 音楽部	
271	018	1952/10/27	2	4	ブルジョア的方法論による偏した意識の露呈 南清彦	
272	018	1952/10/27	2	4	沢付康著 ロシヤ農地制度史論 書評	
273	018	1952/10/27	2	7	ぺんさき 投稿規定 吾が就職戦線に一言申す	
274	018	1952/10/27	2	8	わだい	
275	019	1952/12/22	1	1	出るか補導部”新訓練案” 学生寮真向から反対 来春から実施の懸念大	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
276	019	1952/12/22	1	1	ルポルターージュ大島	
277	019	1952/12/22	1	1	パチンコのない島	
278	019	1952/12/22	1	2	問題の発端	
279	019	1952/12/22	1	3	原爆の子救援会結成 会員募集中	
280	019	1952/12/22	1	3	戦時中の苦い体験	
281	019	1952/12/22	1	3	村をあげての反対運動を展開 婦人も先頭に立つ	
282	019	1952/12/22	1	5	来春早々学長選挙か 目下内規を立案中	
283	019	1952/12/22	1	6	論説 最近の学内をめぐって	
284	019	1952/12/22	1	6	教育者の反対	
285	019	1952/12/22	1	6	島の様子	
286	019	1952/12/22	1	7	化粧がえする 経済学部	
287	019	1952/12/22	1	7	開拓団の血と汗の成果も	
288	019	1952/12/22	1	8	図書貸出計画か 大学図書館	
289	019	1952/12/22	1	8	解説 第三次大学管理法案を衝く	
290	019	1952/12/22	1	9	部屋はできたが… 室数不足で入室拒否	
291	019	1952/12/22	1	9	島の青年と婦人	
292	019	1952/12/22	1	10	卒論締切日決定	
293	019	1952/12/22	1	10	卒論作成に補助金 学芸学部	
294	019	1952/12/22	1	11	接收解除さる 経済グラウンド	
295	019	1952/12/22	1	11	新春に近畿ジュニヤ冬季体育大会	
296	019	1952/12/22	1	11	音楽部発表会	
297	019	1952/12/22	1	11	素朴な平和と安全への希い	
298	019	1952/12/22	1	12	運動部部室難解決に起つ	
299	019	1952/12/22	1	13	七面調	
300	020	1952/12/22	2	1	襲われた学生寮三・一八事件	
301	020	1952/12/22	2	1	今年の回顧録	
302	020	1952/12/22	2	1	外人講師拒否問題 中執委あやまるの巻	
303	020	1952/12/22	2	3	整然示した労学の提携 和大生メーデーに初参加	
304	020	1952/12/22	2	4	ここでも少ない参会者 最初の全学統一学生大会	
305	020	1952/12/22	2	4	盛り上げる 学内平和勢力 破防法反対に結集	
306	020	1952/12/22	2	5	内定率は全国上位 あと一頑張りの就職	
307	020	1952/12/22	2	7	難行を極めた大学祭 一部に徹底を欠く	
308	020	1952/12/22	2	8	学校当局遂に譲らず 前進座招へいもめる	
309	020	1952/12/22	2	8	クラブめぐり 学芸部 ホッケー部	
310	020	1952/12/22	2	9	ペンさき 学生活動について	
311	020	1952/12/22	2	10	学芸に怪事件 公金問題で自治委総辞職	
312	020	1952/12/22	2	11	一汽車通学者より	
313	020	1952/12/22	2	11	今度は公金盗難 暗躍した”手長分子”	
314	020	1952/12/22	2	13	わだい	
315	021	1953/3/18	1	1	今日晴れの第一回卒業式	
316	021	1953/3/18	1	1	学生部は拡大 今春から改る事務機構 既に草案作成申請中	
317	021	1953/3/18	1	1	行事予定	
318	021	1953/3/18	1	1	論説 第一回卒業生を送るに際して	
319	021	1953/3/18	1	2	社会進歩を願う情熱を 学長卒業生の将来を強調	
320	021	1953/3/18	1	3	いつまで続く三、〇〇〇円… 整備委員会計画を延長	
321	021	1953/3/18	1	3	学長・学部長改選迫る 評議会で協議中・決定は四月か	
322	021	1953/3/18	1	4	卒業式予定事項	
323	021	1953/3/18	1	5	本学入学近づく 韓国・沖縄からも	
324	021	1953/3/18	1	6	夜間大学設置運動の現状	
325	021	1953/3/18	1	6	卒業生大いに歓迎 柑芦会	
326	021	1953/3/18	1	6	経済学部 商業高校教育 養成モデルスクールに	
327	021	1953/3/18	1	7	一層の団結目指し 運動部連合会結成さる	
328	021	1953/3/18	1	7	紀学同窓会から祝辞 第一回卒業生に	
329	021	1953/3/18	1	7	卒業著者・テーマ紹介	
330	021	1953/3/18	1	8	自治会と同窓会から卒業生への贈物	
331	021	1953/3/18	1	9	エデルマン女史帰米	
332	021	1953/3/18	1	9	卒業演奏会	
333	021	1953/3/18	1	9	解説 義務教育学校職員法案	
334	021	1953/3/18	1	10	内山完造氏を迎え 帰国報告講演会	
335	021	1953/3/18	1	12	七面調	
336	022	1953/3/18	2	1	私たちの歩んだ四年間	
337	022	1953/3/18	2	1	経済学部	
338	022	1953/3/18	2	1	本学の入試傾向を探る	
339	022	1953/3/18	2	2	出席者	
340	022	1953/3/18	2	4	学芸学部	
341	022	1953/3/18	2	4	出席者	
342	022	1953/3/18	2	4	クラブめぐり 籠球部	
343	022	1953/3/18	2	5	わだい	
344	022	1953/3/18	2	8	卒論テーマ一覧表	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
345	022	1953/3/18	2	9	ペンさき 第一回生を送るに際して	
346	023	1953/5/14	1	1	注目の学長選挙迫る	
347	023	1953/5/14	1	1	和大学生200名も参加 第二十四回メーデー行わる	
348	023	1953/5/14	1	1	論説 学長選挙に希む学問の自由と学園の自治	
349	023	1953/5/14	1	2	官選か民選か 問題の焦点文部省令に 新学長登場は六月中旬頃	
350	023	1953/5/14	1	4	経済学部に関山教授 学芸は審議中	
351	023	1953/5/14	1	5	全寮一年制を回って鳴動の学生寮	
352	023	1953/5/14	1	5	再び寮問題に寄す	
353	023	1953/5/14	1	6	振子通学その後	
354	023	1953/5/14	1	6	軌道に乗る夜間大学設置 経済学部併置の線で	
355	023	1953/5/14	1	7	再燃する横領事件	
356	023	1953/5/14	1	7	参議選まがいの学年区に全学区 経済学部自治委員選出法改む	
357	023	1953/5/14	1	8	元三尾高改装さる	
358	023	1953/5/14	1	9	「文化を守る会」生まる	
359	023	1953/5/14	1	9	悲喜交々の抽選 新入生歓迎会終る	
360	023	1953/5/14	1	10	前進座河原崎国太郎一行公演 文化を守る会主催で	
361	023	1953/5/14	1	10	「民科」の予定	
362	023	1953/5/14	1	11	文化部連合会発足	
363	023	1953/5/14	1	11	中国研究会生る	
364	023	1953/5/14	1	12	学芸に娯楽設備	
365	023	1953/5/14	1	12	市展で特選 洋画彫塑に活躍	
366	023	1953/5/14	1	12	電波にのせて 音楽部のコーラス	
367	023	1953/5/14	1	12	人事移動	
368	023	1953/5/14	1	12	部員募集	
369	023	1953/5/14	1	13	七面調	
370	024	1953/5/14	2	1	一科学者の自己批判 学問の手工業的生産様式について 北川宗蔵	
371	024	1953/5/14	2	1	学内与論を探る	
372	024	1953/5/14	2	4	完成された美しさ 双燕 齊藤茂吉氏の歌一首 田林義信	
373	024	1953/5/14	2	4	クラブめぐり ヨット部 写真部	
374	024	1953/5/14	2	5	柑蘆文庫によせて 附属図書館事務長 米田貫眞	
375	024	1953/5/14	2	8	ペンさき ゼミナールに苦言	
376	024	1953/5/14	2	9	沈黙	
377	024	1953/5/14	2	9	わだい	
378	024	1953/5/14	2	10	映画評 静かなる男 国際劇場	
379	024	1953/5/14	2	11	栄光何するものぞ 日の丸劇場	
380	025	1953/6/10	1	1	反文部省令新段階へ 満場一致で紛争を決議 経済自治委全国的に働きか	
381	025	1953/6/10	1	1	文部省との折衷案 猛反対の教官会議 どうなる？学芸学部長選挙	
382	025	1953/6/10	1	1	論説 共通の目的のために	
383	025	1953/6/10	1	4	みからでたさび 三食でコックを首切り	
384	025	1953/6/10	1	6	ルポルタージュ(富士化成) 危機に立つ中小企業	
385	025	1953/6/10	1	6	省令11号は暴力じゃ ファッション的な学長選考方式 (解説)法学博士 後藤	
386	025	1953/6/10	1	7	ヨット部 近大に惜敗	
387	025	1953/6/10	1	8	学生代表決議申入れ 新委員会初の学長会談	
388	025	1953/6/10	1	10	フランスの詩と音楽 水田氏独唱会二十三日学芸で	
389	025	1953/6/10	1	11	中村君走高跳に大会新	
390	025	1953/6/10	1	12	七面調	
391	026	1953/6/10	2	1	世の中の動き 上林貞治郎	
392	026	1953/6/10	2	2	西日本学生平和大会印象記	
393	026	1953/6/10	2	4	全学校は軍事調査に協力せよ 文部省が公文書で指示 南篠平	
394	026	1953/6/10	2	5	クラブめぐり 陸上競技部 民科学生班	
395	026	1953/6/10	2	6	ペンさき 知りたいんです	
396	026	1953/6/10	2	7	MSAで日本はどうなる 今井義夫	
397	026	1953/6/10	2	8	新聞部より	
398	026	1953/6/10	2	9	映画評 七つの大罪	
399	026	1953/6/10	2	10	七月二日—八日「戦艦大和」セントラル	
400	027	1953/9/16	1	1	どうなった学長選挙 不満の的学芸学部評議員	
401	027	1953/9/16	1	1	論説 子供を不幸にするもの	
402	027	1953/9/16	1	4	学校側ものり出す 反自治庁通達に強い動き 広く県民にも呼びかく	
403	027	1953/9/16	1	4	ルポルタージュ モルモット学童の明暗	
404	027	1953/9/16	1	5	”時代の流れ 点取虫傾向”	
405	027	1953/9/16	1	6	難航する学芸学会	
406	027	1953/9/16	1	7	自治会へ呼び掛け 文理の性格明確化へ	
407	027	1953/9/16	1	8	郷里投票中心に 自治会代表会議	
408	027	1953/9/16	1	8	”生徒の健康状態”	
409	027	1953/9/16	1	9	学長選挙スローガン確認 注目さる和太職組の動き	
410	027	1953/9/16	1	9	”ここにもある経済的悩み”	
411	027	1953/9/16	1	10	ヴオルガ・ドン上映	
412	027	1953/9/16	1	11	原理後任教官は宮本助教授か 市村氏帰任	
413	027	1953/9/16	1	11	人事移動	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
414	027	1953/9/16	1	11	"特権意識をめぐって"	
415	027	1953/9/16	1	12	七面調	
416	028	1953/9/16	2	1	座談会 待ちくたびれた人々の声 学長選挙をめぐって	
417	028	1953/9/16	2	1	現学長批判 天下りはどうもね	
418	028	1953/9/16	2	3	下々の不満はつもの 教授優先主義	
419	028	1953/9/16	2	4	花を交わさん チャン・ミンチュアス	
420	028	1953/9/16	2	6	高く評価された救援隊 和歌山学生同盟の働き	
421	028	1953/9/16	2	7	文化サークルに発展	
422	028	1953/9/16	2	8	それでは誰を 戦時中の行動も考えて	
423	028	1953/9/16	2	9	解説 実質的基本権の剥奪 学生の郷里投票	
424	029	1953/11/26	1	1	学園復興会議開く	
425	029	1953/11/26	1	1	再選挙は十二月二日か 古林喜楽氏就任を辞退	
426	029	1953/11/26	1	1	論説 学長再選挙によせて 協議会の慎重な態度を	
427	029	1953/11/26	1	2	学生運動の前進 話し合いで平和を	
428	029	1953/11/26	1	2	後藤金持 両教授立候補 近づく学術会議選挙	
429	029	1953/11/26	1	3	狂暴化する反動勢力 血に染んだ十一月十一日	
430	029	1953/11/26	1	4	学芸学部在白亜の殿堂	
431	029	1953/11/26	1	5	抗議団市選管に押かく 強力な自治庁通達反対運動	
432	029	1953/11/26	1	6	本学代表K君談	
433	029	1953/11/26	1	8	深刻な就職難旋風 100パーセント決定は無理か	
434	029	1953/11/26	1	9	学芸学部A嬢談	
435	029	1953/11/26	1	9	学芸学部C嬢談	
436	029	1953/11/26	1	9	各大学で抗議スト決行	
437	029	1953/11/26	1	9	教授団、真相究明へ	
438	029	1953/11/26	1	9	図書貸出し 一月に開始	
439	029	1953/11/26	1	10	各労組、抗議に立つ	
440	029	1953/11/26	1	10	実現するか夜間学校	
441	029	1953/11/26	1	10	新寮長に再び西下君	
442	029	1953/11/26	1	11	寮祭盛会裏に終了	
443	029	1953/11/26	1	11	人事移動	
444	029	1953/11/26	1	12	七面調	
445	030	1953/11/26	2	1	数の話【一】 少数の意見について 山本正治	
446	030	1953/11/26	2	1	一、はじめに	
447	030	1953/11/26	2	2	二、MSA小麦輸入問題	
448	030	1953/11/26	2	3	MSA小麦と自立経済 小段文一	
449	030	1953/11/26	2	4	三、MSA小麦のひもつき	
450	030	1953/11/26	2	5	地質屋の見た紀州水害 地学教室 岩橋勉	
451	030	1953/11/26	2	7	数と新聞の役割	
452	030	1953/11/26	2	7	四、MSA小麦で自立経済は可能か	
453	030	1953/11/26	2	8	山くずれの類型 花園村での調査	
454	030	1953/11/26	2	9	日本における農業問題	
455	030	1953/11/26	2	13	食糧危機はなぜおこったか 南 清彦	
456	031	1953/11/26	3	1	運動会 快晴下珍技百景	年数印刷ミス
457	031	1953/11/26	3	1	学内対抗試合	
458	031	1953/11/26	3	2	ステップも軽く ダンスパーティ開催	
459	031	1953/11/26	3	2	盛大だった茶会	
460	031	1953/11/26	3	2	演劇会 先生も共に出演	
461	031	1953/11/26	3	3	講演会 高野実 岩上順一両氏を招いて	
462	031	1953/11/26	3	4	空手部 交歓試合開かる	
463	031	1953/11/26	3	4	和大徳大に二勝	
464	031	1953/11/26	3	4	展示会 好評得た水害展 全国に回覧を希望	
465	031	1953/11/26	3	5	陸上競技に第二位 参加十一校	
466	031	1953/11/26	3	5	1953大学祭特集	
467	031	1953/11/26	3	6	ぺんさき	
468	031	1953/11/26	3	6	MSA展	
469	031	1953/11/26	3	6	教科研展	
470	031	1953/11/26	3	7	クラブめぐり 硬式野球部	
471	031	1953/11/26	3	8	音楽会 初の試み オペレッタ彦一ばなし	
472	031	1953/11/26	3	8	総合美術展 美術の秋を飾る	
473	031	1953/11/26	3	10	新聞会会則 和歌山大学新聞会会則(案)	
474	031	1953/11/26	3	10	秋葉会	
475	031	1953/11/26	3	11	寮祭開かる	
476	032	1953/11/26	4	1	戦争と科学者 近世初期の歴史的考察 角山栄	
477	032	1953/11/26	4	2	我々は未来を信ずる 京都の抗議集会に参加して	
478	032	1953/11/26	4	4	引き延ばされた松川公判 像山浩	
479	032	1953/11/26	4	6	ソヴェット心理学 ベ・エム・チェプロフ著 牧山啓訳	
480	032	1953/11/26	4	6	書評 本学図書館	
481	032	1953/11/26	4	6	筋金随想 玉置修	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
482	032	1953/11/26	4	7	天皇家の歴史 神代より平安朝まで ねずまさし著	
483	032	1953/11/26	4	10	自治庁通達粉碎の抗議集会に参加して 1953年10月28 柏原和之	
484	032	1953/11/26	4	11	幅広い闘で 各大学の報告	
485	033	1953/12/22	1	1	遂に無期限ストに突入 協議会は不明瞭な態度改めず	
486	033	1953/12/22	1	1	論説 学園の民主化のために 協議会の反省を求む	
487	033	1953/12/22	1	3	厳粛裏に行われた 故北川教授の学園葬	
488	033	1953/12/22	1	4	加川補導部長談	
489	033	1953/12/22	1	4	学長選挙対策委員談	
490	033	1953/12/22	1	4	北川宗蔵先生の逝去に際して	
491	033	1953/12/22	1	6	黒いりボン 米田貫真	
492	033	1953/12/22	1	6	判断は経験による 加川補導部長掲示を不許可	
493	033	1953/12/22	1	7	北川会発足す	
494	033	1953/12/22	1	7	多難な就職問題 経済学部六割程度	
495	033	1953/12/22	1	8	後藤教授留任	
496	033	1953/12/22	1	9	七面調	
497	034	1953/12/22	2	1	世界劇壇の巨星墜つ オニールの死を悼んで 井上宗次	
498	034	1953/12/22	2	1	ストライキ宣言	
499	034	1953/12/22	2	3	女性最大の脅威は再軍備 全日本女子学生会議終る	
500	034	1953/12/22	2	4	学長選挙対策委員会結成	
501	034	1953/12/22	2	5	真相発表	
502	034	1953/12/22	2	6	万雷の拍手を受ける大山夫妻 日本国民平和大会終了	
503	035	1954/1/23	1	1	学長問題の審議を却下 不誠意な一部の評議員	
504	035	1954/1/23	1	1	難題は夜間大学 設置問題のみ	
505	035	1954/1/23	1	1	論説 学長選挙の根底	
506	035	1954/1/23	1	2	評議会に申込む 其の後の代議員の動き	
507	035	1954/1/23	1	2	無期限ストに終符 一月九、十一、十四日の経過報告	
508	035	1954/1/23	1	3	憤激した事務局長	
509	035	1954/1/23	1	4	後藤教授に期待	
510	035	1954/1/23	1	6	吾々は最後まで闘う スト中止に当って	
511	035	1954/1/23	1	7	果して出来るか 行き悩む学芸学会 経過中間報告	
512	035	1954/1/23	1	7	其の後の北川会 『遺作論文集』を出版	
513	035	1954/1/23	1	8	学長選挙 東京理大でも紛糾 処分学生を出して年を越す	
514	035	1954/1/23	1	8	学長決定に信任投票を 民主化を叫んでストをも辞せず	
515	035	1954/1/23	1	9	日本経済の危機と展望 故北川教授追悼講演会終了	
516	035	1954/1/23	1	10	夜間大学設置を決定 開講はやや遅れる模様	
517	035	1954/1/23	1	11	北川教授の後任に相沢秀一氏	
518	035	1954/1/23	1	11	図書貸出しも間近か	
519	035	1954/1/23	1	11	学生管理によるスト中の講演会	
520	035	1954/1/23	1	11	記念論文集近日中に発行	
521	035	1954/1/23	1	11	人事移動	
522	035	1954/1/23	1	12	七面調	
523	035	1954/1/23	1	12	おこわり	
524	036	1954/1/23	2	1	積極・消極 高見裕之	
525	036	1954/1/23	2	1	春にあけて 市村真一	
526	036	1954/1/23	2	3	全学の良心に訴える 学長選挙と錯誤の法理 本間輝雄	
527	036	1954/1/23	2	4	ストに対する学外輿論	
528	036	1954/1/23	2	4	暴力よりも言論を 公務員	
529	036	1954/1/23	2	6	若い人の気持ちを支持する 一主婦談	
530	036	1954/1/23	2	6	問題の中心は糸魚川個人 高校教諭	
531	036	1954/1/23	2	8	入試進適は一科目 合格は65点か	
532	036	1954/1/23	2	8	クラブめぐり バレー部 歴史学研究会	
533	036	1954/1/23	2	9	学問擁護のためのスト 大学生	
534	036	1954/1/23	2	11	いくじなしの運動はため 教育委員	
535	036	1954/1/23	2	11	大学を前進せしめる力 大学教授	
536	037	1954/3/18	1	1	今日晴れの卒業式	
537	037	1954/3/18	1	1	卒業生に贈る言葉 和大第二回卒業式	
538	037	1954/3/18	1	1	門出に当たって 学芸学部長 岩崎眞澄教授	
539	037	1954/3/18	1	1	論説 夜間大学設立に関して	
540	037	1954/3/18	1	3	社会人としての自覚の下に 経済学部長 關山直太郎教授	
541	037	1954/3/18	1	4	二十九年度経済学部 授業計画	
542	037	1954/3/18	1	5	学長問題はどなる 糸魚川氏学園長受諾か 強い、松商からの要請	
543	037	1954/3/18	1	6	和歌山大学第二回生 卒業論文テーマ一覧	
544	037	1954/3/18	1	6	学芸学部	
545	037	1954/3/18	1	6	【体育】	
546	037	1954/3/18	1	6	図書貸出制限実現 貸出期間は二週間	
547	037	1954/3/18	1	6	入試は三月二三日	
548	037	1954/3/18	1	7	学生処分問題	
549	037	1954/3/18	1	8	【国文学】	
550	037	1954/3/18	1	8	【人文地理】	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
551	037	1954/3/18	1	8	【生物学】	
552	037	1954/3/18	1	8	経済学部	
553	037	1954/3/18	1	9	【数学】	
554	037	1954/3/18	1	9	【職業】	
555	037	1954/3/18	1	9	歌いましょう 踊りましょう	
556	037	1954/3/18	1	10	社会学	
557	037	1954/3/18	1	10	英文学	
558	037	1954/3/18	1	10	物理	
559	037	1954/3/18	1	10	化学	
560	037	1954/3/18	1	10	地質学	
561	037	1954/3/18	1	10	文学	
562	037	1954/3/18	1	10	哲学	
563	037	1954/3/18	1	10	教職	
564	038	1954/3/18	2	1	政略・妥協の五目めし —白亜館はマカ不思議— 杉浦一平	
565	038	1954/3/18	2	1	問題の焦点 事実とその責任	
566	038	1954/3/18	2	2	企業会計の観点から「リベート」の問題によせて 本田利夫	
567	038	1954/3/18	2	3	責任は誰にあるのか 何故責任を追究しなかったか	
568	038	1954/3/18	2	6	真実に目を覆うな 真実のために闘うを恐れるな	
569	038	1954/3/18	2	6	大学と自由 学長問題を顧みて 北山正迪	
570	038	1954/3/18	2	7	学問の自由は政治の圏外で	
571	038	1954/3/18	2	8	自ら限界ある学生の自治	
572	038	1954/3/18	2	9	イデオロギー 宣伝は不可	
573	038	1954/3/18	2	10	インフレの論理と心理 インフレ根絶のため 馬場正雄	
574	038	1954/3/18	2	12	学生の自由とその限界	
575	039	1954/3/18	3	1	歴史は語る 1995年和大回顧録	
576	039	1954/3/18	3	1	在寮一年制 訓練法もお流れに	
577	039	1954/3/18	3	1	文部省令 一応無視された十一号	
578	039	1954/3/18	3	2	メーデー 堂々二百余名参加	
579	039	1954/3/18	3	3	三食の食気は革命を起す コック長追放学生経営権をにぎる	
580	039	1954/3/18	3	5	自治庁通達 骨抜きになって終る	
581	039	1954/3/18	3	5	学園復興会議 番犬にかまれた息子達	
582	039	1954/3/18	3	6	水害地救 学生同盟 帰郷学生と一つになって 文化サークルも生れる	
583	039	1954/3/18	3	7	全日本女子学生大会 会計袋はたいて九名参加	
584	039	1954/3/18	3	7	第二次学長選挙 今だに糸をひく選挙方法	
585	039	1954/3/18	3	9	第一次学長選挙 過半数で古林氏当選	
586	039	1954/3/18	3	9	大学祭 若人達の意気を結集	
587	039	1954/3/18	3	9	平和の希いは更に強く しめやかに故北川教授学園葬	
588	039	1954/3/18	3	10	寮祭 最低の費用で最大の効果	
589	039	1954/3/18	3	11	ストライキ突入！ 学生管理の講演会も	
590	039	1954/3/18	3	11	夜間大学 寄付700万円で発足？	
591	039	1954/3/18	3	12	処分問題 懲罰委員会質問攻め	
592	040	1954/3/18	4	1	美・芸術・人間性 岩崎真澄	
593	040	1954/3/18	4	1	出題傾向を探る	
594	040	1954/3/18	4	2	毎年出るヒヤリング(英) 統計、法、年代(社)	
595	040	1954/3/18	4	3	一般教養	
596	040	1954/3/18	4	3	解析1	
597	040	1954/3/18	4	3	解析2	
598	040	1954/3/18	4	3	幾何	
599	040	1954/3/18	4	4	簿記	
600	040	1954/3/18	4	4	物理	
601	040	1954/3/18	4	4	化学	
602	040	1954/3/18	4	4	生物	
603	040	1954/3/18	4	5	自由主義の旗は 舷外に投げすてられた —政禁法の問問によせて— 西	
604	040	1954/3/18	4	7	失はれゆく庶民史料 安藤精一	
605	040	1954/3/18	4	9	実践へのかけはし 現代貧乏物語 宮川実著	
606	040	1954/3/18	4	12	誰にでも出きる人形劇 平山泰三	
607	041	1954/5/1	1	1	獲得した八部室	
608	041	1954/5/1	1	1	新図書館長に経済学部齊藤利三郎教授 補導部長改選は未定	
609	041	1954/5/1	1	1	論説 婦人の問題について	
610	041	1954/5/1	1	2	学生の要求一部実現 尚続く部室獲得運動	
611	041	1954/5/1	1	2	経済学部長に関山教授が再選 学芸学部長選挙は来秋	
612	041	1954/5/1	1	4	完成期は昭和三十一年度 和歌山大学経済短期大学部発足	
613	041	1954/5/1	1	6	予想以上の競争率	
614	041	1954/5/1	1	6	姿を消したソ連経済 開講は資格認定の下りて後	
615	041	1954/5/1	1	7	勉学条件の改善と生活の向上 全学連第五回中央委員会報告	
616	041	1954/5/1	1	7	水爆禁止の掲示はがれる 学生一札をとってケリ	
617	041	1954/5/1	1	7	アイク吉田茂に決議文を送る 和大寮原爆禁止声明	
618	041	1954/5/1	1	8	寮監制度廃止 女性への偏見をなくせ 全学連第五回中委会決議事項	
619	041	1954/5/1	1	9	人気を呼んだ 前進座寸劇	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
620	041	1954/5/1	1	10	平和を願う声 五月二日から東京で開催	
621	041	1954/5/1	1	10	先ずは一勝 和太ホッケー部	
622	041	1954/5/1	1	11	期待される硬庭部	
623	041	1954/5/1	1	12	七面調	
624	042	1954/5/1	2	1	日本経済の現状と為替レート 小野朝男	
625	042	1954/5/1	2	3	熱原子核エネルギー	
626	042	1954/5/1	2	4	映画評「懐かしの日々」 曾和亥三夫	
627	042	1954/5/1	2	5	カリーニン著 若林三郎訳 共産主義教育について 一九五四年一月 青木	
628	042	1954/5/1	2	7	クラブめぐり	
629	042	1954/5/1	2	7	茶道部	
630	042	1954/5/1	2	8	硬式庭球部	
631	042	1954/5/1	2	10	ぺんさき 出欠制による犠牲 一落第生一	
632	042	1954/5/1	2	10	正副委員長は全学生の直接投票 改正された自治委員選挙法	
633	043	1954/5/27	1	1	再軍備に反対 原水爆の禁止を確認 全日本学生平和会議終了	
634	043	1954/5/27	1	1	論説 学生生活を守るために	
635	043	1954/5/27	1	4	思想調査はかく行われている 数名にのぼる被害者	
636	043	1954/5/27	1	6	白い壁に赤い瓦 計画中の学生ホール	
637	043	1954/5/27	1	6	打倒関大の意気込み 全勝街道を進むホッケー部	
638	043	1954/5/27	1	7	二部に昇級か 和太バレー部	
639	043	1954/5/27	1	8	こわされる本部窓ガラス	
640	043	1954/5/27	1	8	交換試合終る 和太空手部	
641	044	1954/5/27	2	1	顕微鏡下の三味境のたわごと 末松四郎	
642	044	1954/5/27	2	1	未来を信じよ 憲法週間によせて 末川博氏の講演会	
643	044	1954/5/27	2	4	理論と実践との統一 革命的的人生観(上・下) 愈徴著 浅川謙次訳	
644	044	1954/5/27	2	7	押しこめられた学生生活 感銘を呼ぶ「足摺岬」	
645	044	1954/5/27	2	7	映画評	
646	044	1954/5/27	2	9	会告	
647	044	1954/5/27	2	9	訂正記事	
648	044	1954/5/27	2	9	新入生歓迎会終る	
649	045	1954/6/24	1	1	互の発展のために	
650	045	1954/6/24	1	1	豊かな学生生活を！ 西日本学生生活改善会議終了	
651	045	1954/6/24	1	1	論説 サークル活動反省と新しい問題の提起	
652	045	1954/6/24	1	2	粟本(学芸学部)天羽(経済学部)両君が当選	
653	045	1954/6/24	1	3	和太に平和センター設立 平和運動発展のために	
654	045	1954/6/24	1	5	全日本平和大会開かる 和太から三名出席	
655	045	1954/6/24	1	5	設備不足に不満	
656	045	1954/6/24	1	5	全日本女子学生 代表者会議開かる	
657	045	1954/6/24	1	6	経済学部委員会発足す	
658	045	1954/6/24	1	6	近畿教育系大学 体育大会今秋に行う	
659	045	1954/6/24	1	7	予想以上に順調に進む図書貸出 やはり悩みは予算問題	
660	045	1954/6/24	1	8	水田発言をめぐる 五線紙上の恋愛	
661	045	1954/6/24	1	8	二倍に拡張される 三食学生食堂 学生ホール建設も具体化か	
662	045	1954/6/24	1	12	人事異動	
663	046	1954/6/24	2	1	運動部大いに語る 本誌開催運動部座談会 苦難の現在、しかし将来を信ず	
664	046	1954/6/24	2	2	尊重せよ オリンピック精神 井本誓順	
665	046	1954/6/24	2	3	金に比例した練習量 「対家関係」の新語も出る	
666	046	1954/6/24	2	3	出席者	
667	046	1954/6/24	2	5	規律ある練習 かえって快適	
668	046	1954/6/24	2	5	躍進、戦績は語る だが部員獲得に苦慮	
669	046	1954/6/24	2	7	脱衣所は広いグラウンド	
670	046	1954/6/24	2	8	望まれる出欠制の善処	
671	046	1954/6/24	2	9	資金集めに映画、ダンスパーティー 高まる統一計画事業の声	
672	046	1954/6/24	2	11	倉庫にねむるスポーツ用具	
673	046	1954/6/24	2	11	なんと59クラブ 新設は弓道など12	
674	046	1954/6/24	2	11	アクビする英文タイプライター 計算も三台	
675	047	1954/7/7	1	1	就職懇談会を計画 益々深刻化する就職問題	
676	047	1954/7/7	1	1	論説 振子通学の問題 生活改善の一環として	
677	047	1954/7/7	1	2	自分の郷里で平和運動を 関西連拡大委員会報告	
678	047	1954/7/7	1	5	今こそ団結と統一を 全学連大会開かる	
679	047	1954/7/7	1	6	生活改善を中心に 両学部学生有志大会開かる	
680	047	1954/7/7	1	7	会告	
681	047	1954/7/7	1	8	フランス人を囲んで	
682	047	1954/7/7	1	8	七面調	
683	048	1954/7/7	2	1	危機の山村に行く 土肥透一	
684	048	1954/7/7	2	2	うるさくなった警官の目	
685	048	1954/7/7	2	4	三八〇円の魅力と不安	
686	048	1954/7/7	2	5	最近の大島事情	
687	048	1954/7/7	2	8	封建支配の牙城と大島	
688	049	1954/9/21	1	1	愛の輸血リレーむなく 森口君いまはなし 学生健保の必要を教える	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
689	049	1954/9/21	1	1	他大学と連携 ―活発になった帰郷活動―	
690	049	1954/9/21	1	1	論説 森口君の死と学生健康保険制度	
691	049	1954/9/21	1	2	児童集めてサマースクール開く “来年も是非”と父兄の声	
692	049	1954/9/21	1	5	互助会結成の動き 森口君問題を中心に	
693	049	1954/9/21	1	5	黒い乗用車のお目見得	
694	049	1954/9/21	1	6	深刻化する就職問題	
695	049	1954/9/21	1	7	学内人物評 加川教授	
696	049	1954/9/21	1	7	発展途上の歌と踊りの会 内部組織を確立	
697	049	1954/9/21	1	7	故北川教授著「経済学方法論」出版される	
698	049	1954/9/21	1	8	偉大な学者とは？	
699	049	1954/9/21	1	8	道具かかえて出演旅行 和大人形劇団トロイカ	
700	049	1954/9/21	1	8	建築中学生ホール 完成は今秋	
701	049	1954/9/21	1	9	第一回近畿地区大学体育大会開かる	
702	049	1954/9/21	1	10	関西大生の合宿練習	
703	049	1954/9/21	1	10	水爆禁止署名集る 休み中の平センの動き	
704	049	1954/9/21	1	11	自治会主催ダンスパーティ開かれる	
705	049	1954/9/21	1	11	西教授中心に部落調査	
706	049	1954/9/21	1	11	改築 予定より遅れる	
707	049	1954/9/21	1	12	会告	
708	049	1954/9/21	1	12	七面調	
709	050	1954/9/21	2	1	向学熱にもえる夜間学生 わかりやすい講義を、と不満	
710	050	1954/9/21	2	1	歌舞伎と白拍子達 ―遊 踊りから野郎かぶきまで― 貴志淳一	
711	050	1954/9/21	2	6	国民の文化を守る運動 素晴らしかった関西平和祭	
712	050	1954/9/21	2	7	国際緊張緩和と平和運動推進のため世界平和評議会決議文	
713	050	1954/9/21	2	8	ホッケー・硬野が優勝 近畿地区大学体育大会終了	
714	050	1954/9/21	2	8	軟式野球部	
715	050	1954/9/21	2	9	仮収支計算書	
716	050	1954/9/21	2	9	バレーボール部	
717	050	1954/9/21	2	9	柔道部	
718	050	1954/9/21	2	10	ホッケー部初優勝	
719	050	1954/9/21	2	10	北川博士著「経済学方法論」刊行にあたって 北川会	
720	050	1954/9/21	2	12	和大話題	
721	051	1954/11/5	1	1	諦めと焦慮、卒論も手につかず 決定者僅か22名(11月2日現在) お先真暗な就職戦線	
722	051	1954/11/5	1	1	締め出しを食らった女子学生	
723	051	1954/11/5	1	1	不況にあえぐ経済界 根本的な解決は日本の独立	
724	051	1954/11/5	1	1	論説 大学祭を市民のものに	
725	051	1954/11/5	1	4	就職面談に長蛇の列	
726	051	1954/11/5	1	4	学問の自由は何処えやら	
727	051	1954/11/5	1	5	例年通りの寄付 貧弱な就職経	
728	051	1954/11/5	1	5	学研の成果を国民に奉仕 決定された大学祭日程 相変わらずの衝突は予算問題	
729	051	1954/11/5	1	6	各大学就職状況	
730	051	1954/11/5	1	6	底をついた地方財政 楽観出来ぬ学芸学部	
731	051	1954/11/5	1	7	学内人物評 糸魚川氏	
732	051	1954/11/5	1	7	全学、出羽君と惜別 心臓マヒで急死	
733	051	1954/11/5	1	8	外人教師をアクセサリーに 百三十万円の下駄はいて	
734	051	1954/11/5	1	8	近畿教育系大学体育大会開かる	
735	051	1954/11/5	1	9	就職問題について 山本正治	
736	051	1954/11/5	1	9	李徳全女史歓迎	
737	051	1954/11/5	1	12	関西のうたごえ 十一月二十三日	
738	051	1954/11/5	1	12	七面調	
739	052	1954/11/5	2	1	日本人の生活心理 衣食住より形成される 平田統一	
740	052	1954/11/5	2	1	久保山さんの死をめぐって 須川寛文	
741	052	1954/11/5	2	3	暦	
742	052	1954/11/5	2	5	チョンマゲ論 原田伴彦	
743	052	1954/11/5	2	7	経済学方法論の反響	
744	052	1954/11/5	2	8	わだい 学思館 ヴェールを脱ぐ	
745	052	1954/11/5	2	10	最近のベストセラーから 新書と軽評論が大流行	
746	053	1954/12/20	1	1	北川宗蔵先生略歴	
747	053	1954/12/20	1	2	第二回北川祭盛大に終る 各催しでありし日を再現 展示会では研究の決意にもゆ	
748	053	1954/12/20	1	2	古林(神戸大)後藤(本学)島(京都大)三氏、追悼公演 故 北川教授を讃う	
749	053	1954/12/20	1	5	学内人物評	
750	053	1954/12/20	1	5	南風 憂星 麦笛 文芸3サークル統一なるか 統一後の活動に期待	
751	053	1954/12/20	1	6	評判のいい穏健保守主義	
752	053	1954/12/20	1	7	暦	
753	053	1954/12/20	1	8	期待される学生研究の発展	
754	054	1954/12/20	2	1	商学博士 故北川教授をしのぶ	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
755	054	1954/12/20	2	2	照影追懐 齊藤利三郎	
756	054	1954/12/20	2	2	七才のソーゾドン	
757	054	1954/12/20	2	4	研究室でスキーの手入	
758	054	1954/12/20	2	6	満州昂々溪で勤労奉仕	
759	054	1954/12/20	2	6	北川先生と十二月二日の雨 (本学第一回卒業生) 岩上行雄	
760	054	1954/12/20	2	7	マンドリンかかえて	
761	054	1954/12/20	2	8	何を瞑想 校内散歩	
762	054	1954/12/20	2	8	写真説明	
763	055	1954/12/20	3	1	北川先生を偲ぶ 寒天を大きくきりて 星おつる 東元寒草子(本部事務局庶)	
764	055	1954/12/20	3	1	北川先生と俳句 米田銭南子	
765	055	1954/12/20	3	4	結婚と自転車	
766	055	1954/12/20	3	4	俳句と非俳句	
767	055	1954/12/20	3	5	北川先生を三行で	
768	056	1954/12/20	4	1	手紙に溢れる温さ 案ずるは母達のこと 家族のなげきに断腸の思い	
769	056	1954/12/20	4	1	「骨身を削る」精神的苦悩と闘う	
770	056	1954/12/20	4	3	獄中、坂西博士の冥福を祈る 疎開、空襲のことにも配慮	
771	056	1954/12/20	4	5	静思録より 年頭の辞	
772	057	1955/3/18	1	1	晴天に門出を祝う 和大第3回卒業式	
773	057	1955/3/18	1	1	論説 試験制度とカンニングの問題に寄せて	
774	057	1955/3/18	1	2	卒業生におくる 理想に向かって絶えざる努力を 学芸学部長 岩崎真澄教	
775	057	1955/3/18	1	3	社会の具体的問題解決を 経済学部長 関山直太郎教授	
776	057	1955/3/18	1	3	はたして成るか民主的学長 選挙規定への不満高まる	
777	057	1955/3/18	1	6	海外ピックス ドイツ(西独)再軍備問題でもちきり 最近のドイツ学生	
778	057	1955/3/18	1	6	”うたごえ学校”開かる	
779	057	1955/3/18	1	6	例年より高い競争率	
780	057	1955/3/18	1	7	”私たちは大人です” 女学生が門限撤廃を要求	
781	057	1955/3/18	1	7	講堂は誰のもの クラブ活動圧する使用禁止令 納得行かぬ講堂の威厳	
782	057	1955/3/18	1	8	活発な動きを見せるゼミナール連絡会 休暇を利用して実態調査	
783	057	1955/3/18	1	9	30年度自治会事業計画 委員総選挙は四月下旬に	
784	057	1955/3/18	1	10	経済学史は必修除外	
785	057	1955/3/18	1	12	馬場助教授留学 市村助教授も 五月中旬	
786	058	1955/3/18	2	1	ソ中との国交回復には意見一致 アンケートにみられる表看板	
787	058	1955/3/18	2	1	受験生諸君を迎えて 和大教授 末松四郎	
788	058	1955/3/18	2	2	民主党ブームと総選挙	
789	058	1955/3/18	2	2	アンケート項目	
790	058	1955/3/18	2	3	大学から高校生へ 高校から大学生へ 期待する形式主義におちいるな 星林高校 泉本山下	
791	058	1955/3/18	2	4	和歌山県第一区選出民主党議員 坊秀男	
792	058	1955/3/18	2	5	和歌山県第二区選出民主党議員 世耕弘一	
793	058	1955/3/18	2	7	鳩山内閣の出現と労働者階級 佐野稔	
794	058	1955/3/18	2	8	和歌山県第一区選出左社議員 田中織之進	
795	058	1955/3/18	2	9	鳩山内閣は日本の支配階級の申し子	
796	058	1955/3/18	2	9	総選挙と鳩山内閣 インテリの思い上がりと期待される国民万衆の力 渡辺	
797	058	1955/3/18	2	10	学長選挙と部落選挙	
798	058	1955/3/18	2	12	汚職・大先輩の三木武吉氏	
799	058	1955/3/18	2	13	三十年度行事目標十五項目を決定 関西学執連終る	
800	059	1955/3/18	3	1	暦	
801	059	1955/3/18	3	1	和歌山大学第三回生 卒業論文テーマ一覧	
802	059	1955/3/18	3	1	学芸学部	
803	059	1955/3/18	3	1	【国語・国文学】	
804	059	1955/3/18	3	1	【文学】	
805	059	1955/3/18	3	1	【歴史学】	
806	059	1955/3/18	3	1	【人文地理学】	
807	059	1955/3/18	3	1	【英米文学】	
808	059	1955/3/18	3	1	【社会学】	
809	059	1955/3/18	3	2	【数学】	
810	059	1955/3/18	3	2	【物理学】	
811	059	1955/3/18	3	2	【化学】	
812	059	1955/3/18	3	2	【生物学】	
813	059	1955/3/18	3	2	1954年度 七大ニュース	
814	059	1955/3/18	3	3	【地学】	
815	059	1955/3/18	3	3	【音楽】	
816	059	1955/3/18	3	3	経済学部	
817	059	1955/3/18	3	4	【美術】	
818	059	1955/3/18	3	4	【職業】	
819	059	1955/3/18	3	5	【体育】	
820	059	1955/3/18	3	6	【教育心理学】	
821	059	1955/3/18	3	6	【教育学教育史】	
822	059	1955/3/18	3	6	【教育社会学】	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
823	059	1955/3/18	3	7	ねぐら訪問 日方女子寮 和歌山移転が望み	
824	059	1955/3/18	3	8	1955年度 経済学部ゼミナール紹介	
825	059	1955/3/18	3	9	食って喋って寝る 箱入り娘達	
826	059	1955/3/18	3	11	自国を売りこむ 印度人留学生	
827	059	1955/3/18	3	11	英語の下手な日本人	
828	059	1955/3/18	3	12	きたない印度	
829	059	1955/3/18	3	12	女房にいい女学生	
830	060	1955/3/18	4	1	日本版「経済学教科書」の出版にあたって 山口慶四郎	
831	060	1955/3/18	4	5	チャーチルの著述について 和大教授 加川航三郎	
832	060	1955/3/18	4	5	中国から便り 平和と、自由と、幸福な生活を求めて	
833	060	1955/3/18	4	5	西洋美術の美しさ ムールブル展によせて— 和大教授 保田龍門	
834	060	1955/3/18	4	8	現金に手をだすな【映画解説】	
835	060	1955/3/18	4	10	平和運動の先端 一わだつみ会—	
836	060	1955/3/18	4	10	歩き出した新設クラブ	
837	060	1955/3/18	4	11	八十名の大世帯 女子学生の会	
838	060	1955/3/18	4	11	就職先きをめぐって —一期生紀陽銀行の巻—	
839	061	1995/5/17	1	1	素直に成長している和大学生 大学の信頼のためより一層協力的に	
840	061	1995/5/17	1	1	自治会の健全な発展を望む 新学長岩崎教授を訪ねて	
841	061	1995/5/17	1	1	論説 ウィーン・アツピールを支持 話し合いのなかで認識と確信を更に深め	
842	061	1995/5/17	1	2	和大自治会批判	
843	061	1995/5/17	1	2	学生の諸要求について	
844	061	1995/5/17	1	3	文教予算に関して	
845	061	1995/5/17	1	3	二年課程の廃止に関し	
846	061	1995/5/17	1	4	原子戦争準備に反対するウィアツピールに関して	
847	061	1995/5/17	1	4	和大生批判を	
848	061	1995/5/17	1	5	ひんぱんと起る盗難事件	
849	061	1995/5/17	1	5	ウィーンアツピール支持を決議 街頭署名に!! ご積極的に動く寮生	
850	061	1995/5/17	1	5	わだつみ会 活発に動き始める	
851	061	1995/5/17	1	6	原子戦争の準備に反対する訴え ウィーンアツピール	
852	061	1995/5/17	1	6	学芸学部長に 加川航三郎教授 経済学部長選挙は十八日	
853	061	1995/5/17	1	7	僅か五十九日で路上に放り出す 由良精工採用取消を通告 資本攻勢の非人道性	
854	061	1995/5/17	1	7	切実な要求数十項目 新学長と学生の懇談会	
855	061	1995/5/17	1	9	MSA下に於ける収奪 惨虐・無責任な会社幹部	
856	061	1995/5/17	1	10	運動部だより	
857	062	1995/5/17	2	1	第26回統一メーデーをかえりみて	
858	062	1995/5/17	2	1	教育の自律について 大井令雄	
859	062	1995/5/17	2	3	かけごえは薫風にのって 平和と独立をひめて林立する紅の旗	
860	062	1995/5/17	2	5	メーデー随筆 和歌山の政治家たち 内田穰吉	
861	062	1995/5/17	2	7	メーデーの歴史と学生参加の意義 辻村俊二	
862	062	1995/5/17	2	7	書籍紹介 日本共産党調査委員会編 『続占領下の日本の折分』	
863	062	1995/5/17	2	9	【映画紹介】海底の黄金	
864	062	1995/5/17	2	11	ペンさき 糸魚川氏を送るの辞 井上春夫(今春卒業生)	
865	063	1955/6/21	1	1	学生食堂 人件費値下げか 国庫負担を迫る学生側	
866	063	1955/6/21	1	1	不況をもたらす禍 選択の自由を要求	
867	063	1955/6/21	1	1	論説 凡ゆる不満と要求の解決の力は協力と統一である	
868	063	1955/6/21	1	2	学部の建前にはさまれた学生達 教職単位習得をめぐって	
869	063	1955/6/21	1	4	見通し薄い新築計画 きめられた百万円の用途	
870	063	1955/6/21	1	5	経済学部学生大会開かる よりよき学生生活目指して 日常の悩みを訴える	
871	063	1955/6/21	1	6	盛会だった魚釣	
872	063	1955/6/21	1	7	みせかけられた温情 寄付の性格は何処えやら	
873	063	1955/6/21	1	7	両学部自治委員会発足	
874	063	1955/6/21	1	7	手厚い看護によって危機を逸脱 斗病生活を続ける有馬君	
875	063	1955/6/21	1	8	”平和を守り抜こう” 日本平和愛好者大会	
876	063	1955/6/21	1	10	新聞会会計報告	
877	063	1955/6/21	1	10	「藤原閣下の燕尾服」 和大演劇部の公演	
878	063	1955/6/21	1	10	原隨園氏来たる	
879	063	1955/6/21	1	11	子供をおぶったお母さんたちも	
880	063	1955/6/21	1	12	五期生ゼミ連結成さる	
881	063	1955/6/21	1	12	かんばしくない納入率	
882	063	1955/6/21	1	12	寮祭執行要項きまる	
883	064	1955/6/21	2	1	自主的に組織された学習グループ 軌道にのった学内の動き	
884	064	1955/6/21	2	2	現実と結びついた大衆討議	
885	064	1955/6/21	2	2	どうして研究を進めるか 上林貞治郎	
886	064	1955/6/21	2	3	共通の悩みは時間的な問題	
887	064	1955/6/21	2	5	さまざまな問題点 研究熱意益々高まる	
888	064	1955/6/21	2	6	原水爆禁止・学問の自由擁護を決議 全学連第八回全国大会	
889	064	1955/6/21	2	7	読書会研究会紹介	
890	064	1955/6/21	2	8	硬式庭球部	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
891	064	1955/6/21	2	8	バスケットボール部	
892	064	1955/6/21	2	8	ホッケー部	
893	064	1955/6/21	2	8	ねぐら訪問 高松男子寮 諸施設完備が望み	
894	064	1955/6/21	2	9	軟式野球部	
895	064	1955/6/21	2	9	硬式野球部	
896	064	1955/6/21	2	10	軟式庭球部	
897	064	1955/6/21	2	10	空手部	
898	064	1955/6/21	2	11	ヨット部	
899	064	1955/6/21	2	12	陸上競技部	
900	065	1955/7/7	1	1	誰でも参加できる帰郷活動 EL合同自治委員会の方針決る	
901	065	1955/7/7	1	1	ワルシャワ平和友好祭 参加者後藤君を囲んで	
902	065	1955/7/7	1	2	ホームルームを設置せよ クラス討議と日常要求を中心に	
903	065	1955/7/7	1	2	第2回学芸学部学生大会	
904	065	1955/7/7	1	4	三ヶ月も遅れた県奨 学校側も積極的な援助を	
905	065	1955/7/7	1	5	何でも話し合おう 大学側と学生側の信頼こそ肝要 玉置学生部長は語る	
906	065	1955/7/7	1	7	三年前からの念願達成 寮に起った食事革命	
907	066	1955/7/7	2	1	夏季休暇を控えて 各サークルの期待とプラン	
908	066	1955/7/7	2	1	男女合同合宿を計画 活発な運動部	
909	066	1955/7/7	2	1	【劇評】未熟ながらも熱演 第二回公演の演劇部	
910	066	1955/7/7	2	4	長期の登山 ロックの練習に専念	
911	066	1955/7/7	2	5	地域との結びつきを強化 文化の向上に努む文化部	
912	066	1955/7/7	2	5	サマースクールの開設を予定 今夏は学芸学部学生を中心に	
913	066	1955/7/7	2	6	勉強とアルバイト 期待の大きい夏休み	
914	066	1955/7/7	2	7	平和と友情の大山サマーキャンプ 日本海に面した広大な火山群	
915	066	1955/7/7	2	8	新聞会会則 和歌山大学新聞会会則	
916	067	1955/9/20	1	1	幅広くなった学生の動き 帰郷活動総括	
917	067	1955/9/20	1	1	友情と団結の確信を強める 全学連第七回中執委終る	
918	067	1955/9/20	1	1	【論説】帰郷活動の反省と今後の問題	
919	067	1955/9/20	1	2	難関多かったサマースクール 教室使用料を請求した会計課 名誉校長に玉置学生部長	
920	067	1955/9/20	1	3	責任者2名過労に倒れる	
921	067	1955/9/20	1	3	教室使用料で会計ともめる	
922	067	1955/9/20	1	4	自己犠牲的奉仕の先生	
923	067	1955/9/20	1	4	プール換水費用に最難関	
924	067	1955/9/20	1	5	喜びの反面に鋭い批判 父兄会	
925	067	1955/9/20	1	6	ルポルタージュ	
926	067	1955/9/20	1	6	巧妙、英国の政策 ダイヤの街と貧民街	
927	067	1955/9/20	1	7	西牟婁訪歴の獲物 教室研綴方研究会	
928	067	1955/9/20	1	8	世界情勢の焦点香港で 国際ワークキャンプに参加して 経済四年 吉田倬	
929	067	1955/9/20	1	8	墜落著を前に異常なショック 山岳部和大 遭難救助記	
930	067	1955/9/20	1	10	「日本仔」と浴びせる対日感情	
931	067	1955/9/20	1	10	初の独立活動奥有田に 期待される女子学生の会	
932	067	1955/9/20	1	10	体操部躍進 第二回近畿地区体育大会終る	
933	067	1955/9/20	1	12	七面調	
934	068	1955/9/20	2	1	広島原水爆禁止世界大会 被爆十周年を迎えて	
935	068	1955/9/20	2	2	戦争に対する憎悪と平和への新たな決意 運命の時刻に一斉黙祷	
936	068	1955/9/20	2	2	人類の悲願 和歌山大学学長 岩崎真澄	
937	068	1955/9/20	2	4	平和宣言	
938	068	1955/9/20	2	6	平和記念式典鳩山首相メッセージ	
939	068	1955/9/20	2	6	大会出席の外国代表	
940	068	1955/9/20	2	6	学生平和会議 “あの日”以来の苦闘を語る 生々しい原爆被害者の声 盛り上げる救援活動の訴え	
941	068	1955/9/20	2	7	活発に動いた 広島原水協	
942	068	1955/9/20	2	7	ミス広島嬢も街頭カンパ	
943	068	1955/9/20	2	8	青年・婦人が推進母体 八・六迎えての広島	
944	068	1955/9/20	2	8	平和と友情の大山キャンプ	
945	068	1955/9/20	2	8	男性的な山客「伯老大山」 中国山脈の最高峰	
946	068	1955/9/20	2	8	大声で叫ぶ“原爆禁止” ケロイドの乙女が語る十年の苦しみ	
947	068	1955/9/20	2	10	期待を秘めて就寝	
948	068	1955/9/20	2	11	“青年運動における新しい愛情”	
949	068	1955/9/20	2	11	基地反対闘争と共に 八・六大会宣言	
950	068	1955/9/20	2	12	スリル満点の縦走コース	
951	069	1955/11/30	1	1	異色！上衣を脱いだ学長 第六回大学祭幕を閉ず	
952	069	1955/11/30	1	1	“新しい文学には新しいリズムを” 詩人小野十三郎氏講演	
953	069	1955/11/30	1	1	論説 就職と大学祭 自己の信念を貫ぬき 協調の精神を培おう	
954	069	1955/11/30	1	2	盛り上げる若人の意気と熱 内容充実 好評博した展示会	
955	069	1955/11/30	1	2	品性と知性を保って前進 金村実行委員長談	
956	069	1955/11/30	1	2	たきびを囲み 12日 前夜祭盛大に	
957	069	1955/11/30	1	2	古美術映画会 保田竜門教授説明	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
958	069	1955/11/30	1	2	外人審査員がミソ 高校英弁	
959	069	1955/11/30	1	5	中小免許取得正式に拒否 学芸より経済へ回答	
960	069	1955/11/30	1	6	志願者は四十八名 高校教員採用検査	
961	069	1955/11/30	1	6	特殊児童劇に異彩 空手実技公開も	
962	069	1955/11/30	1	7	統一バッジ決まる 逆まく黒潮を凶案化	
963	069	1955/11/30	1	8	和太主催 県下弓道大会	
964	069	1955/11/30	1	8	第二回日本学生ゼミナール経済系部会 十二月二日より神戸大学で 共通テーマ日本経済の現状と将来	
965	069	1955/11/30	1	9	学内人物評 石川治助教授	
966	069	1955/11/30	1	10	若さをもった独語教師 独身者をめぐる噂話の数々	
967	069	1955/11/30	1	10	「明治維新」を发表 和太三十名の参加者	
968	069	1955/11/30	1	10	観衆を吸収 中国展	
969	069	1955/11/30	1	11	寮で球技大会	
970	069	1955/11/30	1	12	七面調	
971	070	1955/11/30	2	1	荒涼の秋 曇りがち 特集 就職戦線に拾う	
972	070	1955/11/30	2	1	求人側の声 “語学力が不足だ” 「まず体力」 銀行	
973	070	1955/11/30	2	1	過去三年の就職状況 金融関係次いで商事会社 紀陽銀行へ例年十人以上	
974	070	1955/11/30	2	1	一・二期生は完全就職 中小企業で追込み	
975	070	1955/11/30	2	3	やっと60名消化(25日現在) 求人 中だるみ・女子を敬遠	
	070	1955/11/30	2	4	「ソロバン」は採用条件ではない 三和銀行和歌山支店長代理 坂田円彦談	
	070	1955/11/30	2	4	たった五万円の予算	
976	070	1955/11/30	2	4	”不況来”朝鮮休載輸出不振 求職側も懸命	
977	070	1955/11/30	2	5	主な求人会社	
978	070	1955/11/30	2	5	運動選手は有利	
979	070	1955/11/30	2	5	メーカーの求人激減	
980	070	1955/11/30	2	6	就職決定者内訳(内定を含む)	
981	070	1955/11/30	2	6	三市に斡旋機関おく 学内外が協力して推進	
982	070	1955/11/30	2	6	デフレ政策で大打撃 大企業は金融が天下	
	070	1955/11/30	2	7	島津製作ら不採用	
	070	1955/11/30	2	7	推選は二ヶ所 就職斡旋規定	
	070	1955/11/30	2	7	学芸学部も完全就職 だが二年課程女子は樂觀出来ず 29年度	
	070	1955/11/30	2	7	先輩による斡旋組織でコネの活用目指す	
983	070	1955/11/30	2	8	三期生は今夏まで持ち越す	
984	070	1955/11/30	2	9	今年の採用試験 客観テスト陰をひそむ 専門科目、語学にウエイト	
985	070	1955/11/30	2	10	昭和二十九年度卒業生 就職に関する調査 関西学生就職連絡協議会	
986	070	1955/11/30	2	10	出身地内へ68%	
987	070	1955/11/30	2	10	ややよい四年課程	
988	070	1955/11/30	2	10	売れ行き悪い二年課程女子	
989	070	1955/11/30	2	11	消化しきれぬ? 那賀・和歌山市	
990	070	1955/11/30	2	11	職を求めて他府県へ 二年課程 女子にしわよせ	
991	071	1955/11/30	3	1	大学祭 写真特報	
992	071	1955/11/30	3	2	三高時代の思い出	
993	071	1955/11/30	3	3	「抵抗」を描いた三高時代 中心点のほしい大学祭 香山時彦	
994	071	1955/11/30	3	6	好評を得た「アベック百態」 印象に残る学長の参加	
995	072	1955/11/30	4	1	もっとも合理的で美しい手順 食器の使い方・御馳走の食べ方 谷村恭子	
996	072	1955/11/30	4	1	テーブルマナー講座	
997	072	1955/11/30	4	1	『農業問題』(国民文庫) カウツキー著・山崎・崎山訳 南清彦	
998	072	1955/11/30	4	1	書評	
999	072	1955/11/30	4	4	作品「蓮池」 学芸学部二年 金成誠明	
1000	072	1955/11/30	4	4	暦	
1001	072	1955/11/30	4	4	僕はテニスを失った 有馬伊佐男	
1002	072	1955/11/30	4	6	在京和歌山県出身 学生の会発足す 寮・奨学金問題を中心に	
1003	072	1955/11/30	4	6	バレーは付中・野球はYYクラブ 大学祭学内スポーツ大会終る	
1004	072	1955/11/30	4	8	中国見本市(東京) 六割までが学生	
1005	072	1955/11/30	4	8	硬式庭球大会開かる	
1006	072	1955/11/30	4	8	愛と知の群像を描く クレーマー初監督 「見知らぬ人でなく」	
1007	072	1955/11/30	4	9	学生互助 友愛映画会大成功 有馬君救援会	
1008	072	1955/11/30	4	11	「学外ニュース」スクール・バス 購入を計画	
1009	072	1955/11/30	4	11	ペン先 もっと先生の論文を	
1010	073	1956/2/8	1	1	忍び寄る学生生活の危機 学内で反対署名運動始まる	
1011	073	1956/2/8	1	1	盛り上がる全国運動 波乱呼ぶ授業料値上げ問題	
1012	073	1956/2/8	1	1	廃止された二中コース 卅一年度 学生募集要項決まる	
1013	073	1956/2/8	1	1	論説 相互の理解と協調性をもって明るい一年を	
1014	073	1956/2/8	1	2	現行六千円を九千円に(政府案)	
1015	073	1956/2/8	1	4	関東では組織的な反対運動	
1016	073	1956/2/8	1	5	初代校長故岡本氏の胸像復活	
1017	073	1956/2/8	1	6	動き出した自治委	
1018	073	1956/2/8	1	6	従来通り交付か 波紋をえがく県奨問題	
1019	073	1956/2/8	1	7	全学の諸兄姉に訴ったう! 国立大学授業料値上げ絶対反対	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1020	073	1956/2/8	1	7	”中だるみ”就職戦線 経済 あと七十名立往生(1月末現在)	
1021	073	1956/2/8	1	8	高望みを捨てて 中小企業開拓が望み 宇佐美先生談	
1022	073	1956/2/8	1	9	学内人物評 南清彦助教授	
1023	073	1956/2/8	1	9	建設工事すすむ 物理教室・ヨットハウスなど 化学教室も四月起工	
1024	073	1956/2/8	1	10	気安く話せる人の好き カメラをさげて実態調査	
1025	073	1956/2/8	1	12	七面調	
1026	074	1956/2/8	2	1	卒業生の炉端放談 本誌主催座談会 やって悔いないサークル活動	
1027	074	1956/2/8	2	2	迷想 投書欄に想う 藤田紹憲	
1028	074	1956/2/8	2	3	■やぶれていて読めない■二年危機説 人間を変える4年間	
1029	074	1956/2/8	2	3	クラブ活動が学生生活を充実させると言う話	
1030	074	1956/2/8	2	4	ストライキばかりが学生運動でないと言う話	
1031	074	1956/2/8	2	5	経済学部 ゼミナール紹介(其の一)	
1032	074	1956/2/8	2	7	恋愛すれば女は美化され男は落着くという話	
1033	074	1956/2/8	2	7	角山ゼミナール	
1034	074	1956/2/8	2	7	野瀬ゼミナール	
1035	074	1956/2/8	2	8	吉田ゼミナール	
1036	074	1956/2/8	2	8	安藤ゼミナール	
1037	074	1956/2/8	2	8	後藤ゼミナール	
1038	074	1956/2/8	2	8	市村ゼミナール	
1039	074	1956/2/8	2	9	やむを得ず鶏頭となる折もあるという話	
1040	074	1956/2/8	2	9	関山ゼミナール	
1041	074	1956/2/8	2	9	本田ゼミナール	
1042	074	1956/2/8	2	9	弓道部活動	
1043	074	1956/2/8	2	9	二月の暦	
1044	074	1956/2/8	2	10	書評	
1045	074	1956/2/8	2	10	『戦後日本の農業問題』日本資本主義研究会著 山本正治	
1046	074	1956/2/8	2	11	ゼミは必ずしも勉強する所ではないという話	
1047	074	1956/2/8	2	12	先輩は言葉を残して消え去るのみという理	
1048	075	1956/3/17	1	1	人生第二の出発点 4期生 今日晴れの卒業式	
1049	075	1956/3/17	1	1	論説 卒業生を送るに際して 理想に走らず現実に執せぬ行動を	
1050	075	1956/3/17	1	2	苦と共に『地の塩』となれ 謙虚な気持ちで不断の努力を 学長 岩崎眞澄	
1051	075	1956/3/17	1	3	卒業生に贈る言葉	
1052	075	1956/3/17	1	4	汝自分を信ぜよ 学芸学部長 加川航三郎	
1053	075	1956/3/17	1	5	中位のめでたさ 経済学部長 金持一郎	
1054	075	1956/3/17	1	6	どつど”狭き隙間”へ 経済学部十三倍の競争率	
1055	075	1956/3/17	1	6	第四期生 卒業論文テーマ一覧	
1056	075	1956/3/17	1	6	経済学部(一部)	
1057	075	1956/3/17	1	6	【宮本ゼミ】	
1058	075	1956/3/17	1	7	【安藤ゼミ】	
1059	075	1956/3/17	1	8	北海道から鹿児島から 経済学部	
1060	075	1956/3/17	1	8	【関山ゼミ】	
1061	075	1956/3/17	1	8	【斉藤ゼミ】	
1062	075	1956/3/17	1	9	学内人物評 本間輝雄助教授	
1063	075	1956/3/17	1	9	経済変動論に馬場助教授 経済学部三一年度授業計画	
1064	075	1956/3/17	1	9	【本田ゼミ】	
1065	075	1956/3/17	1	9	【吉田ゼミ】	
1066	075	1956/3/17	1	10	”惚れちやいかん”と恋愛論 山椒の味の商法学者	
1067	075	1956/3/17	1	10	入学式は11日	
1068	075	1956/3/17	1	11	完成間近い 物理教室・ヨットハウス	
1069	075	1956/3/17	1	11	【角山ゼミ】	
1070	075	1956/3/17	1	11	【廣橋ゼミ】	
1071	075	1956/3/17	1	11	【南ゼミ】	
1072	075	1956/3/17	1	11	卒業演奏会行わる	
1073	075	1956/3/17	1	12	七面調	
1074	076	1956/3/17	2	1	ねむる稀有の和漢洋書 学生の認識と利用をまつ	
1075	076	1956/3/17	2	1	第四期生 卒業論文テーマ一覧	
1076	076	1956/3/17	2	1	学芸学部	
1077	076	1956/3/17	2	1	【国語・国文学】	
1078	076	1956/3/17	2	2	本学図書館探訪	
1079	076	1956/3/17	2	2	書庫をはみ出る 総数十四万四千余百冊	
1080	076	1956/3/17	2	2	【社会学】	
1081	076	1956/3/17	2	2	【歴史学】	
1082	076	1956/3/17	2	3	三月の暦	
1083	076	1956/3/17	2	3	蔵書冊数	
1084	076	1956/3/17	2	3	【英米文学】	
1085	076	1956/3/17	2	4	【人文地理学】	
1086	076	1956/3/17	2	4	【音楽】	
1087	076	1956/3/17	2	4	【教育学】	
1088	076	1956/3/17	2	5	利用状況	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1089	076	1956/3/17	2	5	図書館 総予算三六〇万円余 学生一人当たり図書費六〇〇円程度	
1090	076	1956/3/17	2	5	【心理学】	
1091	076	1956/3/17	2	5	【数学】	
1092	076	1956/3/17	2	6	入試出題傾向を探る	
1093	076	1956/3/17	2	6	【物理】	
1094	076	1956/3/17	2	6	【生物】	
1095	076	1956/3/17	2	6	【地学】	
1096	076	1956/3/17	2	6	【化学】	
1097	076	1956/3/17	2	7	【体育】	
1098	076	1956/3/17	2	7	【職業】	
1099	076	1956/3/17	2	8	統計(社、数)法(社)はお家芸 英語怖れるに足らず	
1100	076	1956/3/17	2	8	本に化けた野球スタンド 故岡本ワンマン校長秘話	
1101	076	1956/3/17	2	8	経済学部 ゼミナール紹介(其の二)	
1102	076	1956/3/17	2	8	本間ゼミナール	
1103	076	1956/3/17	2	8	金持ゼミナール	
1104	076	1956/3/17	2	9	南ゼミナール	
1105	076	1956/3/17	2	9	宮本ゼミナール	
1106	076	1956/3/17	2	9	山本ゼミナール	
1107	076	1956/3/17	2	10	1955年度 五大ニュース	
1108	076	1956/3/17	2	11	斉藤ゼミナール	
1109	076	1956/3/17	2	11	小野ゼミナール	
1110	076	1956/3/17	2	11	尾上ゼミナール	
1111	076	1956/3/17	2	11	桜井ゼミナール	
1112	076	1956/3/17	2	12	松村ゼミナール	
1113	076	1956/3/17	2	12	廣橋ゼミナール	
1114	076	1956/3/17	2	12	佐野ゼミナール	
1115	077	1956/5/17	1	1	民主教育制度に危機 問題の教育二法案をめぐって	
1116	077	1956/5/17	1	1	解説	
1117	077	1956/5/17	1	1	論説 統一委員会の設置望む	
1118	077	1956/5/17	1	2	中央集権的統制へ 大学・教育界等を刺激	
1119	077	1956/5/17	1	2	関係団体一斉に起つ 反対声明続々発表	
1120	077	1956/5/17	1	2	文部大臣の権限拡大 委員会法 教育委員を任命制に	
1121	077	1956/5/17	1	4	事実上の国定教科書 反動的教育内容を強要？	
1122	077	1956/5/17	1	4	教科書法	
1123	077	1956/5/17	1	6	委員会法衆院を通過 社会党の反対及ばず	
1124	077	1956/5/17	1	7	突如！織田君逝く 実姉と学芸研究室で	
1125	077	1956/5/17	1	8	好評博した”串本節” 新入生歓迎会終る	
1126	077	1956/5/17	1	8	三〇年度就職状況 未決定僅か二名(経済) 学芸学部はお先真暗	
1127	077	1956/5/17	1	8	やっと八六名決まる(五月一日現在) 学芸学部	
1128	077	1956/5/17	1	9	全学連も動きだす	
1129	077	1956/5/17	1	10	”替え玉受験”に断 六名を無期停学に	
1130	077	1956/5/17	1	10	学友諸君に訴う	
1131	077	1956/5/17	1	11	学生食堂値下げ	
1132	077	1956/5/17	1	11	メーカーへの進出著し 経済学部	
1133	077	1956/5/17	1	12	運連役員決まる	
1134	077	1956/5/17	1	12	七面調	
1135	078	1956/5/17	2	1	第二十七回統一メーデー 市中をジグザグ行進 五月晴れ、歌声も高らか	
1136	078	1956/5/17	2	2	裁判批判について 本間輝雄	
1137	078	1956/5/17	2	4	薫風	
1138	078	1956/5/17	2	4	第四期生 卒業論文テーマ一覧	
1139	078	1956/5/17	2	4	経済学部(残部)	
1140	078	1956/5/17	2	4	【後藤ゼミ】	
1141	078	1956/5/17	2	4	【金持ゼミ】	
1142	078	1956/5/17	2	5	小倉古墳群を探る 考古学研究会 雑賀正芳	
1143	078	1956/5/17	2	6	【野瀬ゼミ】	
1144	078	1956/5/17	2	7	【山本ゼミ】	
1145	078	1956/5/17	2	8	ぺんさき 成果あった「完全ノート」 経済自治委員 拓植茂清	
1146	078	1956/5/17	2	8	【市村ゼミ】	
1147	078	1956/5/17	2	9	スポーツ	
1148	078	1956/5/17	2	12	人事移動	
1149	079	1956/7/6	1	1	参院選挙に際して 新聞部主催世論調査	
1150	079	1956/7/6	1	1	調査方法	
1151	079	1956/7/6	1	1	論説 活発化してきた自治委の動き 自委会は寮・学生食堂・各サークルと 結束して学生の利益のためによき仲介者たれ	
1152	079	1956/7/6	1	2	憲法改正と結びつく 選挙の重要性へ認識深む	
1153	079	1956/7/6	1	2	革新の伸長に期待	
1154	079	1956/7/6	1	4	二大政党 現状に不満 民主戦線統一を望む	
1155	079	1956/7/6	1	5	委員長に網本(経済)古久保(学芸)両君 両学部新自治委員決定す	
1156	079	1956/7/6	1	6	与党により多くの責任 暴力国会 社会党に同情的	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1157	079	1956/7/6	1	8	社会党支持は53% 25%「支持政党なし」	
1158	079	1956/7/6	1	8	よりよき学生生活の為に 両学部自治委員長声明	
1159	079	1956/7/6	1	10	広汎な運動方針採用 全学連第九回大会終る	
1160	079	1956/7/6	1	10	緑風会の反動化衝く	
1161	079	1956/7/6	1	12	全学連加盟で学生大会 きょうL学部で	
1162	079	1956/7/6	1	12	学生ホール建設?	
1163	079	1956/7/6	1	12	学術講演会	
1164	079	1956/7/6	1	12	七面調	
1165	080	1956/7/6	2	1	学内講演会開かる 田畑、西脇両氏招いて	
1166	080	1956/7/6	2	2	書評 堀田善衛「奇妙な青春」 加藤俊夫	
1167	080	1956/7/6	2	3	土人部隊罷り通る 寮祭はなやかに	
1168	080	1956/7/6	2	4	学長抱負の一端 美術講演会開かる	
1169	080	1956/7/6	2	5	学割二割に変更か 全学連反対にのり出す	
1170	080	1956/7/6	2	6	政治討論会行われる	
1171	080	1956/7/6	2	7	旅とエチケット 六期D組 島田郁夫	
1172	080	1956/7/6	2	7	宇野重吉氏を囲んで 労演座談会	
1173	080	1956/7/6	2	7	化学教室が最後 新建築当分ダメ	
1174	080	1956/7/6	2	10	スポーツ	
1175	080	1956/7/6	2	11	二小コース 定員削減? 文部省に申請中	
1176	080	1956/7/6	2	12	山岳部剣沢へ	
1177	080	1956/7/6	2	12	増加図書案内	
1178	080	1956/7/6	2	12	学芸学部就職状況	
1179	081	1956/9/24	1	1	全学連加盟正式に決定 両学部とも絶対多数賛成	
1180	081	1956/9/24	1	1	秋の運動方針決める 本学より初の委員派遣	
1181	081	1956/9/24	1	1	全学連第9回中央委員会	
1182	081	1956/9/24	1	1	論説 全学連の基本方針のもとに	
1183	081	1956/9/24	1	4	就職戦線火ぶたを切る 昨年の約二倍も 求人の出足は早い 経済	
1184	081	1956/9/24	1	6	「若き日本の知性となろう」八・六学生会議宣言採択	
1185	081	1956/9/24	1	7	半数就職に懸命 県赤字財政の影響大 学芸	
1186	081	1956/9/24	1	8	”必ずしも楽観許されず” 宇佐美先生の話	
1187	081	1956/9/24	1	9	平和への新たな決意 原水爆禁止世界大会終る	
1188	081	1956/9/24	1	10	有田の母親を訪問 女子学生の会の便り	
1189	081	1956/9/24	1	10	井上先生渡米 オニール研究に	
1190	081	1956/9/24	1	11	”国民みんなで日中友好” 和大中国研究会	
1191	081	1956/9/24	1	12	七面調	
1192	082	1956/9/24	2	1	本誌主催座談会	
1193	082	1956/9/24	2	1	学生活動の反省と評価 今後の大いなる発展の為に	
1194	082	1956/9/24	2	2	教育三法反対が山 活発になった自治会活動	
1195	082	1956/9/24	2	3	九月の暦	
1196	082	1956/9/24	2	3	平和運動の段階的成果について 山根義夫	
1197	082	1956/9/24	2	5	全学連加盟で積極化 政治運動は否定できぬ	
1198	082	1956/9/24	2	5	黙っている学生が問題 全学生の自覚が必要	
1199	082	1956/9/24	2	7	就職問題が中心(学芸) (経済)積極的な活動を	
1200	082	1956/9/24	2	7	映画評 「逆光線」と「幸せの歌」 E2 拓植茂清	
1201	082	1956/9/24	2	9	和大新聞の発展の為に 網吉之助	
1202	082	1956/9/24	2	9	対滋賀大定期戦 水泳部勝つ	
1203	082	1956/9/24	2	10	弓道初優勝 近畿体育大会終る	
1204	082	1956/9/24	2	11	チャップリンから出た物語	
1205	083	1956/11/8	1	1	大学祭 準備に万全を期す 十日(前夜祭)から九日間 各サークルで多彩	
1206	083	1956/11/8	1	1	関西学連再建への動き 運賃値上げ反対闘争で団結	
1207	083	1956/11/8	1	1	論説 われわれの当面する問題 大学祭を成功に導くとともに国鉄運賃値上げ阻止のために立ち上がろう	
1208	083	1956/11/8	1	2	和大からも代表派遣か 関西学生自治会代表者会議設く	
1209	083	1956/11/8	1	4	全関西学生総決起大会 和大から九十名参加	
1210	083	1956/11/8	1	4	県下学生も立ち上る 運賃問題で 県学生協議会結成へ	
1211	083	1956/11/8	1	6	”文化活動の水準を高めたい” 拓植実行委員長談	
1212	083	1956/11/8	1	7	五十四名決定す だが今後の見通しは暗い 経済	
1213	083	1956/11/8	1	7	就職	
1214	083	1956/11/8	1	8	砂川闘争 報告会開く	
1215	083	1956/11/8	1	9	闘いはむしろ今後 砂川闘争に参加して 大西洋太郎	
1216	083	1956/11/8	1	9	経済学部第二部に 短大に昇格への要望	
1217	083	1956/11/8	1	9	政府・県に強力な交渉 自治委、根本的解決目指す 学芸	
1218	083	1956/11/8	1	12	七面調	
1219	084	1956/11/8	2	1	高い、悪いに不満 対策委員会動き出す	
1220	084	1956/11/8	2	1	学芸食堂問題再燃 学生管理も再考	
1221	084	1956/11/8	2	3	十一月の暦	
1222	084	1956/11/8	2	3	紙魚退治記 米田貫真	
1223	084	1956/11/8	2	4	学術講演会開かる 今西、古林両氏招いて	
1224	084	1956/11/8	2	6	無道な自供の強制 松川事件 被告、加藤氏を囲んで	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1225	084	1956/11/8	2	6	日常的研究を中心に 第三回全教ゼミナール	
1226	084	1956/11/8	2	7	映画「マナスルに立つ」(毎日、映配)	
1227	084	1956/11/8	2	8	サークル紹介 空手部の巻	
1228	084	1956/11/8	2	8	第一回近教ゼミ	
1229	084	1956/11/8	2	8	新入荷学生用図書 中央図書館	
1230	084	1956/11/8	2	9	溢れ出る眞剣味	
1231	084	1956/11/8	2	9	新刊案内	
1232	084	1956/11/8	2	10	スポーツ	
1233	084	1956/11/8	2	10	硬式庭球部	
1234	084	1956/11/8	2	10	化学教室新築中	
1235	084	1956/11/8	2	11	指 沖見一男	
1236	085	1956/12/20	1	1	若人の意気ここに 1956年度大学祭幕を閉ず	
1237	085	1956/12/20	1	1	ジュニア含め 和大から三十名参加 山口大へ 第三回インターゼミ経済部	
1238	085	1956/12/20	1	1	論説 新聞会の改革と発展の為に 学芸学部にも会員制を!	
1239	085	1956/12/20	1	4	県下私鉄も値上げか 言葉をにごす和電軌	
1240	085	1956/12/20	1	4	深刻な就職中盤戦	
1241	085	1956/12/20	1	4	年内に六割突破か "中だるみ" やっと九六名きまる(十二月十日現在)	
1242	085	1956/12/20	1	5	学生大会成立せず 失敗に終わった総決起大会	
1243	085	1956/12/20	1	7	時事評論	
1244	085	1956/12/20	1	7	学芸	
1245	085	1956/12/20	1	8	地方財政の窮乏をどう把握するか 特に学芸卒業生諸君に 土肥秀一	
1246	085	1956/12/20	1	8	母親大会に参加して 女子学生の会の便り	
1247	085	1956/12/20	1	9	実践的教育の確立めざし 第一回近教ゼミ(奈良で)	
1248	085	1956/12/20	1	9	ここにも就職難のしわ 競争激しい四年生編入(学芸)	
1249	085	1956/12/20	1	12	七面調	
1250	086	1956/12/20	2	1	大学祭 平々凡々から脱皮 各会場に活気満つ	
1251	086	1956/12/20	2	1	アメリカ通信 第一信 コネチカット州で 井上宗次	
1252	086	1956/12/20	2	1	強烈な印象受けたホノルル	
1253	086	1956/12/20	2	2	初冬十句	
1254	086	1956/12/20	2	2	印象的な合唱 マンドリンも好演 音楽祭	
1255	086	1956/12/20	2	3	死の谷の背景を踏査	
1256	086	1956/12/20	2	4	新刊案内	
1257	086	1956/12/20	2	4	すぐれた企画多し 十三サークルが参加 展示会 15日~17日	
1258	086	1956/12/20	2	4	上演中のオニール作「氷人來たる」本場の劇に感動	
1259	086	1956/12/20	2	5	白眉「秋のおどり」理解されない英語劇	
1260	086	1956/12/20	2	6	脚光を浴びだしたオニール	
1261	086	1956/12/20	2	7	日本女性史展	
1262	086	1956/12/20	2	9	西口克己著 廓 第二部をも含めて 香山時彦	
1263	086	1956/12/20	2	9	書評	
1264	086	1956/12/20	2	10	学生運動について寸感 渡辺常雄	
1265	086	1956/12/20	2	12	新入庫学生図書 中央図書館	
1266	086	1956/12/20	2	12	子供祭開かる	
1267	086	1956/12/20	2	13	労音と労演	
1268	087	1957/3/18	1	1	きょう晴れの卒業式	
1269	087	1957/3/18	1	1	自重せよ生涯最大の転機 夢と努力は現実を生きぬく力 学長 岩崎真澄	
1270	087	1957/3/18	1	1	卒業生に贈ることば	
1271	087	1957/3/18	1	1	論説 自治委員会を叱る	
1272	087	1957/3/18	1	3	"急げ ゆっくりと" 学芸学部長 加川航三郎	
1273	087	1957/3/18	1	5	尾上忠雄教授急逝 三月五日深夜 和医大にて	
1274	087	1957/3/18	1	6	金持教授中国へ 県経済使節団長として	
1275	087	1957/3/18	1	7	経済12.3倍、学芸2.5倍 52%が浪人 経済	
1276	087	1957/3/18	1	8	"惜しい人を失った" 岩崎学長の話	
1277	087	1957/3/18	1	9	学内人物評 齊藤利三郎教授	
1278	087	1957/3/18	1	10	学生には常に受け身の態度 良き父の商学博士	
1279	087	1957/3/18	1	10	政策担当に南助教授 経済学部三二年度 授業計画大綱決る	
1280	087	1957/3/18	1	10	森実大君永眠	
1281	087	1957/3/18	1	11	卒業演奏会開かる	
1282	087	1957/3/18	1	11	卒業祝いに湯呑み 自治会	
1283	087	1957/3/18	1	12	七面調	
1284	088	1957/3/18	2	1	研究よりもその態度を学ぶ しかし、興味ある対象を掴えよ	
1285	088	1957/3/18	2	1	担当記者の座談会	
1286	088	1957/3/18	2	1	ゼミを如何に選ぶか 各選択生の話から	
1287	088	1957/3/18	2	1	第五期生 卒業論文テーマ一覧	
1288	088	1957/3/18	2	1	経済学部	
1289	088	1957/3/18	2	3	就職と結びつける必要なし 謙虚な態度で学ぼう	
1290	088	1957/3/18	2	4	先生・先輩と相談したい	
1291	088	1957/3/18	2	6	ゼミナール素描	
1292	088	1957/3/18	2	7	学芸学部	
1293	088	1957/3/18	2	8	開講されるゼミ十九 惜まれる尾上教授(経営学)の死	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1294	089	1957/3/18	3	1	間近し完全就職(経済) 神武景気に便乗して	
1295	089	1957/3/18	3	1	岩崎学長にきく 31年度の成果と来年度の抱負	
1296	089	1957/3/18	3	1	近体大会旗图案募集	
1297	089	1957/3/18	3	1	経済学部 就職四ヵ年史	
1298	089	1957/3/18	3	1	僅少予算で求人開拓 ほぼ100%の成績	
1299	089	1957/3/18	3	2	伸びた貿易・商事 未決定あと六名(三月六日現在)	
1300	089	1957/3/18	3	3	不況の中にも完全就職	
1301	089	1957/3/18	3	4	宙に浮いた学芸の就職	
1302	089	1957/3/18	3	4	高校・他府県進出に望み 決定者僅かに二十五名(三月七日現在)	
1303	089	1957/3/18	3	4	全国で小学生増加二十七万人 中学生減少二十二万人	
1304	089	1957/3/18	3	5	就職決定者内訳	
1305	089	1957/3/18	3	5	デフレ政策で大衝撃 "コネ"の活用に必死	
1306	089	1957/3/18	3	6	主な求人会社	
1307	089	1957/3/18	3	7	何とかならぬか 問題ある学内選考	
1308	089	1957/3/18	3	7	龍頭蛇尾の好況期	
1309	089	1957/3/18	3	8	業種別就職状況	
1310	089	1957/3/18	3	8	学級定員は五十人以下と学校教育法に規定	
1311	089	1957/3/18	3	9	新規採用お手上げ	
1312	089	1957/3/18	3	9	"完全就職"を要求 学芸学部生県庁に	
1313	089	1957/3/18	3	10	採用試験 ほとんどが論文形式 時事問題を重視せよ	
1314	089	1957/3/18	3	10	就職斡旋規定	
1315	089	1957/3/18	3	10	学級定員を繞る座談会開く	
1316	089	1957/3/18	3	11	県赤字財政のしわ寄せ	
1317	090	1957/3/18	4	1	反農民的農業政策の一面 米騒動と農業転換論について 南清彦	
1318	090	1957/3/18	4	3	春の暦	
1319	090	1957/3/18	4	3	アメリカ通信 第二信 ニュー・イングランドの秋 井上宗次	
1320	090	1957/3/18	4	4	開学五年にして 学歌・応援歌決る 岩崎学長、片山君当選	
1321	090	1957/3/18	4	4	新学部長に齋藤教授 経済学部 改選行わる	
1322	090	1957/3/18	4	5	"匿名の当選に意外" 岩崎学長談	
1323	090	1957/3/18	4	6	陽光浴びる人間像 映画「米」を観て 石外克喜	
1324	090	1957/3/18	4	8	映画評	
1325	090	1957/3/18	4	9	試験に拾うアレコレ	
1326	090	1957/3/18	4	9	新入庫学生図書	
1327	090	1957/3/18	4	11	公開書簡 中国を訪問される金持先生へ	
1328	090	1957/3/18	4	12	学内行事予定	
1329	090	1957/3/18	4	12	労音と労演	
1330	091	1957/5/11	1	1	クリスマス島水爆実験阻止へ 全国で根強い国民運動	
1331	091	1957/5/11	1	1	学問的精神と人間性を第九回入学式で学長訓示	
1332	091	1957/5/11	1	1	運動方向をハッキリさせよう 核爆発実験反対運動によせて	
1333	091	1957/5/11	1	2	米英ソは禁止協定を 自治会、原水協と要求	
1334	091	1957/5/11	1	3	加川教授が再選 学芸学部長選挙行わる	
1335	091	1957/5/11	1	4	四・二七全国学生総決起に際して 委員長声明	
1336	091	1957/5/11	1	6	「カチューシャ」講演に喝采 恒例の新入生歓迎会終る	
1337	091	1957/5/11	1	6	学芸部室立退きを要求 自治会・サークルで対策を練る	
1338	091	1957/5/11	1	7	ゼミナール決定 学芸学部四年	
1339	091	1957/5/11	1	8	つづく学芸就職の悩み やっと五七.三%きまる(四月十七日現在)	
1340	091	1957/5/11	1	8	"後期の授業までに" 喜多補導幹事の話	
1341	091	1957/5/11	1	9	学内人物評 片山穎太郎教授	
1342	091	1957/5/11	1	9	学内人事異動	
1343	091	1957/5/11	1	10	寸足らずのズボンはいた好々爺	
1344	091	1957/5/11	1	10	世論を喚起 自治会の果たした役 書記局談	
1345	091	1957/5/11	1	12	七面調	
1346	092	1957/5/11	2	1	当局資金調達に躍起 参加予定既に四十六校	
1347	092	1957/5/11	2	1	近体・九月初旬に 今年に本学が当番校	
1348	092	1957/5/11	2	1	六月にはほぼ決定 大学祭実行委結成	
1349	092	1957/5/11	2	2	幸徳事件のひとつと 関山直太郎	
1350	092	1957/5/11	2	3	歌声高く雨中行進 第28回統一メーデー	
1351	092	1957/5/11	2	5	和大、全学新に加盟 第九回関西支部大会開かる	
1352	092	1957/5/11	2	6	化学教室モデルハウス竣工 当分新建築打切り	
1353	092	1957/5/11	2	8	サル社会の研究 文化の萌芽はどこに? 徳田喜三郎	
1354	092	1957/5/11	2	9	昼食・コンパは学芸食堂で	
1355	092	1957/5/11	2	9	サークル紹介	
1356	092	1957/5/11	2	10	新食堂委員長に西羽君	
1357	092	1957/5/11	2	10	労音と労演	
1358	092	1957/5/11	2	10	若き独語マンの悩み D・S・G	
1359	092	1957/5/11	2	10	日本一の環境と施設 ヨット部	
1360	092	1957/5/11	2	11	寮に図書室	
1361	093	1957/6/12	1	1	大学祭あすから開幕	
1362	093	1957/6/12	1	1	論説 再び新聞会の改革と発展のために	

和歌山大学新聞

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1363	093	1957/6/12	1	2	準備かろうじて完了 異例の六月開催にとまどう	
1364	093	1957/6/12	1	3	本年初の学生大会開く あす活動方針を討議 経済 学芸学部は今月末か	
1365	093	1957/6/12	1	3	五・一七抗議集会 街頭署名運動も	
1366	093	1957/6/12	1	3	委員長に拓植・松本両君 両学部自治委員決定	
1367	093	1957/6/12	1	3	大学祭に参加しよう	
1368	093	1957/6/12	1	4	クリスマス島に三発目の実験許すな 第九回大会の方針正しさ確認 全国から六百名参加	
1369	093	1957/6/12	1	4	第10回全学連大会	
1370	093	1957/6/12	1	6	少ない教官研究費 本年度 大学予算決まる	
1371	093	1957/6/12	1	6	総額1億2千万円	
1372	093	1957/6/12	1	7	書記局に調査部「主体性を持った方針」めざす 経済自治会	
1373	093	1957/6/12	1	7	学芸に会員制を 新聞会 学生大会で提案	
1374	093	1957/6/12	1	7	学芸プールなど六件 工事費に七五〇万円	
1375	093	1957/6/12	1	8	学内人物評 F.ヘッセル講師	
1376	093	1957/6/12	1	8	会則修正案も	
1377	093	1957/6/12	1	9	ドイツ人タイプそのもの おカタイ先生	
1378	093	1957/6/12	1	10	大学側学生側懇談会 学芸学部で	
1379	093	1957/6/12	1	11	七面調	
1380	094	1957/6/12	2	1	ダンスパーティをきる	
1381	094	1957/6/12	2	1	結局”金”の問題 魅力ある『事業収入』	
1382	094	1957/6/12	2	1	アメリカ通信 第三信 マサチューセッツの旅 井上宗次	
1383	094	1957/6/12	2	3	対策に映写機購入か	
1384	094	1957/6/12	2	3	学芸食堂問題に断 向う一カ年 質・量・値段とも据置	
1385	094	1957/6/12	2	5	当分は健全化へ	
1386	094	1957/6/12	2	5	馬場、宮本ゼミなど参加 西日本経済学研究会 7月1日から関西学院大で	
1387	094	1957/6/12	2	5	戦中派の学生生活 私の追想より 宮本義男	
1388	094	1957/6/12	2	6	市中を行く土人部隊 大学祭に先がけて	
1389	094	1957/6/12	2	6	寮祭	
1390	094	1957/6/12	2	7	サークル紹介 時には男性研究も 女子学生の会	
1391	094	1957/6/12	2	7	相次ぐ思想弾圧	
1392	094	1957/6/12	2	9	再建三年で近体優勝 弓道部	
1393	094	1957/6/12	2	9	学生集会所も設く 学芸部室立退き先決る	
1394	094	1957/6/12	2	9	『教養科目』を検討 就職推薦の申合せも	
1395	094	1957/6/12	2	9	弾圧下の学問	
1396	094	1957/6/12	2	10	反学同支部結成	
1397	094	1957/6/12	2	10	高島教授の言葉	
1398	094	1957/6/12	2	11	幻燈会開かる	
1399	094	1957/6/12	2	11	守れ大学の自由	
1400	095	1957/7/6	1	1	経済学部 学生大会成立す 一般方針原案通り可決	
1401	095	1957/7/6	1	1	法人化急ぐ消費組合 課税対策に苦慮	
1402	095	1957/7/6	1	1	論説 夏休み中の市民との交流	
1403	095	1957/7/6	1	2	自治会費用月六十円に 来年度からダンスパーティ廃止	
1404	095	1957/7/6	1	4	食堂対策委員を選出	
1405	095	1957/7/6	1	5	映写機の購入はダメ? 京大の実状わかる	
1406	095	1957/7/6	1	7	学芸は雨で流会	
1407	095	1957/7/6	1	7	近教協協議開く	
1408	095	1957/7/6	1	7	全関西代表会議開かる	
1409	095	1957/7/6	1	7	寮生会議開催	
1410	095	1957/7/6	1	7	学生論壇	
1411	095	1957/7/6	1	8	八月三十一日から近体・十六種目に出場	
1412	095	1957/7/6	1	8	学生運動と平和擁護闘争 拓植茂清	
1413	095	1957/7/6	1	9	学内人物評 岩崎真澄学長	
1414	095	1957/7/6	1	9	新聞会会則改正さる 本年度第一回新聞会総会	
1415	095	1957/7/6	1	10	夢多きロマンチスト 次から次へ理想論	
1416	095	1957/7/6	1	11	予算近日中に決定	
1417	095	1957/7/6	1	12	七面調	
1418	096	1957/7/6	2	1	低調だった大学祭	
1419	096	1957/7/6	2	1	パートナーに小学生も フォークダンスは大成功	
1420	096	1957/7/6	2	1	前夜祭	
1421	096	1957/7/6	2	2	荘重な学歌の合唱 熱演にわく拍手	
1422	096	1957/7/6	2	2	音楽祭	
1423	096	1957/7/6	2	3	今年も外米の勝 人気あった綱引き	
1424	096	1957/7/6	2	3	体育祭	
1425	096	1957/7/6	2	3	アメリカ通信 第四信 イェール大学の印象 井上宗次	
1426	096	1957/7/6	2	4	練習不足の演劇部 継続的研究が必要	
1427	096	1957/7/6	2	4	演劇祭	
1428	096	1957/7/6	2	5	総評	
1429	096	1957/7/6	2	7	展示会	
1430	096	1957/7/6	2	8	講堂一パイの聴衆 貝塚・向坂両氏を迎えて	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1431	096	1957/7/6	2	8	講演会	
1432	096	1957/7/6	2	9	サークル紹介	
1433	096	1957/7/6	2	9	古墳発掘調査(考古学)など 各サークル夏休み計画	
1434	096	1957/7/6	2	9	書評 アンデルセン自伝	
1435	096	1957/7/6	2	10	慰安演奏にも一役 マンドリン部	
1436	096	1957/7/6	2	10	愉快的河童の集い 水泳部	
1437	096	1957/7/6	2	10	好評だった「埋れた青春」	
1438	096	1957/7/6	2	10	映画祭	
1439	096	1957/7/6	2	11	講演会開かる	
1440	097	1957/9/15	1	1	第四回近畿地区大学体育大会終る	
1441	097	1957/9/15	1	1	原水爆実験禁止協定を 総決起デー 国連総会へ呼びかけ	
1442	097	1957/9/15	1	1	論説 性急な修身科の独立は危険	
1443	097	1957/9/15	1	3	困難な共同行動	
1444	097	1957/9/15	1	4	昨年以上の大量求人 出足の早い中小企業 堅いところはワンチャンスか	
1445	097	1957/9/15	1	5	相変わらずお先真暗 学芸 中小教員にも採用試験か	
1446	097	1957/9/15	1	6	社会選択を誤るな 宇佐美教官談	
1447	097	1957/9/15	1	7	黒潮論壇	
1448	097	1957/9/15	1	8	難行の訪中県使節団 国慶節にも間に合わず	
1449	097	1957/9/15	1	8	重要な学生の任務 原水爆禁止世界大会に参加して 由比達雄	
1450	097	1957/9/15	1	9	学内人物評 末松二郎教授	
1451	097	1957/9/15	1	9	原爆展も開く 県帰郷学生生活動	
1452	097	1957/9/15	1	10	是々非々主義の親父 押しの強さは相当	
1453	097	1957/9/15	1	12	七面調	
1454	098	1957/9/15	2	2	『絶望する誠実さ』の価値 現代の課題 北山正徳	
1455	098	1957/9/15	2	3	ヨーロッパ通信 第一信 アイルランドとイギリス 井上宗次	
1456	098	1957/9/15	2	4	弓道(団体)連続優勝 バレー・ヨットは二位	
1457	098	1957/9/15	2	4	にじみ出た「学生らしさ」	
1458	098	1957/9/15	2	6	小規模だがまとまる めぐまれなかった天候	
1459	098	1957/9/15	2	7	池田君個人総合で優勝(体操)	
1460	098	1957/9/15	2	8	選手層が浅い 望まれる運動人口増加	
1461	098	1957/9/15	2	8	千数百年前の古墳	
1462	098	1957/9/15	2	9	サークル紹介	
1463	098	1957/9/15	2	10	子どもに特別の人気 児童文化クラブ	
1464	098	1957/9/15	2	10	雄大な自然と共に 山岳部	
1465	098	1957/9/15	2	10	ニコライ氏の話 モスクワ・フェスティバルに参加して 泉本山次	
1466	099	1957/11/20	1	1	全学共闘実現さる 十一・一統一行動デー 教官も大会に参加	
1467	099	1957/11/20	1	1	ストライキも辞せず 学芸検定反対、完全就職目標に	
1468	099	1957/11/20	1	1	論説 十一・一大会に学ぶもの	
1469	099	1957/11/20	1	4	大会宣言	
1470	099	1957/11/20	1	4	来月二十五日 教員採用適性検査	
1471	099	1957/11/20	1	6	学内人事異動	
1472	099	1957/11/20	1	6	ストは効果なし 一般市民に聞く	
1473	099	1957/11/20	1	6	第四回インターゼミ迫る 22日から慶大で 本学から70余名参加	
1474	099	1957/11/20	1	8	全国大会へ 剣道部	
1475	099	1957/11/20	1	8	ゼミ連初の試み 学内交流ゼミ開く	
1476	099	1957/11/20	1	8	十二月に群馬大で 全教ゼミナール	
1477	099	1957/11/20	1	9	学内人物評 保田龍門教授	
1478	099	1957/11/20	1	9	ゼミ 二年で選択(経済)	
1479	099	1957/11/20	1	10	「若さを尊ばなくては」人間味ある老芸術家	
1480	099	1957/11/20	1	10	僅かに三名 学芸就職状況	
1481	099	1957/11/20	1	11	単位制大幅改正?	
1482	099	1957/11/20	1	11	井上教授帰国	
1483	099	1957/11/20	1	12	七面調	
1484	100	1957/11/20	2	1	全学連目標には賛成 関心はかなり高い	
1485	100	1957/11/20	2	1	学内生活 和大学生の意見 新聞会世論調査	
1486	100	1957/11/20	2	1	少ない時間、多い人員 ゼミナール テーマ中心に選択	
1487	100	1957/11/20	2	3	まず健康な大学生活 就職 ある程度考慮	
1488	100	1957/11/20	2	5	半数がスト支持	
1489	100	1957/11/20	2	5	”改善の余地あり”教員の免許状取得方法	
1490	100	1957/11/20	2	7	講義に不満85% 授業内容一考せよ	
1491	100	1957/11/20	2	8	学生運動への参加	
1492	100	1957/11/20	2	8	四割がカンニング(三、四年生) 一年ではまだ一割	
1493	100	1957/11/20	2	9	一般・専門は出席とるな 外国語体育実技は必要あり	
1494	100	1957/11/20	2	10	果報は寝てまで	
1495	100	1957/11/20	2	11	自治会に望む	
1496	101	1957/11/20	3	1	裁判について 八海事件最高裁判によせる 本間輝夫	
1497	101	1957/11/20	3	1	公労法改正の主張 後藤清	
1498	101	1957/11/20	3	2	要請さる人権擁護 からむ事実認定の困難さ 妥当な最高裁判決	
1499	101	1957/11/20	3	3	『公共の福祉』解釈に問題 尾をひく滅私奉公の精神	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1500	101	1957/11/20	3	6	ミーケ氏本学で講演	
1501	101	1957/11/20	3	7	断然多い商事・金融 経済学部 快調な就職序盤戦	
1502	101	1957/11/20	3	9	完全就職は中盤に問題	
1503	101	1957/11/20	3	9	『世論と数字は別物』世論調査に一言 H・M生	
1504	101	1957/11/20	3	11	就職決定百十一名 十一月十五日現在(決定順)	
1505	101	1957/11/20	3	13	教師の社会的役割 学芸2年 竜野勝彦	
1506	101	1957/11/20	3	13	黒潮論壇	
1507	101	1957/11/20	3	13	人工衛星の反響 経済2年 白神忠志	
1508	102	1957/11/20	4	1	ヒューマニズムの限界	
1509	102	1957/11/20	4	1	ヨーロッパ通信 第二信	
1510	102	1957/11/20	4	2	3.15事件の歴史的裁判 小林多喜二 1928年3月15日について 中井澄明	
1511	102	1957/11/20	4	3	革命運動の中へ	
1512	102	1957/11/20	4	3	フランス・ドイツ スイスの旅 井上宗次	
1513	102	1957/11/20	4	4	特高との対決	
1514	102	1957/11/20	4	5	書評 倫理に関する二つの見方 教師論を中心に 大井令雄	
1515	102	1957/11/20	4	6	支配階級に脅威	
1516	102	1957/11/20	4	7	同志たちの憤怒を	
1517	102	1957/11/20	4	9	映画評 孤独と絶望の生涯 炎の人ゴッホ	
1518	102	1957/11/20	4	10	サークル紹介	
1519	102	1957/11/20	4	11	学内美化にも一役 絵画クラブ	
1520	102	1957/11/20	4	11	チーム・ワークの粋 男子バレーボール部	
1521	103	1957/11/26	1	1	学芸採用適性検査をめぐる	
1522	103	1957/11/26	1	1	不採用を合理化するもの 自治会中心に反対運動を展開	
1523	103	1957/11/26	1	1	第二波ストに突入 11.26学生大会で再確認	
1524	103	1957/11/26	1	4	就職対策委員会結成	
1525	103	1957/11/26	1	5	大学側の意見	
1526	103	1957/11/26	1	6	完全就職をのぞむ	
1527	103	1957/11/26	1	7	大学側と一致せず	
1528	103	1957/11/26	1	7	願書不提出で闘う	
1529	103	1957/11/26	1	8	担当記者の座談会	
1530	104	1957/11/26	2	1	学生の意見を拾う 第一波ストは成功? 学芸 多少行き過ぎとの意見も	
1531	104	1957/11/26	2	1	”あくまで受験拒否を” 27日社会党議員との話し合い	
1532	104	1957/11/26	2	2	学内不統一に疑問	
1533	104	1957/11/26	2	3	経済 学芸の抜打ストにビックリ だが傍観的雰囲気	
1534	104	1957/11/26	2	4	スト「賛成」・「行過ぎ」ほぼ半々	
1535	104	1957/11/26	2	4	既定通り実施か 県教育委員会の意向	
1536	104	1957/11/26	2	5	採用適性検査反対 ほとんど一致	
1537	104	1957/11/26	2	6	適性検査は違法 教職組真砂町支部	
1538	104	1957/11/26	2	7	公式主義的な活動に批判 逆効果を恐れる	
1539	104	1957/11/26	2	8	「第二ストには処分?」25日学長と教職組の話し合い	
1540	104	1957/11/26	2	8	自治会に百二十五通 適検願書受付	
1541	104	1957/11/26	2	8	今後の活動に ”自重を望む”が圧倒的	
1542	104	1957/11/26	2	9	全学連より二十数名	
1543	105	1957/12/16	1	1	学芸自治委員会信任さる 和大闘争の正しさを証明 委員会と学生の連携を強める	
1544	105	1957/12/16	1	1	米国の暴挙を追求 十二・六統一デー 沖縄不当弾圧反対	
1545	105	1957/12/16	1	1	論説 ストによって得た成果と教訓	
1546	105	1957/12/16	1	4	年内に百四十名? 経済就職 のびなかった中盤戦	
1547	105	1957/12/16	1	6	三食・消費組合統一か	
1548	105	1957/12/16	1	6	西羽学生食堂委員長の話	
1549	105	1957/12/16	1	6	学生運動の推進者 全学新十二全委 目的を再確認	
1550	105	1957/12/16	1	7	井上教授帰国 幻灯会開かる	
1551	105	1957/12/16	1	7	サークル紹介	
1552	105	1957/12/16	1	8	学内人物評 正田彬助教授	
1553	105	1957/12/16	1	8	簿記は一般教養へ 新入生から単位取得方法変更	
1554	105	1957/12/16	1	8	森本敏史君入選	
1555	105	1957/12/16	1	8	我こそ先生の卵なり 教育科学研究会	
1556	105	1957/12/16	1	9	教壇で勝負する ファイトある青年学者	
1557	105	1957/12/16	1	9	第一回定期講演会開かる マンドリンクラブ	
1558	105	1957/12/16	1	10	池田助教授秤量中に重症	
1559	105	1957/12/16	1	10	ゼミ連便り	
1560	105	1957/12/16	1	11	七面調	
1561	106	1957/12/16	2	1	教員採用適性検査反対闘争と自治会解散処分反対闘争	
1562	106	1957/12/16	2	1	ヨーロッパ通信 第三信	
1563	106	1957/12/16	2	3	完全撤回を要求	
1564	106	1957/12/16	2	3	オーストリアからイタリアへ 井上宗次	
1565	106	1957/12/16	2	4	汚点を残す自治会解散処分 学生自治を無視するもの	
1566	106	1957/12/16	2	4	二条件は学生大会への干渉	
1567	106	1957/12/16	2	5	軽くみた二条件	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1568	106	1957/12/16	2	6	不当な解散処分	
1569	106	1957/12/16	2	6	経済も動きだす	
1570	106	1957/12/16	2	8	急転直下解決	
1571	106	1957/12/16	2	8	すばらしい舞台の映画化「バレエへの招宴」	
1572	106	1957/12/16	2	9	実質面も軽視するな 闘争で得たもの	
1573	106	1957/12/16	2	9	ポイントは早期情宣活動と内部統一	
1574	106	1957/12/16	2	10	暴露された教授会内部の事情	
1575	106	1957/12/16	2	11	適検ストに思う 経済学生大会への疑問	
1576	107	1958/3/18	1	1	岩崎学長再選さる	
1577	107	1958/3/18	1	1	卒業おめでとう	
1578	107	1958/3/18	1	1	卒業生諸君におくる 学長 岩崎真澄	
1579	107	1958/3/18	1	1	論説 具体的な経営方針を示せ 岩崎学長再選に望む	
1580	107	1958/3/18	1	2	学生ホール必ず実現 学長と一問一答 一般教養の重要さも強調	
1581	107	1958/3/18	1	5	卒業生によせる言葉 学芸学部長 加川航三郎	
1582	107	1958/3/18	1	6	三十三年度入学試験 経済10.3倍 学芸2.3倍 経済 浪人は減る	
1583	107	1958/3/18	1	8	完全就職へあと十数名 経済 昨年同様好成績	
1584	107	1958/3/18	1	9	学内人物評 米田速水助教授	
1585	107	1958/3/18	1	9	寮生に電気料を 大学側からの働きかけ	
1586	107	1958/3/18	1	10	新進気鋭の科学者 家庭では良きパパ振り	
1587	107	1958/3/18	1	11	厚生課新装なる 経済本部事務局増築	
1588	107	1958/3/18	1	11	”もっと御利用ください” 両学部保健室	
1589	107	1958/3/18	1	12	七面調	
1590	108	1958/3/18	2	1	昔の学生・今の学生 和高商・師範と和歌山大学	
1591	108	1958/3/18	2	1	みちあふれる自由な気風 和高商 二十余年を貫く伝統	
1592	108	1958/3/18	2	2	詰襟型の学生生活 師範学校の思い出 中井義雄	
1593	108	1958/3/18	2	3	あわたたしい戦後の変貌 だんだん落ち着きを取りもどす	
1594	108	1958/3/18	2	3	混乱期の学生たち	
1595	108	1958/3/18	2	3	勝手拭のバンカラ学生	
1596	108	1958/3/18	2	5	無難だが個性がない これも戦後社会の産物	
1597	108	1958/3/18	2	5	”ぜひ養子に”という声も 町の人に好かれた高商生	
1598	108	1958/3/18	2	6	実学に墮すな	
1599	108	1958/3/18	2	7	週刊誌的な知識	
1600	108	1958/3/18	2	8	不可欠のアルバイト 社会裏の経済学を学ぶ	
1601	108	1958/3/18	2	9	常識的な現代学生論 中尾健一著「大学と大学生」	
1602	108	1958/3/18	2	9	まだ純朴な和太生 田舎的なよさをもつ	
1603	108	1958/3/18	2	10	うすれる特権意識 現実に深く根を下ろす	
1604	109	1958/3/18	3	1	世界経済の二分割 からむ植民地体制の崩壊	
1605	109	1958/3/18	3	1	問題的に共通の場 だが平行線は避けられぬ	
1606	109	1958/3/18	3	2	資本主義の構造変化	
1607	109	1958/3/18	3	2	道具のたて方がちがう	
1608	109	1958/3/18	3	3	安定化の要因を強調 名和氏 現状分析に問題提起	
1609	109	1958/3/18	3	3	ビジョンでは接近 政治感覚と経済学は別	
1610	109	1958/3/18	3	4	両経済学の接触	
1611	109	1958/3/18	3	6	変わっていない資本主義 都留氏暗に名和氏を批判	
1612	109	1958/3/18	3	6	座談会 現代資本主義と経済学の課題 マルクス経済学の諸問題について	
1613	109	1958/3/18	3	7	残る質の問題 宮本 二見 二つの主義に本質的差異	
1614	109	1958/3/18	3	8	「資本論」と現実適用 マル経 近経 全体的な経済の動き解明へ	
1615	109	1958/3/18	3	9	経済学の変貌	
1616	109	1958/3/18	3	10	分析用具に貧しいマル経	
1617	109	1958/3/18	3	11	「資本論」の対象領域に問題 体系化の遅れた独占資本主義論	
1618	109	1958/3/18	3	12	価値法則と独占	
1619	109	1958/3/18	3	12	価値論にあたる均衡論	
1620	109	1958/3/18	3	13	価値論再適用の問題	
1621	109	1958/3/18	3	13	マル経にも機能分析を	
1622	109	1958/3/18	3	13	現実性もため恐慌論	
1623	110	1958/3/18	4	1	学芸	
1624	110	1958/3/18	4	1	黒潮論壇	
1625	110	1958/3/18	4	2	前進的契機の重視 未開放部落史の課題 渡辺広	
1626	110	1958/3/18	4	3	新中国と国交開け L三・文理 志磨博子	
1627	110	1958/3/18	4	4	サークル誌を採点する 目的と内容にギャップ 意欲的な研究・作品を望む	
1628	110	1958/3/18	4	6	核・融・合・と・は 第二の太陽をつくる 徳岡善助	
1629	110	1958/3/18	4	9	映画評 ユーモラスな娯楽作品 チャールス・ロートンの「情婦」	
1630	110	1958/3/18	4	11	サークル紹介 新聞会編集局	
1631	110	1958/3/18	4	12	プール完成 学芸学部	
1632	110	1958/3/18	4	12	関山教授博士に	
1633	111	1958/5/18	1	1	発刊五十号を迎える	
1634	111	1958/5/18	1	1	論説 平和憲法を守れ 総選挙に期待する	
1635	111	1958/5/18	1	2	学生の利益の代弁者 学生新聞の意義	
1636	111	1958/5/18	1	4	坂田君(経済)中村君(学芸) 本年度自治委員長決る	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1637	111	1958/5/18	1	4	自由な学園生活を 新入生諸君に望む	
1638	111	1958/5/18	1	6	学芸就職 七十五%が決定 あとは臨時就職か	
1639	111	1958/5/18	1	8	現代資本主義と平和運動 全学連十一回大会にあたって 拓植茂清	
1640	111	1958/5/18	1	8	学内人物評	
1641	111	1958/5/18	1	9	もとは文学青年 一日一冊の読書 石外克喜講師	
1642	111	1958/5/18	1	10	二十八日から全学連大会	
1643	111	1958/5/18	1	10	学生新聞の性格を討議 全学新十三全委	
1644	111	1958/5/18	1	12	七面調	
1645	112	1958/5/18	2	1	不可解な学長選挙 五十三年十二月 無期限ストに突入	
1646	112	1958/5/18	2	1	特集 和大大新聞から見た大学の動き	
1647	112	1958/5/18	2	1	一九五一	
1648	112	1958/5/18	2	1	中小企業への追込み成功	
1649	112	1958/5/18	2	2	就職史の暗黒期	
1650	112	1958/5/18	2	3	和大大就職五カ年をかえりみて	
1651	112	1958/5/18	2	5	学芸・就職戦線深刻化	
1652	112	1958/5/18	2	6	一九五二～五三	
1653	112	1958/5/18	2	7	完全就職をめざしたストライキに立つ	
1654	112	1958/5/18	2	8	授業料九千円に(五六年度より) 全国的反対闘争も空し	
1655	112	1958/5/18	2	8	一九五四～五五	
1656	112	1958/5/18	2	9	新人ジーン・セバーグが好演「悲しみよ、こんにちは」	
1657	112	1958/5/18	2	10	一九五六	
1658	112	1958/5/18	2	11	一九五七	
1659	113	1958/5/18	3	1	道德教育 実質上の問題を探る	
1660	113	1958/5/18	3	1	手引書のうらに政府の意図(和教組) 学教法を改正して時間特設(県教委) 現場教育を尊重信頼せよ(現場教師)	
1661	113	1958/5/18	3	1	父兄の意見を利用した政府	
1662	113	1958/5/18	3	3	目的は権力に従順な人間	
1663	113	1958/5/18	3	3	注視すべき政府の動き 必要なのは現代の道德	
1664	113	1958/5/18	3	5	学習指導要領に拘束性	
1665	113	1958/5/18	3	6	道德は生活の中から生まれる	
1666	113	1958/5/18	3	8	今まで通り生活指導で	
1667	113	1958/5/18	3	9	真の道德教育は 道德教育を軽蔑する 学芸学部講師 西滋勝	
1668	113	1958/5/18	3	10	権力支配樹立の恐れ	
1669	113	1958/5/18	3	10	教員の能力差は無くしうる	
1670	113	1958/5/18	3	12	イデオロギーを越えた 民主主義教育 L3・4中 山下喜久男	
1671	114	1958/5/18	4	1	新入生諸君のために	
1672	114	1958/5/18	4	1	学生運動の反省と展望 昨年の和大的動きから	
1673	114	1958/5/18	4	2	もっと啓蒙活動を行え 自治委員会へ一言 経済二年 定久俊之	
1674	114	1958/5/18	4	5	学生層の把握が必要 散発的だがエネルギー秘める 適検反対スト 強力な運動を展開	
1675	114	1958/5/18	4	5	平和擁護闘争の萌芽期	
1676	114	1958/5/18	4	6	学問・文化の創造発展も期す	
1677	114	1958/5/18	4	7	黒潮論壇	
1678	114	1958/5/18	4	8	困難な諸階層との連携	
1679	114	1958/5/18	4	8	”部落解放”に目を開け!! 民主主義の達成のために 経済四年 大森米	
1680	114	1958/5/18	4	10	積極的な支援を望む なぜ立候補したか 経済学部自治委員長 坂田準三	
1681	114	1958/5/18	4	11	九・一七全学共同で立上る	
1682	114	1958/5/18	4	12	自治会解散処分は不当	
1683	114	1958/5/18	4	14	学園内の問題にも留意	
1684	115	1958/6/13	1	1	警官隊実力行使に出る 話合おうに依らず 県教委 一方的に団交打ち切り	
1685	115	1958/6/13	1	1	論説 勤評あくまで撤回へ	
1686	115	1958/6/13	1	4	解説 大学の自治に干渉 警察の不当調査明るみへ	
1687	115	1958/6/13	1	6	なぐるけるの暴挙 体験者・目撃者にきく	
1688	115	1958/6/13	1	6	スパイ活動を認める 下松西署長明言	
1689	115	1958/6/13	1	7	ふだんから調査 県警察本部長語る	
1690	115	1958/6/13	1	8	学内人物評 広実源太郎助教授	
1691	115	1958/6/13	1	8	ハリスト者にうその涙 九日の団交 小山委員確認	
1692	115	1958/6/13	1	8	警察の調査は遺憾 岩崎学長語る	
1693	115	1958/6/13	1	8	闘争形態決まらず 学芸学部学生大会	
1694	115	1958/6/13	1	9	洗練された都会青年	
1695	115	1958/6/13	1	9	E学生大会流れる	
1696	115	1958/6/13	1	11	帝国主義政策に対処 第十一回 全学連大会終る	
1697	115	1958/6/13	1	12	七面調	
1698	116	1958/6/13	2	1	全国的に闘争に発展 全学連も来援	
1699	116	1958/6/13	2	1	勤定を条例化	
1700	116	1958/6/13	2	4	有効需要では克服不能 現在の不況の性格と対策 三上隆三	
1701	116	1958/6/13	2	6	指導主事意見書を出す	
1702	116	1958/6/13	2	7	県教委抜打ち実施	
1703	116	1958/6/13	2	8	黒潮論壇	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1704	116	1958/6/13	2	8	県教委抜打ちを陳謝	
1705	116	1958/6/13	2	9	資本の人間支配を阻止 偉大なる労働者の力 学芸二年 玉本祥雄	
1706	116	1958/6/13	2	11	送達簿拾わる	
1707	117	1958/7/3	1	1	長期化した勤評闘争	
1708	117	1958/7/3	1	1	論評 休み中の勤評闘争	
1709	117	1958/7/3	1	2	大々的に帰郷活動 EL自委会 休み中の勤評闘争の方針	
1710	117	1958/7/3	1	2	教育を守る大集会 8月15日に和歌山市で	
1711	117	1958/7/3	1	4	和教組を不当捜査 弁護士団声明 地公法こそ違法だ	
1712	117	1958/7/3	1	6	経過日誌	
1713	117	1958/7/3	1	6	和大 勤評闘争を報告 第十一回全学新大会	
1714	117	1958/7/3	1	7	青空教室へ百数十名 第二波闘争を側面援助	
1715	117	1958/7/3	1	7	部室拡張など要求 大学予算に学生の意見	
1716	117	1958/7/3	1	9	学内人物評	
1717	117	1958/7/3	1	10	仲々話せる"山男" 浅野徹講師	
1718	117	1958/7/3	1	10	共同デスク設置 全学新 勤評反対闘争	
1719	117	1958/7/3	1	10	十月二十五日頃 大学祭	
1720	117	1958/7/3	1	11	クラブ予算決定	
1721	117	1958/7/3	1	11	仮称 図書委員を設置	
1722	117	1958/7/3	1	11	硬庭C級へ	
1723	117	1958/7/3	1	12	七面調	
1724	118	1958/7/3	2	1	学芸	
1725	118	1958/7/3	2	1	現代資本主義論争によせて 守屋氏の名和・長洲論文の批判に関連して	
1726	118	1958/7/3	2	2	論争のむずかしさ	
1727	118	1958/7/3	2	2	資本主義 論争の問題点	
1728	118	1958/7/3	2	3	まず一般的な感想から	
1729	118	1958/7/3	2	3	「問題」はないのか	
1730	118	1958/7/3	2	4	平和と民主主義の時代 資本主義の形態変化 長州一二	
1731	118	1958/7/3	2	4	本質とその貫徹形態	
1732	118	1958/7/3	2	5	百家争鳴で前進したい	
1733	118	1958/7/3	2	6	世界史上の「新」段階ということ	
1734	118	1958/7/3	2	7	「危機」論の反省と発展	
1735	118	1958/7/3	2	7	名和論文の問題提起 技術革新のばあい	
1736	118	1958/7/3	2	8	問題のポイント	
1737	118	1958/7/3	2	9	「危機」「移行」の新しい問題	
1738	118	1958/7/3	2	9	大学の政治的中立性 権力を排除して学問の自由を守れ 渡辺廣	
1739	118	1958/7/3	2	11	私の反省	
1740	119	1958/10/25	1	1	警職法改正案 盛上る反対闘争	
1741	119	1958/10/25	1	1	全学連 ゼネストを確認	
1742	119	1958/10/25	1	1	論説 警職法改正案に反対する	
1743	119	1958/10/25	1	2	人権侵害の恐れ 公共の秩序に名をかる組織弾圧	
1744	119	1958/10/25	1	2	経済 教授団反対声明か	
1745	119	1958/10/25	1	3	反動政策の突破口	
1746	119	1958/10/25	1	5	教育系大もストで	
1747	119	1958/10/25	1	6	名称を教員採用試験に 採用適性検査今年も実施	
1748	119	1958/10/25	1	6	決定者昨年の七割(十月二二日現在) 伸び悩む大企業進出	
1749	119	1958/10/25	1	7	学内人物評 加川航三郎教授	
1750	119	1958/10/25	1	7	大学祭日程決る	
1751	119	1958/10/25	1	8	本学の歴史とともに 哲学に生きる古参教授	
1752	119	1958/10/25	1	8	学生ホール難行 学長と対談	
1753	119	1958/10/25	1	9	自然科学教室改築続く 天体望遠鏡も設置	
1754	119	1958/10/25	1	10	七面調	
1755	120	1958/10/25	2	2	警職法と治安維持法 暴力的な国民大衆への挑戦 山本正治	
1756	120	1958/10/25	2	3	許せない法的拘束力 教育課程の改定批判 大井令雄	
1757	120	1958/10/25	2	5	躍進するソ連経済 二十一年党大会と七カ年計画 山口慶四郎	
1758	120	1958/10/25	2	6	七カ年計画の必要性	
1759	120	1958/10/25	2	8	黒潮論壇	
1760	120	1958/10/25	2	8	高い生産高目標	
1761	120	1958/10/25	2	9	疑問抱かせる学生運動 経済学部三年 安野大一	
1762	120	1958/10/25	2	9	二一党大会の意義	
1763	120	1958/10/25	2	9	映画評 高校生活に面白味	
1764	120	1958/10/25	2	10	第一回 職員文化展	
1765	120	1958/10/25	2	11	インターゼミ 十一月下旬から	
1766	120	1958/10/25	2	12	テントやーい!	
1767	120	1958/10/25	2	12	【おわび】	
1768	121	1958/11/26	1	1	見通し明るい就職状況 経済就職 伸びた中小企業への進出 すでに百三十一名決定(11月26日現在)	
1769	121	1958/11/26	1	1	論説 学生の無気力について	
1770	121	1958/11/26	1	3	安保条約改定の問題点	
1771	121	1958/11/26	1	4	学芸就職 中学校「頭がイタイ」小学校 去年なみ	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1772	121	1958/11/26	1	5	第五回 全日本ゼミ近づく	
1773	121	1958/11/26	1	7	ゼミ選択は十一月中に	
1774	121	1958/11/26	1	7	大学祭開かる	
1775	121	1958/11/26	1	7	免職停職二十一名 和教組 大量処分出る	
1776	121	1958/11/26	1	8	学内人物評	
1777	121	1958/11/26	1	9	モットーは”けんきょさ” 安藤精一	
1778	121	1958/11/26	1	9	学問・思想・集会の自由 侵す危険がある 教授団反対声明	
1779	121	1958/11/26	1	9	盟休に協力	
1780	121	1958/11/26	1	10	警職法改悪反対県民大会	
1781	121	1958/11/26	1	10	船田秀治君(E4)	
1782	121	1958/11/26	1	11	声明	
1783	121	1958/11/26	1	12	七面調	
1784	122	1958/11/26	2	1	学内の問題点をさぐる	
1785	122	1958/11/26	2	1	十萬円の寄附で汚職の始末? あいまいな厚生課	
1786	122	1958/11/26	2	1	学芸 不衛生な食堂	
1787	122	1958/11/26	2	2	まだまだ準備不足 大学祭総評	
1788	122	1958/11/26	2	3	リーダーマンの欠乏 魅力のないクラブ	
1789	122	1958/11/26	2	6	ほとんど教官の住宅費 もっと学生本位に 後援会費三千円のゆくえ	
1790	122	1958/11/26	2	7	少ない活動者	
1791	122	1958/11/26	2	7	教職員の宴会用か? 「教材」でないモデルハウス	
1792	122	1958/11/26	2	10	金以前の問題	
1793	122	1958/11/26	2	10	昭和32年度収支報告書	
1794	122	1958/11/26	2	11	昭和33年度予算	
1795	122	1958/11/26	2	13	寮生 電気料は支払う 代わりに蛍光灯を	
1796	123	1958/11/26	3	1	松川事件の法律問題 本間輝雄	
1797	123	1958/11/26	3	1	松川事件とは	
1798	123	1958/11/26	3	2	松川裁判の問題点	
1799	123	1958/11/26	3	2	もめる賛否 同数の場合 裁判官の人数	
1800	123	1958/11/26	3	2	判決は事実の捏造 無罪を叫ぶ被告達	
1801	123	1958/11/26	3	3	最高裁は行い得るか 事実審理	
1802	123	1958/11/26	3	4	国際的事件に発展 裁判史上異例の事件 最高裁 十九回にわたる口頭弁	
1803	123	1958/11/26	3	5	任意性の問題 自白	
1804	123	1958/11/26	3	7	証人とすることができるか 共同被告人	
1805	123	1958/11/26	3	8	事実認定の基準となるか 可能性	
1806	123	1958/11/26	3	8	サークル紹介 ムード楽しむ 茶道部	
1807	123	1958/11/26	3	9	世論の動向は	
1808	123	1958/11/26	3	10	口頭弁論の経過	
1809	123	1958/11/26	3	12	黒潮論壇	
1810	123	1958/11/26	3	13	疑問ある 安野君の発言 経済1年 両宮弘明	
1811	123	1958/11/26	3	13	”マーじゃん” 経済4年 宮本裕之	
1812	124	1958/11/26	4	1	学芸	
1813	124	1958/11/26	4	1	「潮騒」の少年	
1814	124	1958/11/26	4	1	「飼育」の少年	
1815	124	1958/11/26	4	1	特殊な作者の眼	
1816	124	1958/11/26	4	1	新刊紹介 氾濫 伊藤整	
1817	124	1958/11/26	4	2	文学作品における作家の眼 現代文学鑑賞のために 湯浅清	
1818	124	1958/11/26	4	2	すばらしい利己的人間の心理描写	
1819	124	1958/11/26	4	3	透谷の眼に通ずる	
1820	124	1958/11/26	4	4	自然に対しても	
1821	124	1958/11/26	4	4	ケンブリッジ便り	
1822	124	1958/11/26	4	6	労働運動も経済闘争が中心 通用しないアジア的感覚 宮本義男	
1823	124	1958/11/26	4	7	随想 先生 北満の思い出 学芸学部四年 森本敏史	
1824	124	1958/11/26	4	9	ある学生ブンヤの独白 苦勞・悲哀・喜び 大木舜造	
1825	124	1958/11/26	4	10	図書展示会	
1826	124	1958/11/26	4	10	スポーツ	
1827	124	1958/11/26	4	11	しっかりしている原作の味	
1828	125	1958/12/18	1	1	名ばかりの安全保障 ますます米の従属化に 解説	
1829	125	1958/12/18	1	1	反共軍事体制の拡大強化 安保条約改定問題	
1830	125	1958/12/18	1	1	論説 反動性を隠すもの	
1831	125	1958/12/18	1	2	改定は長い間の念願	
1832	125	1958/12/18	1	3	社会主義陣営は危険か	
1833	125	1958/12/18	1	5	健保加入のために 学生食堂 規約全面改正さる	
1834	125	1958/12/18	1	6	すりかえられた ”双務性”	
1835	125	1958/12/18	1	6	香山委員長ら辞任 大学連大会 執行部案を支持	
1836	125	1958/12/18	1	7	アンケートを計画	
1837	125	1958/12/18	1	7	決定者八割 経済就職 だが問題はこれから	
1838	125	1958/12/18	1	8	学内人物評 紀太恭子助手	
1839	125	1958/12/18	1	8	八百人がギッシリ 講演会 桑原氏のチョコリザ遠征	
1840	125	1958/12/18	1	8	学芸卒業生 卒論の論題提出終る	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1841	125	1958/12/18	1	9	"なんでもこいの近代女性"	
1842	125	1958/12/18	1	9	第五回教育系学生ゼミ近 二十二日より大阪学大で	
1843	125	1958/12/18	1	9	経営・会計に人気 経済 新ゼミ選択終る	
1844	125	1958/12/18	1	10	駒ヶ岳で合宿 張切る山岳部	
1845	125	1958/12/18	1	11	全日本学生経済ゼミ終る	
1846	125	1958/12/18	1	12	七面調	
1847	126	1958/12/18	2	1	積極政策を期待する 今がその時期	
1848	126	1958/12/18	2	1	景気は好転したか 杉浦一平	
1849	126	1958/12/18	2	1	学芸	
1850	126	1958/12/18	2	2	景気好転?	
1851	126	1958/12/18	2	2	あふれる生命力 ゴッホ展を観る 中村哲也	
1852	126	1958/12/18	2	3	海外景気は好転したか	
1853	126	1958/12/18	2	4	破れなべの底	
1854	126	1958/12/18	2	5	星団のHR図	
1855	126	1958/12/18	2	6	政策への期待	
1856	126	1958/12/18	2	7	星の進化の理論的課題 現代の創世記 高橋清	
1857	126	1958/12/18	2	8	経済の自立を	
1858	126	1958/12/18	2	9	黒潮論壇	
1859	126	1958/12/18	2	10	再び学生運動について 経済学部三年 安野大一	
1860	126	1958/12/18	2	12	事実上は制度化 教員採用テスト	
1861	127	1958/3/18	1	1	きょう晴れの卒業式	
1862	127	1958/3/18	1	1	経験による成長 学長 岩崎真澄	
1863	127	1958/3/18	1	1	論説 今の制度で良いのか	
1864	127	1958/3/18	1	5	六割余は大企業へ 三月十一日現在 百六十七人決定	
1865	127	1958/3/18	1	6	保田教授停年退官	
1866	127	1958/3/18	1	7	受験生諸君 今夜はこんな所に目を通しましょう 入試の傾向と対策	
1867	127	1958/3/18	1	8	学内人物評 小野朝男助教授	
1868	127	1958/3/18	1	8	学内選者は現状でいたし方ない	
1869	127	1958/3/18	1	9	舌は「速射砲」ダンスは自称名手	
1870	127	1958/3/18	1	9	三十四年度入学試験 経済13.3倍 開学以来の最高 学芸は二一倍	
1871	127	1958/3/18	1	11	金持教授 甲南大に転任	
1872	127	1958/3/18	1	11	金持教授経歴	
1873	127	1958/3/18	1	12	七面調	
1874	128	1958/3/18	2	2	統一と団結の強調 神奈川方式をめぐる日教組	
1875	128	1958/3/18	2	2	社会教育法の改悪 社会教育の官僚支配	
1876	128	1958/3/18	2	5	和歌山闘争その後	
1877	128	1958/3/18	2	6	絶対反対の立場変えず だが幅広い大衆闘争	
1878	128	1958/3/18	2	7	スライドと十周年誌を 晩秋に創立十周年式典 学長と対談	
1879	128	1958/3/18	2	9	法定闘争	
1880	128	1958/3/18	2	9	免職幹部再選	
1881	128	1958/3/18	2	9	馬場助教授再度渡米 来年は安藤助教授も	
1882	128	1958/3/18	2	10	団交再開の見通し	
1883	128	1958/3/18	2	10	陽の目見ぬ橋寺文庫 底には両学部の対立が	
1884	128	1958/3/18	2	11	今後の闘争	
1885	129	1958/3/18	3	1	幹部と一般学生 遊離は決されないか 根本にイデオロギーの相違	
1886	129	1958/3/18	3	1	特集「全学連」の実態と基本問題	
1887	129	1958/3/18	3	2	"恒久平和の実現"	
1888	129	1958/3/18	3	2	加盟大学百二十校 学生人数三十万	
1889	129	1958/3/18	3	2	最高に生きること 学生自治の最低限の目標 浅野徹	
1890	129	1958/3/18	3	4	民主主義の擁護と大衆運動の展開	
1891	129	1958/3/18	3	6	日常活動を無視したマスコミの批判	
1892	129	1958/3/18	3	6	学生運動への提言 高桑未秀	
1893	129	1958/3/18	3	6	ハッターはやめよう	
1894	129	1958/3/18	3	7	黒潮論壇	
1895	129	1958/3/18	3	8	問題はどこにあるか	
1896	129	1958/3/18	3	9	現代の理論道徳 社会性と物質的観点から 学芸三年 龍野勝彦	
1897	129	1958/3/18	3	10	最終決定権は学生大会に	
1898	129	1958/3/18	3	11	幹部と一般学生との遊離	
1899	130	1958/3/18	4	1	業者間協定	
1900	130	1958/3/18	4	1	全国一律方式	
1901	130	1958/3/18	4	1	ケンブリッジ便り	
1902	130	1958/3/18	4	2	最低賃金制雑感 根本的な考え方に問題 佐野稔	
1903	130	1958/3/18	4	2	改めたいイギリス観 東洋趣味イギリスを罷り通る 宮本義男	
1904	130	1958/3/18	4	4	低賃金の余波	
1905	130	1958/3/18	4	5	学芸	
1906	130	1958/3/18	4	5	紀州藩学的一端 松下忠	
1907	130	1958/3/18	4	6	諸学に一流学者	
1908	130	1958/3/18	4	7	貴重な明律の研究	
1909	130	1958/3/18	4	8	隠れた貴重な研究 学熱盛んな紀州藩	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1910	130	1958/3/18	4	8	行来に匹敵する研究	
1911	130	1958/3/18	4	9	熊野の僻地で痘苗の発明	
1912	130	1958/3/18	4	10	映画 人生の孤独と愛を描く 旅路	
1913	130	1958/3/18	4	11	経済 学部長に吉田教授 学芸は今崎教授	
1914	131	1959/5/18	1	1	自治委員選挙行わる	
1915	131	1959/5/18	1	1	論説 新自治委員会に望む	
1916	131	1959/5/18	1	2	委員長に松本君(経済) 学芸 投票無効の訴え	
1917	131	1959/5/18	1	4	背後に文部省か	
1918	131	1959/5/18	1	6	本館図書館長に広橋教授	
1919	131	1959/5/18	1	6	投票やり直し決定 学芸	
1920	131	1959/5/18	1	7	第二十回メーデー 一万労働者の祭典 本学学年も参加	
1921	131	1959/5/18	1	8	学内人物評 山口慶四郎助教授	
1922	131	1959/5/18	1	8	経済は学生集会に 低調そのもの	
1923	131	1959/5/18	1	9	研究室で十時間 趣味は”読む””飲む”	
1924	131	1959/5/18	1	9	学芸 五十八六%の就職 勤評大阪府にも影響	
1925	131	1959/5/18	1	10	新入生歓迎大会開かる	
1926	131	1959/5/18	1	12	七面調	
1927	132	1959/5/18	2	1	昨年の闘争を全面的に承認	
1928	132	1959/5/18	2	1	前途多難な全学連	
1929	132	1959/5/18	2	2	平和共存から階級闘争へ	
1930	132	1959/5/18	2	2	国際的な核武装反対運動 人種・思想をこえて団結 宮本義男	
1931	132	1959/5/18	2	4	平和共存の日共からたもとを分つ	
1932	132	1959/5/18	2	4	平和共存から反帝闘争へ 統一戦線の分裂	
1933	132	1959/5/18	2	5	統一戦線から除名された全学連	
1934	132	1959/5/18	2	6	理論と未来の希望に悩む学生	
1935	132	1959/5/18	2	7	大衆運動の全面的承認	
1936	132	1959/5/18	2	8	全学連大会の民主的運営を	
1937	132	1959/5/18	2	8	人間性に根差した活動方針で 経済学部自治委員長 松本博昭	
1938	132	1959/5/18	2	10	幹部と一般学生の遊離	
1939	132	1959/5/18	2	10	注目の全学連大会 相当紛糾するか	
1940	132	1959/5/18	2	12	”日学連”発足 反全学連を旗印に	
1941	132	1959/5/18	2	14	黒潮論壇	
1942	132	1959/5/18	2	14	批判力のある学生に 新入生雑感 経済学部一年 田口雅康	
1943	133	1959/5/18	3	1	遠くて近きもの	
1944	133	1959/5/18	3	1	安保条約は憲法違反 砂川判決について	
1945	133	1959/5/18	3	1	日本の中立化について	
1946	133	1959/5/18	3	2	行きづまる政府の経済政策 中立化は必然的な要望 小段文一	
1947	133	1959/5/18	3	3	駐留軍を違憲とした判決	
1948	133	1959/5/18	3	3	日本の平和闘争の欠陥	
1949	133	1959/5/18	3	4	第九条に「最終的解釈」を 最高裁の判決を尊重せよ	
1950	133	1959/5/18	3	4	米軍の駐留は有効か	
1951	133	1959/5/18	3	5	砂川事件に含まれる憲法問題	
1952	133	1959/5/18	3	5	望ましい中立化とは？	
1953	133	1959/5/18	3	6	米軍駐留は違憲だが、裁判所の条約審査権に疑問	
1954	133	1959/5/18	3	8	高まった中立諸国の役割	
1955	133	1959/5/18	3	10	最高裁の明確な判断を	
1956	133	1959/5/18	3	11	経済の発展を阻止する保守政策	
1957	133	1959/5/18	3	12	新寮委員選出さる	
1958	133	1959/5/18	3	12	図書展示会開かる	
1959	134	1959/5/18	4	1	学芸	
1960	134	1959/5/18	4	2	文学とその効用 問題でないジャンルの変遷 高見裕之	
1961	134	1959/5/18	4	2	随想 紫雲丸・水泳・生命 村上四男	
1962	134	1959/5/18	4	6	映画史上の最高作 革命と民衆を描く	
1963	134	1959/5/18	4	7	映画 ふざけた娯楽作品『お熱いのがお好き』	
1964	135	1959/6/20	1	1	全学連第十四回定期全国大会 階級闘争の線変わらず	
1965	135	1959/6/20	1	1	本学は反主流派	
1966	135	1959/6/20	1	1	論説 安保条約改定を阻止しよう	
1967	135	1959/6/20	1	2	「転換」で議論わく 反主流派 大幅に勢力増す	
1968	135	1959/6/20	1	6	学内人物評 今崎秀一教授	
1969	135	1959/6/20	1	7	くそ真面目に生きること キリストに奉仕四十年	
1970	135	1959/6/20	1	7	より豊かな学園生活のために闘う 学芸学部自治委員長 玉本祥雄	
1971	135	1959/6/20	1	9	学芸 自治委員さまる 委員長に玉本君	
1972	135	1959/6/20	1	10	第七回 寮祭開かる	
1973	135	1959/6/20	1	10	配分率で物分れ 自治会予算会議	
1974	135	1959/6/20	1	11	日本経済研究所移転	
1975	135	1959/6/20	1	11	訂正	
1976	135	1959/6/20	1	12	七面調	
1977	136	1959/6/20	2	1	学芸	
1978	136	1959/6/20	2	1	愛媛大学 田川助教授に戒告処分 圧力に屈した大学当局	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
1979	136	1959/6/20	2	2	許されない値上げ態度 新聞料金値上げをめぐって 正田彬	
1980	136	1959/6/20	2	5	安保改定阻止に全力を 自民党 改定論は思うつぼ	
1981	136	1959/6/20	2	7	怖い語学の障害 ブロークン・イングリッシュ談義 宮本義男	
1982	136	1959/6/20	2	7	通訳の通訳のいる日本	
1983	136	1959/6/20	2	8	”コレナンボヤ”	
1984	136	1959/6/20	2	8	英語は難しい	
1985	136	1959/6/20	2	10	”おおかみさん”	
1986	136	1959/6/20	2	11	高商時代の思い出	
1987	136	1959/6/20	2	11	和商高一回生 岡橋保	
1988	136	1959/6/20	2	11	和歌山市	
1989	136	1959/6/20	2	12	一九二三年	
1990	136	1959/6/20	2	12	学内短評	
1991	136	1959/6/20	2	13	新校舎は	
1992	137	1959/7/4	1	1	一般教養を検討する 振子通学の解消なるか	
1993	137	1959/7/4	1	1	学生ホールなお難航 学長と一問一答	
1994	137	1959/7/4	1	1	論説 大学自治を侵す学生部教授	
1995	137	1959/7/4	1	3	学生ホール建設の道	
1996	137	1959/7/4	1	6	低調な抗議集会 安保改定阻止統一行動デー	
1997	137	1959/7/4	1	6	学芸 未就職者三十二名 見透しは暗い	
1998	137	1959/7/4	1	7	教官相ついで留学 経済	
1999	137	1959/7/4	1	8	学内人物評 角山栄助教授	
2000	137	1959/7/4	1	8	和市美術展開かる	
2001	137	1959/7/4	1	9	お得意のジェントリ論 もとは文学を志望	
2002	137	1959/7/4	1	9	食堂に栄養士か	
2003	137	1959/7/4	1	9	全種目の覇権握る 第三回関西学生弓道選手権	
2004	137	1959/7/4	1	10	三度目の正直 弓道部 一部へ昇格	
2005	137	1959/7/4	1	11	第五回西日本ゼミ開かる	
2006	137	1959/7/4	1	12	七面調	
2007	138	1959/7/4	2	1	岩波からソデにされた歴史	
2008	138	1959/7/4	2	2	歴史再建をめぐって 歴史学の苦悩克服の道は 渡辺広	
2009	138	1959/7/4	2	2	作品にあらわれた民族性 国際美術展をみて 中村哲也	
2010	138	1959/7/4	2	3	人間の学としての歴史学	
2011	138	1959/7/4	2	5	回避できない政治との対決	
2012	138	1959/7/4	2	6	書齋主義を打ち破れ	
2013	138	1959/7/4	2	6	『経済学五十年』大内兵衛著	
2014	138	1959/7/4	2	7	現実の変革を教える学	
2015	138	1959/7/4	2	7	学内短評	
2016	138	1959/7/4	2	9	高商時代の思い出	
2017	138	1959/7/4	2	9	和高商一回生 岡橋保	
2018	138	1959/7/4	2	10	黒潮論壇	
2019	138	1959/7/4	2	11	新しい学園づくりを 伝統の上に立って 経済学部二年 巽良雄	
2020	139	1959/11/21	1	1	「官憲の手先」学園に侵入 学大スパイ事件の真相	
2021	139	1959/11/21	1	2	スパイ強要「上司の命令」背後に政治権力の魔手	
2022	139	1959/11/21	1	2	事件の概要 目的は学生運動の破壊	
2023	139	1959/11/21	1	5	安保改定阻止闘争の弾圧の手段として 暴露した「公安係」の正体	
2024	139	1959/11/21	1	7	外大でも活動 執行部員に近づく	
2025	139	1959/11/21	1	8	事実を歪曲する一部マス・コミ	
2026	140	1959/11/21	2	1	岐路に立つ日本の運命 大詰めにきた安保改定	
2027	140	1959/11/21	2	2	未来像の再確立を 資本主義の矛盾を暴露した安保改定	
2028	140	1959/11/21	2	5	最近の教育界 強まる権力支配	
2029	140	1959/11/21	2	7	「学園内通過」をめぐって もめる高速道路問題	
2030	140	1959/11/21	2	10	十一・二十七をめざして立ち上がろう	
2031	141	1959/10/28	1	1	創立十周年 根本的反省の機会	
2032	141	1959/10/28	1	1	論説 冷戦の世界から平和共存へ	
2033	141	1959/10/28	1	2	情熱と誇りの学園に 真の発展はこれから	
2034	141	1959/10/28	1	2	統一の大学であるか	
2035	141	1959/10/28	1	6	好景気の波にのる就職	
2036	141	1959/10/28	1	6	昨年の二倍以上の出足	
2037	141	1959/10/28	1	9	十周年に際して 学長 岩崎真澄	
2038	141	1959/10/28	1	12	七面調	
2039	142	1959/10/28	2	1	書庫の窓から 附属図書館事務長 米田貫真	
2040	142	1959/10/28	2	1	足りない図書予算	
2041	142	1959/10/28	2	1	和高商 経済学部 誇る伝統は受け継がれたか 35年の歴史をふりかえって	
2042	142	1959/10/28	2	3	昔話三十五年史	
2043	142	1959/10/28	2	3	見渡せた電車通り 芦が生える運動場	
2044	142	1959/10/28	2	3	学生より若い教官	
2045	142	1959/10/28	2	4	望まれる館員の充実	
2046	142	1959/10/28	2	6	はかどらぬ復旧作業 待たれる救援物資 災害地に行く	
2047	142	1959/10/28	2	7	下山の月 是れ上山の月	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2048	142	1959/10/28	2	8	蔵書に化けた野球スタンド 岡本校長の英断	
2049	142	1959/10/28	2	9	災害の責任は誰に	
2050	143	1959/10/28	3	1	三段跳びでない大学昇格 程度の高かった師範	
2051	143	1959/10/28	3	1	八十五年の歴史と伝統	
2052	143	1959/10/28	3	1	和歌山県学の開設	
2053	143	1959/10/28	3	2	専門学校に昇格	
2054	143	1959/10/28	3	3	今年は奇しき年	
2055	143	1959/10/28	3	3	学芸八十五年発展の歴史	
2056	143	1959/10/28	3	4	大変だった勤労作業 有りがたい戦後の解放感	
2057	143	1959/10/28	3	4	青年師範に昇格	
2058	143	1959/10/28	3	4	新制大学の施行	
2059	143	1959/10/28	3	6	視野の広い戦後の学生	
2060	143	1959/10/28	3	6	一つの旗の下に	
2061	143	1959/10/28	3	7	戦争中は馬の飼育も	
2062	143	1959/10/28	3	8	学芸就職 中学校に有利 生徒数の増減で奇現象	
2063	143	1959/10/28	3	9	学内人物評 七里真水助教授	
2064	143	1959/10/28	3	10	「コラ！ナニヲスルカ」改めてびっくり仰天	
2065	143	1959/10/28	3	11	三千人のデモ行進 安保阻止総決起大会	
2066	143	1959/10/28	3	11	第六回 全日本ゼミ近づく 東北大で	
2067	144	1959/10/28	4	1	学窓	
2068	144	1959/10/28	4	1	創立十周年 反省岡目八目 編集局員座談会	
2069	144	1959/10/28	4	1	十周年の意義は何か	
2070	144	1959/10/28	4	1	学内短評	
2071	144	1959/10/28	4	2	必要な伝統の再評価	
2072	144	1959/10/28	4	3	無気力は自己喪失の現れ 取り戻したい積極性と自信	
2073	144	1959/10/28	4	3	一般教養の再検討	
2074	144	1959/10/28	4	4	望みたい講義の充実	
2075	144	1959/10/28	4	4	足りない研究費	
2076	144	1959/10/28	4	5	少ない意欲的な卒論	
2077	144	1959/10/28	4	6	教員採用の解決策は	
2078	144	1959/10/28	4	6	無気力について	
2079	144	1959/10/28	4	7	反省すべき学生運動	
2080	144	1959/10/28	4	7	山瀧校いたずら事件 学芸学部二年 山本光子	
2081	144	1959/10/28	4	7	いたずらだけが問題であったか？	
2082	144	1959/10/28	4	8	映画 教師の真の姿を示唆する「人間の壁」	
2083	144	1959/10/28	4	9	大胆に全学連を批判せよ	
2084	144	1959/10/28	4	9	真相はどうなのであろうか	
2085	144	1959/10/28	4	10	平和共存を推進せよ	
2086	144	1959/10/28	4	11	児童が書いた作文か	
2087	145	1959/12/8	1	1	安保闘争 民主勢力団結の時	
2088	145	1959/12/8	1	1	本学より二名参加 日本のうたごえ祭典	
2089	145	1959/12/8	1	1	論説 問題は安保改定阻止にあるのだ	
2090	145	1959/12/8	1	2	今や決定的な段階 第九・十次闘争に立て！	
2091	145	1959/12/8	1	5	統一行動日に提灯デモ	
2092	145	1959/12/8	1	6	反対署名を呼びかける 両学部学生集会後	
2093	145	1959/12/8	1	7	第三回定期演奏会	
2094	145	1959/12/8	1	7	やや伸び悩む就職 八日現在百六十三名 経済	
2095	145	1959/12/8	1	8	学内人物評 筒井信定助教授	
2096	145	1959/12/8	1	8	近教系ゼミ開かる 来年は本学に内定 大阪学大で	
2097	145	1959/12/8	1	8	近経・経営に人気	
2098	145	1959/12/8	1	9	坊ちゃんと憲法学者 当りはやわらか	
2099	145	1959/12/8	1	11	紀学同窓会館 建設資金募集	
2100	145	1959/12/8	1	12	研究叢書の発刊	
2101	145	1959/12/8	1	12	七面調	
2102	146	1959/12/8	2	1	学芸	
2103	146	1959/12/8	2	1	国有化政策が原因か イギリス労働党の敗北 宮本義男	
2104	146	1959/12/8	2	1	小野朝男著「イギリス信用体系史論」 三上隆三	
2105	146	1959/12/8	2	4	金融学界 注目の野心作	
2106	146	1959/12/8	2	5	経済学部 記念事業会の発足 海外留学、研究充実に	
2107	146	1959/12/8	2	8	差別語はなくなったが	
2108	146	1959/12/8	2	9	全国画一的教育計画	
2109	146	1959/12/8	2	9	「基本法」の骨抜へ 政府のねらうものは何か 学習指導要領の改訂から	
2110	146	1959/12/8	2	9	勤評に監視される教師像	
2111	146	1959/12/8	2	9	未開放部落は生きている むづかしい責善教育の推め方 大森米三郎	
2112	146	1959/12/8	2	10	憲法の学習の抹殺	
2113	146	1959/12/8	2	10	変わってきた責善教育の把握	
2114	146	1959/12/8	2	11	従属的な道徳を強調	
2115	146	1959/12/8	2	11	これからの教育の方向	
2116	146	1959/12/8	2	12	根本は政治問題	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2117	147	1960/3/18	1	1	新しい人生の門出に	
2118	147	1960/3/18	1	1	和して同せず 卒業生におくる 学長 岩崎真澄	
2119	147	1960/3/18	1	1	論説 国会解散を叫ぶ	
2120	147	1960/3/18	1	5	学芸就職 中学明るく、小学暗い 小免程課の検討を	
2121	147	1960/3/18	1	8	経済 完全就職に決定	
2122	147	1960/3/18	1	8	三十五年度入学試験 経済十八・四倍 学芸二・五倍	
2123	147	1960/3/18	1	9	学内人物評 大島利治助手	
2124	147	1960/3/18	1	9	受験生諸君！ 今夜はこんな所を調べると十分です 近年の入試の傾向	
2125	147	1960/3/18	1	10	青年、仏語、結婚 甘い点数は伝統的	
2126	147	1960/3/18	1	12	七面調	
2127	148	1960/3/18	2	1	八期生 卒業論文テーマ一覧	
2128	148	1960/3/18	2	1	経済学部	
2129	148	1960/3/18	2	1	あまりに現実的 今年の卒論テーマを見て 小野朝男	
2130	148	1960/3/18	2	4	学芸学部	
2131	148	1960/3/18	2	9	黒潮論壇	
2132	148	1960/3/18	2	10	念願はかなったけれど 学生ホール起工 経済三年 沼資一	
2133	148	1960/3/18	2	11	卒論のあり方に問題	
2134	149	1960/3/18	3	1	特集 組織を弱める内部闘争	
2135	149	1960/3/18	3	1	全学連の孤立化を避けよ	
2136	149	1960/3/18	3	1	ヤブヘビだった国会構内デモ	
2137	149	1960/3/18	3	1	ある反動問答 国立大文科の私大移転をめぐって	
2138	149	1960/3/18	3	2	共産主義はドグマでない	
2139	149	1960/3/18	3	3	笑えぬ政治理論の低さ	
2140	149	1960/3/18	3	4	批判は進歩的文化人の側にも	
2141	149	1960/3/18	3	5	相つぐ批判的勢力の台頭	
2142	149	1960/3/18	3	6	注目の十五回大会	
2143	149	1960/3/18	3	6	主流派は平和共存を否定	
2144	149	1960/3/18	3	6	混乱必死の全国大会	
2145	149	1960/3/18	3	7	建設計画ほぼ完成 学生ホール 4月から着工	
2146	149	1960/3/18	3	9	真にラディカルな学生運動に	
2147	149	1960/3/18	3	9	計画達成は困難か？ 期待の紀学同窓会館	
2148	149	1960/3/18	3	10	不当な大量処分 大阪学芸大学スパイ事件	
2149	149	1960/3/18	3	12	全学連臨時大会開かる	
2150	149	1960/3/18	3	12	森本氏米国留学	
2151	150	1960/3/18	4	1	文化	
2152	150	1960/3/18	4	1	紀州経済史文化史研究所 地味だが、着実な成果	
2153	150	1960/3/18	4	1	学内短評	
2154	150	1960/3/18	4	2	期待される総合的研究	
2155	150	1960/3/18	4	4	スミス教授と共同研究 渡米の安藤助教授に聞く	
2156	150	1960/3/18	4	6	アメリカ経済は楽観的 小さな物指で測るな ミシガン大学にて 杉浦一平	
2157	150	1960/3/18	4	6	楽観的なドル不安	
2158	150	1960/3/18	4	7	甘いインテリ史観 矢内原忠雄編 『戦後日本小史』(上・下)	
2159	150	1960/3/18	4	8	想像もつかない経済力	
2160	150	1960/3/18	4	10	軍需費を道路に支出	
2161	150	1960/3/18	4	11	通じない恐慌論	
2162	150	1960/3/18	4	11	うらやましい大学設備	
2163	150	1960/3/18	4	12	問題はもろい日本の経済	
2164	150	1960/3/18	4	12	勤勉さと貧乏学生	
2165	151	1960/5/16	1	1	自治委員やっとな決定	
2166	151	1960/5/16	1	1	二十日ストか？	
2167	151	1960/5/16	1	1	論説 新委員会を強化しよう	
2168	151	1960/5/16	1	2	委員長に安保君(経済) 学芸は岩尾君か	
2169	151	1960/5/16	1	4	学芸 九〇・一%就職 意外にのびた小学校採用	
2170	151	1960/5/16	1	6	第31回メーデー 形だけの統一行動 三池代表の演説拒否	
2171	151	1960/5/16	1	7	吉田教授、経済学博士に	
2172	151	1960/5/16	1	8	学内人物評 山中隆次講師	
2173	151	1960/5/16	1	9	無類のスポーツマン 人生観も変える	
2174	151	1960/5/16	1	9	全学連安保阻止統一行動 怒りの中に四百人	
2175	151	1960/5/16	1	9	本年度入学者決定 経済学部一九三名 学芸学部一五八名	
2176	151	1960/5/16	1	10	声明	
2177	151	1960/5/16	1	13	七面調	
2178	152	1960/5/16	2	1	大学生生活のあり方 <新入生をかこんで>	
2179	152	1960/5/16	2	1	大学生生活への期待	
2180	152	1960/5/16	2	1	学内短評	
2181	152	1960/5/16	2	3	二期校という劣等感	
2182	152	1960/5/16	2	4	ほしい学生運動への理解	
2183	152	1960/5/16	2	5	コンプレックスの打開策	
2184	152	1960/5/16	2	6	一般教養の再検討	
2185	152	1960/5/16	2	6	望みたい教官との接触	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2186	152	1960/5/16	2	7	六月に建設着工 学生ホール 見透しやっつく	
2187	152	1960/5/16	2	7	社会問題に積極的アプローチ	
2188	152	1960/5/16	2	9	末期的な主流派	
2189	152	1960/5/16	2	9	問題多い反対運動 研究者懇談会編著「新安保条約」	
2190	152	1960/5/16	2	10	今こそ良識の発揮を	
2191	153	1960/6/2	1	1	主張 四日は全学ストで立ち上がろう	
2192	153	1960/6/2	1	3	学芸 有志教官反対声明 経済は目下起草中	
2193	153	1960/6/2	1	5	声明	
2194	153	1960/6/2	1	7	二年ぶりに成立 十九日両学部学生大会	
2195	154	1960/6/2	2	1	四日は全学ストか 第三回抗議団も派遣	
2196	154	1960/6/2	2	1	国会現地ルポ 国民の怒りを知れ これでも世論ではないのか	
2197	154	1960/6/2	2	3	国会抗議に代表を送る	
2198	154	1960/6/2	2	7	反省と展望 弱い国民会議の線	
2199	154	1960/6/2	2	9	街頭での活動続く 第16次全国統一行動日	
2200	154	1960/6/2	2	10	学芸自治会	
2201	155	1960/6/16		1	遂に犠牲者出る 本学も無期限ストで抗議か	号外速報
2202	155	1960/6/16		1	遂にファシズムの正体を暴露	
2203	155	1960/6/16		2	十六日未明より 緊急拡大自治委員会	
2204	155	1960/6/16		3	岸内閣打倒！！ 国会解散！！ 東京の学友を孤立さすな！	
2205	155	1960/6/16		3	非常事態宣言 和歌山大学新聞会	
2206	156	1960/7/4	1	1	安保闘争 開学以来の盛り上がり 五日間ストと授業放棄 全学大会も開かる	
2207	156	1960/7/4	1	1	初の全学抗議大会 四日 教授団先頭に行進	
2208	156	1960/7/4	1	1	論説 即時解散を要求する	
2209	156	1960/7/4	1	3	抗議大会とデモ行進 十五日 右翼も現る	
2210	156	1960/7/4	1	5	お詫び	
2211	156	1960/7/4	1	5	人事移動	
2212	156	1960/7/4	1	6	安保改定阻止闘争和歌山日誌	
2213	156	1960/7/4	1	6	激しい怒りのジグザグデモ 十六日 千余人の参加で	
2214	156	1960/7/4	1	7	経済ではスト続く 十七日 学芸は授業放棄	
2215	156	1960/7/4	1	9	三ヶ所でウズマキデモ 十八日 連続四日目のストで	
2216	156	1960/7/4	1	11	七面調	
2217	157	1960/7/4	2	1	安保闘争と学生運動の反省 今後の闘争のために	
2218	157	1960/7/4	2	1	民主主義は守れるか 共闘会議の弱点を衝く 6・18国会デモに参加して	
2219	157	1960/7/4	2	1	人間が歴史をつくる	
2220	157	1960/7/4	2	2	学芸 指導性を欠いた執行部 休暇中は帰郷活動を重点に 総括	
2221	157	1960/7/4	2	3	怒りを警視庁に向ける	
2222	157	1960/7/4	2	4	経済 行動面で主流派を支持	
2223	157	1960/7/4	2	5	指導力のない国民会議	
2224	157	1960/7/4	2	6	浪人生も我々の中に	
2225	157	1960/7/4	2	6	繰り返すな、泣き寝いりの歴史	
2226	157	1960/7/4	2	6	動揺した国会放火説	
2227	157	1960/7/4	2	7	思想・信条を超えた統一戦線で 学生運動は階級闘争ではない	
2228	157	1960/7/4	2	9	幅広い採決無効闘争 当面は帰郷活動で 経済自治委員長 安保哲夫	
2229	157	1960/7/4	2	9	闘争は新たな局面に	
2230	157	1960/7/4	2	9	闘いは終わっていないが	
2231	157	1960/7/4	2	11	闘いの蓄積 社会運動	
2232	157	1960/7/4	2	12	原則論を持ち出す危険	
2233	157	1960/7/4	2	12	二十二日全国統一行動 全学抗議集会開かる	
2234	157	1960/7/4	2	13	あくまで解散要求	
2235	157	1960/7/4	2	13	権力者と不断の闘争を	
2236	157	1960/7/4	2	13	闘いはもう無駄か	
2237	157	1960/7/4	2	14	低迷続ける自民党	
2238	157	1960/7/4	2	15	意義ある帰郷活動	
2239	157	1960/7/4	2	15	信用ならぬ民社党	
2240	158	1960/7/4	3	1	完成は二月末か 学生ホールまた遅れる	
2241	158	1960/7/4	3	1	運連で規約作成	
2242	158	1960/7/4	3	1	文連も規約作成か	
2243	158	1960/7/4	3	2	寮祭開かる	
2244	158	1960/7/4	3	3	学内人物評 田所茂助教授	
2245	158	1960/7/4	3	4	特異な人生体験 “闘士田所”を築く	
2246	158	1960/7/4	3	5	学内問題の行方 教養課程の再検討 両学部長にきく	
2247	158	1960/7/4	3	5	経済学部 吉田学部長 来年1月に完成か【学生ホールについて】	
2248	158	1960/7/4	3	5	上からの教育政策を批判 学芸 小川太郎氏の講演会	
2249	158	1960/7/4	3	6	徐々にではあるが解決の方向へ【教養課程について】	
2250	158	1960/7/4	3	7	学芸学部 今崎学部長 技術講座を開設【今年の目標について】	
2251	158	1960/7/4	3	8	慎重に検討中	
2252	158	1960/7/4	3	8	第五回 西日本ゼミ開かる	
2253	158	1960/7/4	3	9	専門科目のみ対象が【就職選考制について】	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2254	158	1960/7/4	3	9	【一般教養について】	
2255	158	1960/7/4	3	10	独自の研究員が必要【人事問題について】	
2256	158	1960/7/4	3	11	実体のない改革動運【教員養成大学改革の動きについて】	
2257	158	1960/7/4	3	11	楽観的な就職の見通し【就職の見通しについて】	
2258	158	1960/7/4	3	12	講座体系再検討の要【専門科目、ゼミについて】	
2259	158	1960/7/4	3	12	現状ではやむを得ない面もある【安保闘争について】	
2260	158	1960/7/4	3	12	夏休み短縮中止	
2261	158	1960/7/4	3	13	四日より 全学連大会開く	
2262	158	1960/7/4	3	13	川本さん二連勝	
2263	158	1960/7/4	3	14	西日本ゼミ 来年は本学に決定	
2264	158	1960/7/4	3	14	映画会「人間みな兄弟」	
2265	158	1960/7/4	3	14	春季関西リーグ戦	
2266	159	1960/7/4	4	1	学芸	
2267	159	1960/7/4	4	1	盛んな日本史の研究 一方的な安保関係の報道 スタンフォード大学にて 安藤精一	
2268	159	1960/7/4	4	1	学内短評	
2269	159	1960/7/4	4	4	東雲のストライキ つわ者どもが夢のあとを探る 後藤清	
2270	159	1960/7/4	4	6	大衆運動の今後を示唆 中岡哲郎著「現代における思想と行動」挫折の 内面を通してみた個人・運動・歴史	
2271	159	1960/7/4	4	10	随筆 古里の裸岩 経済三年 久保田保治	
2272	160	1960/11/1	1	1	波に乗った就職戦線	
2273	160	1960/11/1	1	1	学芸就職 大阪と和歌山で採用合戦 すでに約七十名内定(中学)	
2274	160	1960/11/1	1	1	論説 運動に筋を通せ	
2275	160	1960/11/1	1	2	経済 八十八%決定(21日現在) 開学以来の好成績	
2276	160	1960/11/1	1	3	全学連の統一を守ろう	
2277	160	1960/11/1	1	7	自治委員全員内定もれ 今後の問題化か？	
2278	160	1960/11/1	1	7	第五回 近教ゼミ本学で開催 十二月三日より三日間	
2279	160	1960/11/1	1	8	学内人物評 森川博講師	
2280	160	1960/11/1	1	8	インター・ゼミナール 三上・小野ゼミが発表	
2281	160	1960/11/1	1	9	一貫した民主精神 無類の活動家	
2282	160	1960/11/1	1	10	松村助教授渡米 “ドルの地位”についての研究	
2283	160	1960/11/1	1	11	部室の使用に疑問	
2284	160	1960/11/1	1	12	七面調	
2285	161	1960/11/1	2	1	既成左翼に強い不信 暴力的傾向を支持	
2286	161	1960/11/1	2	1	新左翼は育つか	
2287	161	1960/11/1	2	1	感覚から政治へ	
2288	161	1960/11/1	2	2	今日のフランスでただひとつの本当の左翼は、20歳の青年だ サルトル	
2289	161	1960/11/1	2	2	サルトルの手紙	
2290	161	1960/11/1	2	4	左翼組織の老化	
2291	161	1960/11/1	2	5	日本の新左翼	
2292	161	1960/11/1	2	5	平和運動の曲がり角 原水禁運動の歴史と展望を中心に	
2293	161	1960/11/1	2	7	日共の批判	
2294	161	1960/11/1	2	8	社会科学と社会運動	
2295	161	1960/11/1	2	8	社会科学と自治会活動 E自治委員会 安保哲夫	
2296	161	1960/11/1	2	8	原水禁の歩んだ道	
2297	161	1960/11/1	2	9	社会科学の実践 歴史の創造を目指して	
2298	161	1960/11/1	2	10	社会と人間	
2299	161	1960/11/1	2	11	支配者と被支配者	
2300	161	1960/11/1	2	11	原水禁運動の分派現象	
2301	161	1960/11/1	2	14	社会運動の必然性	
2302	161	1960/11/1	2	14	社会における学生の位置	
2303	161	1960/11/1	2	15	歴史創造への道	
2304	162	1960/11/1	3	1	悪い奴ほどよく眠る 右翼は成長する 沼さんの死	
2305	162	1960/11/1	3	1	強く決意表明 浅沼氏暗殺抗議大会	
2306	162	1960/11/1	3	4	学長選挙民主化のために 次期学長は誰に 学園を守る人を	
2307	162	1960/11/1	3	6	争点はどこに 新安保体制下の総選挙	
2308	162	1960/11/1	3	7	本学長選考規程(抜粋)	
2309	162	1960/11/1	3	8	学内短評	
2310	162	1960/11/1	3	9	学長選考規程に関する申し合わせ(抜粋)	
2311	162	1960/11/1	3	9	解説 矛盾をさらけ出した 経済自治会の総括・方針案	
2312	162	1960/11/1	3	10	大学祭行事日程決まる 学内団結の目標下に	
2313	162	1960/11/1	3	11	十月二十六日(水)前夜祭 午後五時半 経済グラウンド	
2314	162	1960/11/1	3	11	二十八日(金)体育祭 第十五回国体 四種目に出場	
2315	162	1960/11/1	3	12	午後九時 学芸グラウンド	
2316	162	1960/11/1	3	12	二十九日(土)講演会	
2317	162	1960/11/1	3	12	経済 定期学生大会流れる	
2318	162	1960/11/1	3	13	三十日(日)茶会、松光館	
2319	162	1960/11/1	3	13	三十一日(月)映画祭	
2320	162	1960/11/1	3	13	座談会 経済会場	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2321	162	1960/11/1	3	13	十一月一日(火)音楽演劇祭	
2322	162	1960/11/1	3	13	十一月二日(水)教授作品競売	
2323	162	1960/11/1	3	13	十月二十九日～十一月一日 展示会 学芸会場	
2324	162	1960/11/1	3	13	十一月十五日～三十日 学内野球大会両学部会場	
2325	162	1960/11/1	3	14	ゼミの横顔 四頁へ続く	
2326	162	1960/11/1	3	14	民法〔後藤ゼミ〕	
2327	162	1960/11/1	3	14	〔広橋ゼミ〕	
2328	162	1960/11/1	3	14	和大自動車部 全国大会へ出場	
2329	162	1960/11/1	3	15	商法〔本田ゼミ〕	
2330	163	1960/11/1	4	1	経済原論〔吉田ゼミ〕	
2331	163	1960/11/1	4	1	ゼミの横顔 ゼミ選択のために	
2332	163	1960/11/1	4	1	会計学〔桜井ゼミ〕	
2333	163	1960/11/1	4	2	経済政策及び社会政策〔南ゼミ〕	
2334	163	1960/11/1	4	3	〔宮本ゼミ〕	
2335	163	1960/11/1	4	3	〔佐野ゼミ〕	
2336	163	1960/11/1	4	3	〔本田ゼミ〕	
2337	163	1960/11/1	4	5	〔三上ゼミ〕	
2338	163	1960/11/1	4	5	商業経済学〔齊藤ゼミ〕	
2339	163	1960/11/1	4	6	経済史〔関山ゼミ〕	
2340	163	1960/11/1	4	6	経済統計学〔山本ゼミ〕	
2341	163	1960/11/1	4	6	〔小野ゼミ〕	
2342	163	1960/11/1	4	7	〔角山ゼミ〕	
2343	163	1960/11/1	4	9	世界経済〔二見ゼミ〕	
2344	163	1960/11/1	4	9	経営経済学〔野瀬ゼミ〕	
2345	163	1960/11/1	4	10	〔小段ゼミ〕	
2346	163	1960/11/1	4	10	〔浅野ゼミ〕	
2347	163	1960/11/1	4	10	〔石井ゼミ〕	
2348	163	1960/11/1	4	11	近経部門減少 申し込みの方法に問題	
2349	163	1960/11/1	4	12	〔山口ゼミ〕	
2350	164	1960/12/19	1	1	国民教育論でわく 少なかった本学の参加者	
2351	164	1960/12/19	1	1	近教ゼミ 本学で開催 12月3日より3日間	
2352	164	1960/12/19	1	1	論説 池田政策の今後	
2353	164	1960/12/19	1	2	第一日	
2354	164	1960/12/19	1	2	第二日	
2355	164	1960/12/19	1	3	第三日	
2356	164	1960/12/19	1	5	経済 完全就職なる メーカー増大が目立つ	
2357	164	1960/12/19	1	7	学芸 採用試験発表 決定は来年持ち越し	
2358	164	1960/12/19	1	8	学内人物評 香山時彦助教授	
2359	164	1960/12/19	1	8	各部門、平均的に ゼミの選択終る	
2360	164	1960/12/19	1	9	教授会の”暴れん坊” KCGを發明	
2361	164	1960/12/19	1	9	インター・ゼミ盛大に終る	
2362	164	1960/12/19	1	11	教授と学生の懇談会実現か	
2363	164	1960/12/19	1	12	サークル短信	
2364	164	1960/12/19	1	12	七面調	
2365	165	1960/12/19	2	1	記念事業会その後 当初の計画変更 大蔵省 免税認めず	
2366	165	1960/12/19	2	1	三十五年度大学祭総評 まずまずの成功	
2367	165	1960/12/19	2	1	学内短評	
2368	165	1960/12/19	2	3	経済自治会アンケート中間発表 一般教養 全面的再検討の声	
2369	165	1960/12/19	2	4	虚無者の独言 橋喜愛	
2370	165	1960/12/19	2	6	冬野君(経済) アメリカ留学	
2371	165	1960/12/19	2	7	労働者の「運動」と「人生」の書 向坂逸郎著 「若き僚友の死」	
2372	165	1960/12/19	2	8	近教体育大会終る	
2373	165	1960/12/19	2	9	黒潮論壇	
2374	165	1960/12/19	2	10	無責任な新聞会の主張 学芸三年 角利正	
2375	165	1960/12/19	2	11	部室の使用で再協議	
2376	165	1960/12/19	2	12	訂正	
2335	166	1962/5/14	1	1	経済学部委員長に本田君 学芸は沼君か	
2336	166	1962/5/14	1	1	新自治委員信任さる	
2337	166	1962/5/14	1	1	論説 自治活動の発展を	
2338	166	1962/5/14	1	4	昨年も完全就職 好材に恵まれた教職	
2339	166	1962/5/14	1	6	新自治委員長にさく 学生生活の向上をめざして 経済学部 本田統一	
2340	166	1962/5/14	1	6	〔経済〕米核実験反対 抗議集会開かる	
2341	166	1962/5/14	1	8	新入生歓迎会開かる 学生歌も披露	
2342	166	1962/5/14	1	9	就職野放しは どうなるか？	
2343	166	1962/5/14	1	11	七面調	
2344	167	1962/5/14	2	1	世界貿易はかわるか 躍進するEECの全貌	
2345	167	1962/5/14	2	1	生協組織確立の必要性	
2346	167	1962/5/14	2	4	「今こそ全面軍縮協定を」のまやかしを暴露し「米(下)ソ核実験反対」運動を！！ 葉月歩	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2347	167	1962/5/14	2	9	大学の心臓「図書館」いかに利用されているか	
2348	167	1962/5/14	2	9	経済学部へ紅一点 本年度入学者三七五名	
2349	167	1962/5/14	2	12	藤井ゼミ60名 土肥ゼミ58名 プロゼミ選択一	
2350	168	1962/5/14	3	1	憲法とその運用のずれ	
2351	168	1962/5/14	3	2	憲法改定は、国民によって 提唱されているものではない 石外克喜	
2352	168	1962/5/14	3	3	憲法問題の現段階 護憲の組織化を 佐藤功	
2353	168	1962/5/14	3	8	学内人物評 村上四男教授	
2354	168	1962/5/14	3	9	水泳につかれた男 必要な努力と忍耐	
2355	168	1962/5/14	3	10	黒潮論壇	
2356	168	1962/5/14	3	10	「デッカイところ」学芸学部一年 中川雅裕	
2357	169	1962/5/14	4	1	古典こそ最良の入門書 まず人生感の確立を 山中隆次	
2358	169	1962/5/14	4	1	書評	
2359	169	1962/5/14	4	1	共存のカギー兵力引離し 嬉野満州雄著「現代ヨーロッパ」一冷戦から共存	
2360	169	1962/5/14	4	5	なぜ西へ逃げるのか 東からみたベルリン 上杉重二郎著「ベルリン東と西」	
2361	169	1962/5/14	4	7	現段階の資本主義 高橋正雄著「資本主義は変わったか」	
2362	169	1962/5/14	4	8	和歌山大学 学生歌	
2363	170	1962/6/26	1	1	侵される大学の自治 教育・思想の官僚統制化	
2364	170	1962/6/26	1	1	大学管理制度改革の意図	
2365	170	1962/6/26	1	1	論説 護憲のための参院選を 参院選にむかって	
2366	170	1962/6/26	1	5	生協問題でわく 経済学部学生大会 5月24日	
2367	170	1962/6/26	1	6	大学管理制度改悪 反対抗議集会開かる	
2368	170	1962/6/26	1	7	活発に終わった学生大会 学芸学部 6月14日	
2369	170	1962/6/26	1	8	核実験 両学部合同 ”抗議集会”開く	
2370	170	1962/6/26	1	8	ゆがんだ就職戦線 経済就職	
2371	170	1962/6/26	1	11	七面調	
2372	171	1962/6/26	2	1	タイ派兵の意味するもの アメリカの戦争政策	
2373	171	1962/6/26	2	1	激動する東南アジア	
2374	171	1962/6/26	2	1	後退する帝国主義 ラオス中立化への歩み	
2375	171	1962/6/26	2	1	ラオスとその周辺背景	
2376	171	1962/6/26	2	3	ラオス問題	
2377	171	1962/6/26	2	6	ラオス内戦日誌	
2378	171	1962/6/26	2	7	事前協議を告発する 安保の矛盾が暴露	
2379	172	1962/6/26	3	1	憲法改悪を阻止し 憲法の完全実施の要求を =憲法を守る会発足=	
2380	172	1962/6/26	3	1	憲法九条解釈 デタラメ変遷史	
2381	172	1962/6/26	3	6	”憲法を守る会”講演会開かる	
2382	172	1962/6/26	3	7	笠信太郎著「花見酒」の経済 高度成長下の日本経済	
2383	172	1962/6/26	3	9	黒潮論壇	
2384	172	1962/6/26	3	10	米・ソ核実験に反対する 一特に2年以上の諸君に訴える一 経済学部3年 本田紘一	
2385	173	1962/6/26	4	1	機能と美しさ…	
2386	174	1962/6/26	5	1	和大生の意識を聞く 新聞会アンケート	
2387	174	1962/6/26	5	1	断然多い革新支持 案外選挙は無関心 公選法わからぬが39.9%	
2388	174	1962/6/26	5	5	大学とは就職のためではない 講義には不満が多い	
2389	174	1962/6/26	5	7	護憲が77.5%しめる 自衛隊は違憲が半数	
2390	174	1962/6/26	5	8	米・ソともに反対が圧倒的	
2391	174	1962/6/26	5	9	矛盾する考えと行動 学生大会はソッポが多い	
2392	175	1962/6/26	6	1	映画のカットは こうして行われる 荒瀬 豊	
2393	175	1962/6/26	6	1	新刊紹介 ちょっとしたこと 驚いたりおどおどしたり 悩んだりした「部落 の女医」—小林綾著—	
2394	175	1962/6/26	6	6	早速実現か ”山の家”志賀高原に	
2395	175	1962/6/26	6	7	春山紀行 松本昌三	
2396	176	1962/9/25	1	1	『生協』設立軌道にのる 十一月には発足か	
2397	176	1962/9/25	1	1	論説 大学管理制度改革の意図	
2398	176	1962/9/25	1	4	解説 生協とは	
2399	176	1962/9/25	1	6	二カ月も早い求員合戦 すでに三九名内定 学芸就職	
2400	176	1962/9/25	1	7	第八回原水爆禁止 世界大会に参加して	
2401	176	1962/9/25	1	8	八〇%決定 伸び悩みの就職状況	
2402	176	1962/9/25	1	12	七面調	
2403	177	1962/9/25	2	1	90% 自由化の現状と問題点 外堀を埋められる産業界	
2404	177	1962/9/25	2	1	大学自治の国民的基礎 一大学管理制度の問題によせて一 大井令雄	
2405	177	1962/9/25	2	4	第19回全国学連大会開かる 学生運動の現状とその統一への展望	
2406	177	1962/9/25	2	6	学内人物評 吉田昇三教授	
2407	177	1962/9/25	2	7	”型”にはまらず シュムペーターの研究	
2408	177	1962/9/25	2	8	新刊紹介 『日本の教育』宗像誠也国分一太郎編 ”教育裁判をめぐる証言” 森田憲一郎	
2409	177	1962/9/25	2	11	イランへ 救援物資を	
2410	178	1962/10/26	1	1	大学祭	
2411	178	1962/10/26	1	1	論説 大学祭に全学参加を	
2412	178	1962/10/26	1	2	望まれる積極的参加 討論会新設 弁論大会はとりやめ 27日から	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2413	178	1962/10/26	1	3	矛盾にとむ中教審案	
2414	178	1962/10/26	1	6	学芸学部 文理課程来年から廃止 教授会決定	
2415	178	1962/10/26	1	7	まず「学内ゼミ」の成功を 第七回近教ゼミ近づく	
2416	178	1962/10/26	1	8	生協のアウトライン	
2417	178	1962/10/26	1	9	第9回 日本学生経済ゼミナール 富山大学で開催 外国経済史など五部門	
2418	178	1962/10/26	1	10	会館規約 やっと成立の段階へ	
2419	178	1962/10/26	1	12	七面調	
2420	179	1962/10/26	2	1	沖縄の声	
2421	179	1962/10/26	2	1	沖縄の本国復帰を 小松譲	
2422	179	1962/10/26	2	2	秋窓雑感 一科学者にも時には 感傷を許して欲しいー 香山時彦	
2423	179	1962/10/26	2	5	沖縄は沖縄人のもの 経済的見地からの現状	
2424	179	1962/10/26	2	7	宇野シュレーに批判 宮本義男著『金融資本への道』 三上隆三	
2425	179	1962/10/26	2	9	学内人物評 池田一貞助教授	
2426	179	1962/10/26	2	10	若手のホープ 統計学・O・R・研究に活躍	
2427	180	1962/12/18	1	1	大学管理制度改革 反対闘争に激しい盛り上がり	
2428	180	1962/12/18	1	1	論説 大学管理制度改革 阻止のために	
2429	180	1962/12/18	1	3	抗議集会、デモ 署名運動など 経済臨時学生大会も成立	
2430	180	1962/12/18	1	5	電子計算機入る 講座は再来年から	
2431	180	1962/12/18	1	7	九五%決定 就職戦線異常なし	
2432	180	1962/12/18	1	8	ようやく 会館規約内定	
2433	180	1962/12/18	1	9	数ゼミにかたよる 来年度新ゼミ決定	
2434	180	1962/12/18	1	10	理科、数学など五〇名内定 学芸就職	
2435	180	1962/12/18	1	12	七面調	
2436	181	1962/12/18	2	1	特集 大管法闘争の意義 科学を抑圧する 民族は滅びる	
2437	181	1962/12/18	2	1	字句、手直しだけの「最終案」 中教審案をみる	
2438	181	1962/12/18	2	8	中教審の大管法答申 解釈はどのようにつく 学生の自治活動をも規制 北川隆吉	
2439	181	1962/12/18	2	10	大学の管理は可能なのか 「大学管理制度」の欺満 学問の価値判断はでき	
2440	182	1962/12/18	3	1	創立総会二〇日か 各組織も移行確定	
2441	182	1962/12/18	3	1	生協、設立を目前	
2442	182	1962/12/18	3	1	日本の黒い霧 日韓会談の本質 安保体制の拡大強化	
2443	182	1962/12/18	3	7	大学の断面 再燃した女子寮問題 一寮生の奇禍から	
2444	182	1962/12/18	3	11	学内人物評 石川常雄講師	
2445	182	1962/12/18	3	12	留学の体験に期待 理学部からの変り種	
2446	183	1962/12/18	4	1	座談会 大学祭をふりかえって	
2447	183	1962/12/18	4	1	読書 愛と知性の書簡集 A・グラムシ著 「愛と思想と人間と」 那智瀧彦	
2448	183	1962/12/18	4	4	やっぱり大学祭にもいいところがある	
2449	183	1962/12/18	4	4	巨視的分析の諸潮流 近代理論の概説書 宮沢健一著「巨視経済学」	
2450	183	1962/12/18	4	9	学内短評	
2451	184	1963/3/18	1	1	新しき人生にむかって 第11回卒業式	
2452	184	1963/3/18	1	1	大管制の変異 “認証官”制度	
2453	184	1963/3/18	1	1	論説 卒業生に送る	
2454	184	1963/3/18	1	5	完全就職なる 経済学部	
2455	184	1963/3/18	1	6	六五%決まる 全員就職は四月か 学芸就職	
2456	184	1963/3/18	1	7	実った女子寮市内移転 建設地まだ決まらず	
2457	184	1963/3/18	1	8	朝鮮収奪への序曲 日本へのハネ返りも	
2458	184	1963/3/18	1	9	三八年度入学試験 経済一四・八倍 学芸三・五倍	
2459	184	1963/3/18	1	10	経済学部長に宮本教授 学芸は三宅教授	
2460	184	1963/3/18	1	12	七面調	
2461	185	1963/3/18	2	1	スターリン批判の健全な反応	
2462	185	1963/3/18	2	1	中ソ論争 主導権をめぐる抗争	
2463	185	1963/3/18	2	1	インドの旅 カスト制が発展のブレーキ 角山栄	
2464	185	1963/3/18	2	8	毎日食事をとるように 新中国の学習活動 宮川実著『新中国学習の旅』	
2465	185	1963/3/18	2	10	学内人物評 峠原敏夫教授	
2466	185	1963/3/18	2	11	現代の科学技術教育に不満 きびしい芸術家	
2467	186	1963/3/18	1	1	『卒業論文』テーマ一覧 経済学部	
2468	186	1963/3/18	1	5	卒論を終えて 『今からでも遅くはない』 小野ゼミ 岡崎章	
2469	187	1963/3/18	2	1	学芸学部	
2470	187	1963/3/18	2	4	卒論を終えて 終日研究室で 少なすぎる八単位 学芸学部北森靖弘	
2471	188	1963/5/8	1	1	接戦！ 僅差で 経済学部	
2472	188	1963/5/8	1	1	新スタッフ誕生	
2473	188	1963/5/8	1	1	論説 全学連統一への道 トロツキズムを克服しよう	
2474	188	1963/5/8	1	5	新委員長の抱負 我々の課題 経済学部自治委員長小泊順二	
2475	188	1963/5/8	1	7	始めに臨んで 学芸学部自治委員長保富学	
2476	188	1963/5/8	1	9	第十五回 入学式行なわれる	
2477	188	1963/5/8	1	9	学芸 完全就職なる	
2478	188	1963/5/8	1	10	盛況だった新入生歓迎会	
2479	188	1963/5/8	1	12	七面調	
2480	189	1963/5/8	2	1	現代の課題 平和、独立、民主主義	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2481	189	1963/5/8	2	1	大学理念の再検討 理念と現実との相克 どうある現代の大学	
2482	189	1963/5/8	2	2	問題の本質を正しくつかみ われわれの運動を展開しよう 経済学部三年 古結昭和	
2483	189	1963/5/8	2	9	黒潮論壇	
2484	189	1963/5/8	2	9	初心 経済学部一年 高田実	
2485	190	1963/6/15	1	1	学生大会 情勢分析で紛糾 経済学部	
2486	190	1963/6/15	1	1	論説 自治会活動を軌道に	
2487	190	1963/6/15	1	3	女子寮問題 二三の声明文 学芸学部	
2488	190	1963/6/15	1	3	女子寮移転運動の方向	
2489	190	1963/6/15	1	6	経済全学投票 執行部案信任される	
2490	190	1963/6/15	1	7	全学友諸君へのアピール	
2491	190	1963/6/15	1	8	生協設立運動を顧みて 統一自治会の結成を早急に 経済学部四年 大原	
2492	190	1963/6/15	1	8	女子寮移転問題で 学園民主化を 女子寮問題対策委員 保富学	
2493	190	1963/6/15	1	12	七面調	
2494	191	1963/6/15	2	1	ポポロ判決 深まる大学自治の危機	
2495	191	1963/6/15	2	1	和大新聞八三号に対する 公開質問状	
2496	191	1963/6/15	2	4	東南アジアの大学生 意気はあるが、官僚に 飯塚恒久	
2497	191	1963/6/15	2	7	サークル紹介(1)九月には新車でラリー 自動車部	
2498	191	1963/6/15	2	8	明るい歌で心の結びつき ユーгент・コール	
2499	191	1963/6/15	2	9	現代の課題 民主主義について 経済学部三年 古結昭和	
2500	191	1963/6/15	2	11	黒潮論壇	
2501	191	1963/6/15	2	12	シャルル・ルイ・フィリップについて 14期 E 亀井享祐	
2502	192	1963/6/15	3	1	復活する日本国帝国主義 改憲をめぐる 政治経済的背景 小野朝男	
2503	192	1963/6/15	3	1	のんびり たくましく 寮生活は人間形成をする	
2504	192	1963/6/15	3	3	ルポ 寮生の二四時間	
2505	192	1963/6/15	3	5	寮祭を全学生のものに	
2506	192	1963/6/15	3	9	学内人物評 三上隆三教授	
2507	192	1963/6/15	3	9	学内短評(17)	
2508	192	1963/6/15	3	10	マル経でケインズ批判 著作を喜ぶ学者肌	
2509	193	1963/6/15	4	1	苦悩する詩人の遍歴 忘れられざる人「啄木」北山正迪	
2510	193	1963/6/15	4	1	新刊紹介 憲法の正しい理解のために 憲法問題研究会編『憲法を生かすもの』『憲法と私たち』	
2511	193	1963/6/15	4	6	映画評	
2512	193	1963/6/15	4	8	現代性のない「残酷」『武士道残酷物語』をみて	
2513	194	1963/10/4	1	1	学生戦線に一転機 新しい自治会連合結成	
2514	194	1963/10/4	1	1	躍進する平民学連	
2515	194	1963/10/4	1	1	論説 七月集会の成果を全学友の中へ	
2516	194	1963/10/4	1	6	就職状況 経済 早くも九五%	
2517	194	1963/10/4	1	7	自主運営がかなめ ホーム・ルーム開設	
2518	194	1963/10/4	1	7	偉大な平和への力 第九回原水爆禁止世界大会に参加して 学芸学部四年 湯川広紀	
2519	194	1963/10/4	1	10	やっとかなったこの願い 寮食堂改装なる	
2520	194	1963/10/4	1	11	学芸 理数科小学校男子 面接のみで合格	
2521	194	1963/10/4	1	12	七面調	
2522	195	1963/10/4	2	1	学力能力テスト 政府の“人づくり”と裏はら	
2523	195	1963/10/4	2	1	サークル紹介(2) 教育への溢れる情熱 生活綴方研究会	
2524	195	1963/10/4	2	2	頭のいるスポーツ ヨット部	
2525	195	1963/10/4	2	4	女子寮問題 街灯は具体案出る 広間とりこわしに難点	
2526	195	1963/10/4	2	5	学内人物評	
2527	195	1963/10/4	2	6	藪谷智頭教授 庶民的な数学者 学生にもてる先生	
2528	195	1963/10/4	2	7	黒潮論壇	
2529	195	1963/10/4	2	8	育ちゆく女性の力 母親大会に参加して 学芸学部三年 平野富子	
2530	195	1963/10/4	2	9	随想 上田貞次郎博士と和歌山大学経済学部 三上隆三	
2531	195	1963/10/4	2	12	鑑賞組織設立の提案 映画研究会	
2532	196	1963/12/11	1	1	激戦！統一派に軍配	
2533	196	1963/12/11	1	1	論説 新自治会に期待する 統一ある行動を	
2534	196	1963/12/11	1	2	新委員長に古結君 経済学部自治会選挙	
2535	196	1963/12/11	1	3	人づくり政策の欺瞞性	
2536	196	1963/12/11	1	4	自治会の発展を目指して 新委員長の抱負	
2537	196	1963/12/11	1	6	大管法なくつづ実施か 学芸教授会 声明を発表 文部省の「学科目調査」	
2538	196	1963/12/11	1	8	発展する学内ゼミ「教育」を自主的研究	
2539	196	1963/12/11	1	11	新ゼミ生決定	
2540	196	1963/12/11	1	11	第八回近教ゼミ終る 来年は本学主催	
2541	196	1963/12/11	1	12	中央図書館 書庫着工さる	
2542	196	1963/12/11	1	13	七面調	
2543	197	1963/12/11	2	1	さびしかった大学祭	
2544	197	1963/12/11	2	1	サークル紹介 名実ともに和大的雄 マンドリン	
2545	197	1963/12/11	2	2	欠けていた主体性	
2546	197	1963/12/11	2	2	二部昇格も間近か バasketボール	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2547	197	1963/12/11	2	5	憲法を考える 第九条の現代的意義 (1)	
2548	197	1963/12/11	2	5	学内人物評 山本正治教授	
2549	197	1963/12/11	2	6	正義派統計学 幅広い趣味	
2550	197	1963/12/11	2	8	大島渚氏と考えたこと 中井常勝	
2551	197	1963/12/11	2	10	黒潮論壇	
2552	197	1963/12/11	2	11	寮に在りて 紀雲寮々長 片山淳三	
2553	198	1964/3/18	1	1	春にすだつ 第12回卒業式	
2554	198	1964/3/18	1	1	卒業生におくる 後藤清	
2555	198	1964/3/18	1	1	論説 新学長に望む	
2556	198	1964/3/18	1	3	卒業式によせて	
2557	198	1964/3/18	1	5	新学長に斎藤教授(経済) 学舎統合に期待 学生の意見の反映を	
2558	198	1964/3/18	1	6	書庫新築さる 中央図書館	
2559	198	1964/3/18	1	6	経営学科新設なる 有能なるエコノミスト養成 学部設立への一ステップ 経済学部	
2560	198	1964/3/18	1	7	四一年度より 入試科目変更	
2561	198	1964/3/18	1	8	就職好調!! 紳士協定なんのその 来年も早期化か 経済	
2562	198	1964/3/18	1	9	完成近し <女子寮>	
2563	198	1964/3/18	1	10	三九年度入学試験 経済一二・五倍 学芸では志願者増	
2564	198	1964/3/18	1	10	八八%決まる 四月一日には 完全就職 学芸	
2565	198	1964/3/18	1	11	卒業式行なわる	
2566	198	1964/3/18	1	12	七面調	
2567	199	1964/3/18	2	1	卒業論文テーマ一覧 学芸学部	
2568	199	1964/3/18	2	1	憲法を考える 改憲は歴史の逆行 (II)	
2569	199	1964/3/18	2	6	経済学部	
2570	199	1964/3/18	2	7	新学長のプロフィール 保険学界の重鎮 学生には良き親父	
2571	199	1964/3/18	2	9	学内短評	
2572	199	1964/3/18	2	11	黒潮論壇	
2573	199	1964/3/18	2	12	日中国交回復を 即時実現させよう 学芸学部 13期 大代洋子	
2574	200	1964/5/11	1	1	学舎統合 まず意志の統一を	
2575	200	1964/5/11	1	1	論説 自治会発展のために	
2576	200	1964/5/11	1	2	斎藤学長にきく 新聞会紙上対談	
2577	200	1964/5/11	1	6	人事移動	
2578	200	1964/5/11	1	6	やむなく学校案のむ 新女子寮「名草寮」と命名	
2579	200	1964/5/11	1	8	好評だった!! 新入生歓迎会	
2580	200	1964/5/11	1	8	[解説]	
2581	200	1964/5/11	1	10	例年以下の入試成績 三九年度入学試験	
2582	200	1964/5/11	1	10	憲法集合 一三日に開催	
2583	200	1964/5/11	1	11	南紀遠征に 出発 自動車部	
2584	200	1964/5/11	1	12	七面調	
2585	201	1964/5/11	2	1	生協設立のために	
2586	201	1964/5/11	2	1	サークル紹介(4) 文武両道を目指す 剣道部	
2587	201	1964/5/11	2	2	ぜひわれわれの手で	
2588	201	1964/5/11	2	2	のぞましい全学的もり上り	
2589	201	1964/5/11	2	2	伝統と独特のムード E・S・S	
2590	201	1964/5/11	2	5	一般教養 その思想と現実のギャップ	
2591	201	1964/5/11	2	5	学生自身の研究態度が その方向を決定 経済学部助教授 浅野徹	
2592	201	1964/5/11	2	8	学内人物評	
2593	201	1964/5/11	2	9	衣・食・住の先生 平田統一教授	
2594	201	1964/5/11	2	10	黒潮論壇	
2595	201	1964/5/11	2	10	”自我のめざめ” 経済学部二年 真木宏	
2596	201	1964/5/11	2	11	邪念 経済学部一年 中山元博	
2597	202	1964/6/10	1	1	委員長に岩月君(経済)、田野君(学芸)	
2598	202	1964/6/10	1	1	両学部自治委員決まる	
2599	202	1964/6/10	1	1	論説 新自治会への提言	
2600	202	1964/6/10	1	2	例年上まわる投票率	
2601	202	1964/6/10	1	4	学生運動の方向 経済学部委員長 岩月省二	
2602	202	1964/6/10	1	6	反動文教政策と対決 学芸学部委員長 田野裕司	
2603	202	1964/6/10	1	6	ESS二位入賞 全日本学生英語討論会	
2604	202	1964/6/10	1	7	学内人物評 宮本義男教授	
2605	202	1964/6/10	1	7	困難の克服めざして 生協設立運動	
2606	202	1964/6/10	1	8	旺盛な批判精神 毒舌をはく秀才肌	
2607	202	1964/6/10	1	9	「五月祭」行わる	
2608	202	1964/6/10	1	10	七面調	
2609	203	1964/6/10	2	1	大学生生活の再検討	
2610	203	1964/6/10	2	1	学生の大衆化は事実か	
2611	203	1964/6/10	2	1	circle紹介 良い教員へ誠実な努力 教育科学研究会	
2612	203	1964/6/10	2	2	意識を低下させるもの	
2613	203	1964/6/10	2	4	春山紀行 後立山連峰縦走記 木下芳雄	
2614	203	1964/6/10	2	5	悔いを残さないために	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2615	203	1964/6/10	2	6	憲法を考える(Ⅲ) 第九条をどう解釈するか 筒井信定	
2616	203	1964/6/10	2	7	黒潮論壇	
2617	203	1964/6/10	2	8	ホレ 信じなさい 経済十六期 行本憲輔	
2618	204	1964/7/3	1	1	両学部学生大会行なわる	
2619	204	1964/7/3	1	1	論説 憲法問題とわれわれの姿勢	
2620	204	1964/7/3	1	2	情勢分析で紛糾 経済学部	
2621	204	1964/7/3	1	4	近教ゼミの成功を期す 学芸学部	
2622	204	1964/7/3	1	6	只今柔道修業中 米国ベ市の五学生	
2623	204	1964/7/3	1	7	具体化する生協運動 価格面でもめる	
2624	204	1964/7/3	1	9	六・一九 関西学生統一集会	
2625	204	1964/7/3	1	9	就職 "青田刈り"初まる 経済	
2626	204	1964/7/3	1	11	近教ゼミ準備進む	
2627	204	1964/7/3	1	12	七面調	
2628	205	1964/7/3	2	1	平和憲法擁護へ我々の責務 憲法調査会最終報告書をめぐって	
2629	205	1964/7/3	2	1	circle紹介 山を通して人間形成 山岳部	
2630	205	1964/7/3	2	3	憲法の完全実施へ 実践的理論の確立を 黒田了一	
2631	205	1964/7/3	2	4	人間像の追求を	
2632	205	1964/7/3	2	5	映画をいかにみるか 古賀史郎	
2633	205	1964/7/3	2	8	学舎統合をめぐって 学内外にもり上がり	
2634	205	1964/7/3	2	10	学内人物評 ジーン・ジェラード	
2635	205	1964/7/3	2	11	平和への強い情熱 誠実なクエーカー教徒	
2636	206	1964/11/21	1	1	原潜佐世保に入港 11・12 阻止闘争新たな段階へ 本学でも抗議集会	
2637	206	1964/11/21	1	1	論説 原潜寄港の背景	
2638	206	1964/11/21	1	3	抗議声明文	
2639	206	1964/11/21	1	4	統一自治会 現状では不可能 解散規約に不備	
2640	206	1964/11/21	1	6	第9回 近畿教育系学生ゼミナール 本学で開催 二〇日より四日間	
2641	206	1964/11/21	1	7	解説	
2642	206	1964/11/21	1	8	第9回 日本学生経済ゼミナール 横浜市大で開催 本学から一四部門に参	
2643	206	1964/11/21	1	8	和大的評価高まる 一〇〇%決定	
2644	206	1964/11/21	1	10	学内人物評 本間輝雄	
2645	206	1964/11/21	1	11	熱意をもって冒険せよ 平生の努力を強調	
2646	206	1964/11/21	1	13	七面調	
2647	207	1964/11/21	2	1	ワイマルの印象 東独を旅して 蘭田宗人	
2648	207	1964/11/21	2	1	書評 絶望に挑む生の充実 柴田翔著「されど我が日々」経済3年 松本治直	
2649	207	1964/11/21	2	6	幻想の画家 ダリ	
2650	207	1964/11/21	2	9	「偏執狂的批判的方法」による表現芸術 和高伸二	
2651	207	1964/11/21	2	10	黒潮論壇	
2652	207	1964/11/21	2	11	戦後も解放されない女性 学芸学部3年 堺南海子	
2653	208	1965/3/18	1	1	陽春の門出を祝う 第13回卒業式	
2654	208	1965/3/18	1	1	学問の自由と大学の自治 を尊重せよ!! 産学共同化阻止	
2655	208	1965/3/18	1	1	論説 第一三回卒業式挙行	
2656	208	1965/3/18	1	6	転機を向えた学芸就職 全員就職は四月か	
2657	208	1965/3/18	1	7	不況はどこへ!! 経済完全就職 だが来年は不作か	
2658	208	1965/3/18	1	7	再建派自治会発足 学内シンポジウム開催さる	
2659	208	1965/3/18	1	9	経済新学部長に安藤教授 学芸は末松教授に	
2660	208	1965/3/18	1	9	米原潜「寄港」阻止 抗議集会 両学部で開催	
2661	208	1965/3/18	1	9	昭和四〇年度入学出願状況 経済 九・九倍 学芸 五・二倍	
2662	208	1965/3/18	1	12	七面調	
2663	209	1965/3/18	2	1	『卒業論文』テーマ一覧 学芸学部	
2664	209	1965/3/18	2	1	映画評論	
2665	209	1965/3/18	2	3	映画の観客について 一三期生 古賀史郎(映研)	
2666	209	1965/3/18	2	7	経済学部	
2667	209	1965/3/18	2	8	卒論感想 私の場合 一三期生 古結昭和	
2668	209	1965/3/18	2	10	黒潮論壇	
2669	209	1965/3/18	2	11	日韓会談の本質を 追求しよう! 経済学部 一五期 紙谷将和	
2670	210	1965/5/15	1	1	国家の反動化と学園侵害	
2671	210	1965/5/15	1	1	座談会 学長に聞く 敷地決定まで一息 学舎統合問題	
2672	210	1965/5/15	1	2	学舎統合より 学園の民主化を	
2673	210	1965/5/15	1	8	抗議集会開かる 学芸・経済	
2674	210	1965/5/15	1	8	昨年以上の成績 四十年入学試験	
2675	210	1965/5/15	1	9	学内人物評	
2676	210	1965/5/15	1	10	学者らしくない 良心的な学者	
2677	210	1965/5/15	1	11	盛況だった 新入生歓迎会 五月祭一七日から	
2678	210	1965/5/15	1	12	人事異動	
2679	211	1965/5/15	2	1	論説 新入生に想う	
2680	211	1965/5/15	2	1	新入生のために 和太 紹介	
2681	211	1965/5/15	2	5	学生運動 内部から支えるもの 経済自治委員長 住吉正義	
2682	211	1965/5/15	2	10	黒潮論壇	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2683	211	1965/5/15	2	11	ヴェトナム問題 の平和的解決を 学芸学部一七期 鳥井敬一	
2684	212	1965/5/15	3	1	南北統一が先決	
2685	212	1965/5/15	3	1	日韓会談を探る その歴史と本質	
2686	212	1965/5/15	3	2	妥結をいそぐ反動派	
2687	212	1965/5/15	3	2	日韓交渉の政治 経済的背景 小野朝男	
2688	212	1965/5/15	3	5	軍事同盟結成の意図	
2689	212	1965/5/15	3	8	ベトナム問題 "米軍撤退"のみが 解決の道 経済学部十五期生 山下隆	
2690	213	1965/5/15	4	1	外国の大学と日本の大学 大学生はいかに 生きるべきか 角山栄	
2691	213	1965/5/15	4	1	circle紹介	
2692	213	1965/5/15	4	2	輝かしき若人をつくる 空手道部	
2693	213	1965/5/15	4	4	邦楽を認識せよ 邦楽部	
2694	213	1965/5/15	4	6	新刊紹介 現代とは何かの探求 梅本克己著「現代思想入門」J・K	
2695	214	1965/6/22	1	1	再建派三役を独占 経済学部自治会	
2696	214	1965/6/22	1	1	両学部新自治会発足	
2697	214	1965/6/22	1	1	論説『学生自治』会へ一言 意義あつた寮闘争	
2698	214	1965/6/22	1	2	学芸は信任投票	
2699	214	1965/6/22	1	5	私の抱負 教育の軍国主義化 と闘う 学芸自治委員長 赤坂文男	
2700	214	1965/6/22	1	6	全学集会 5・28 寮闘争白熱化する 寮問題を全学生に	
2701	214	1965/6/22	1	7	自己欺瞞 その 恥辱を知れ 経済学部自治委員長 真下義則	
2702	214	1965/6/22	1	7	就職 十一社不採用通知 経済	
2703	214	1965/6/22	1	8	学内人物評 田林義信教授	
2704	214	1965/6/22	1	9	誠実・実直なる 教育者	
2705	214	1965/6/22	1	11	七面調	
2706	215	1965/6/22	2	1	大学を考える(上) 必要な理念の再確立	
2707	215	1965/6/22	2	1	随筆	
2708	215	1965/6/22	2	2	全ストものがたり 後藤清	
2709	215	1965/6/22	2	6	作品を訪ねて 助左衛門四代記 有吉佐和子著	
2710	215	1965/6/22	2	8	circle紹介	
2711	215	1965/6/22	2	9	文化的運動部をめざす ワンダーフォーゲル部	
2712	215	1965/6/22	2	9	黒潮論壇	
2713	215	1965/6/22	2	10	より未来を 経済学部一六期 高橋健一郎	
2714	216	1965/10/28	1	1	大学祭始る	
2715	216	1965/10/28	1	1	日韓批准 新植民地主義へ 貫徹する資本の論理 日韓経済協力の欺瞞性	
2716	216	1965/10/28	1	1	論説 自治会再建の方向 と現状認識	
2717	216	1965/10/28	1	2	批判的精神の剣を磨け!	
2718	216	1965/10/28	1	6	マスター・コースの設置 学舎移転座折	
2719	216	1965/10/28	1	7	ツタンカーメン展団体鑑賞会	
2720	216	1965/10/28	1	7	学内民主主義を守ろう 寮問題にかんがみて	
2721	216	1965/10/28	1	7	第一二回 全日本ゼミ近づく 明治大学で	
2722	216	1965/10/28	1	9	学内短評	
2723	216	1965/10/28	1	10	コンサルテーションの意味 経済学部	
2724	216	1965/10/28	1	11	L学生食堂設立運動の形態 L食堂設立準備委員会	
2725	216	1965/10/28	1	12	ゼッケンデモ 警察官と衝突	
2726	216	1965/10/28	1	13	七面調	
2727	217	1965/10/28	2	1	最近の日本ナショナリズム論 山中隆次	
2728	217	1965/10/28	2	2	対自にあるナショナリズムの高揚 国内に向けられる 真のナショナリズム	
2729	217	1965/10/28	2	2	沖縄を語れずに、日韓を語るな	
2730	217	1965/10/28	2	3	恐怖の『現代』へアプローチ「日常生活に仮面の戦争」吉本隆明	
2731	217	1965/10/28	2	9	新刊紹介	
2732	217	1965/10/28	2	9	南 清彦著『独占資本主義と農業問題』(三一書房) 二見 昭著『現代アメリカ農業の構造』(日本評論社)	
2733	217	1965/10/28	2	9	経済就職 不況に押された就職状況 来年の前途も暗い	
2734	218	1965/10/28	3	1	大学祭その 歴史と学生 楽しめる大学祭に!	
2735	218	1965/10/28	3	2	和歌山を作り上げよう 和大祭実行委員長 中井常勝	
2736	218	1965/10/28	3	6	黒潮論壇	
2737	218	1965/10/28	3	7	学芸に食堂を設立 するに当って 学芸一六期 大東久夫	
2738	219	1965/10/28	4	1	祝大学祭	
2739	219	1965/10/28	4	7	クラブ短信	
2740	220	1965/12/14	1	1	14年 と一分の日本国会 国政に今一度批判の眼を 佐藤内閣総辞職・即時国会解散を要求	
2741	220	1965/12/14	1	1	諸組織・諸サークルの支持を問う 創造的文化活動推進 印刷機購入又は印刷所と提携	
2742	220	1965/12/14	1	1	論説 のりだそう生協設立へ 学芸学生食堂設立運動	
2743	220	1965/12/14	1	6	私はこう思う	
2744	220	1965/12/14	1	6	日韓闘争の展望 森川博	
2745	220	1965/12/14	1	7	議会政治のあり方 日韓条約採択をめぐる 松本博	
2746	220	1965/12/14	1	7	再建派統一派を圧倒 新委員長に滝本君	
2747	220	1965/12/14	1	9	大学祭写真展開催中	
2748	220	1965/12/14	1	10	寮闘争再燃す 一二月七日全学集会	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2749	220	1965/12/14	1	11	経済学部自治会総会 自治会費値上げ	
2750	220	1965/12/14	1	11	最近のソ連経済に思う 利潤方式導入によせて 山口慶四郎	
2751	220	1965/12/14	1	12	大学祭成功裏に幕 学生の主体性に尚疑問	
2752	220	1965/12/14	1	12	出口義雄教授死去さる	
2753	220	1965/12/14	1	13	七面調	
2754	221	1965/12/14	2	1	現代と哲学 一個と連帯の希求	
2755	221	1965/12/14	2	1	寸談・戯評	
2756	221	1965/12/14	2	4	哲学も一種の疎外態 痛みは痛みとしてその現実的基礎を科学的に分析すること 渡辺昭	
2757	221	1965/12/14	2	6	黒潮論壇	
2758	221	1965/12/14	2	7	習慣は実存に先立つ 経済学部一四期 住吉正義	
2759	221	1965/12/14	2	9	経済就職 不況に押された就職状況 来年の前途も暗い	
2760	221	1965/12/14	2	10	漱石・百年 北山正迪 個我の希求ひたすら「則天去私」からの死と 現実の「死」との奇偶	
2761	221	1965/12/14	2	10	哲学的自覚について 奏貢一	
2762	222	1966/3/18	1	1	経済・大学院設置	
2763	222	1966/3/18	1	1	論説 早大紛争に思う	
2764	222	1966/3/18	1	2	新制国立大初の壮挙 国立大学院は十校に 募集要項発表される	
2765	222	1966/3/18	1	5	和歌山大学経済学部大学院 第一回修士課程 学生募集要項	
2766	222	1966/3/18	1	5	志願者急増 学芸志願者一躍八倍 実質競争率は六倍か	
2767	222	1966/3/18	1	7	学芸学部『教育』学部と改称 昭和四一年度から	
2768	222	1966/3/18	1	11	七面調	
2769	223	1966/3/18	2	1	卒業論文テーマ一覧 学芸学部	
2770	223	1966/3/18	2	1	第一四回卒業式 新たな出発を祝う	
2771	223	1966/3/18	2	1	卒業生に贈る 末松四郎	
2772	223	1966/3/18	2	5	門出を祝う 安藤精一	
2773	223	1966/3/18	2	6	経済学部	
2774	223	1966/3/18	2	7	学芸就職四三% 完全就職は無理か	
2775	223	1966/3/18	2	8	既に全員就職 メーカーは減少	
2776	224	1966/9/22	1	1	日本の平和と安全の道 最近の安保論争をめぐって	
2777	224	1966/9/22	1	1	七〇年安保をめぐる 視点と立場	
2778	224	1966/9/22	1	2	小選挙区制と日本の議会政治	
2779	224	1966/9/22	1	3	民主主義なき腐敗政治 広域比例代表制を	
2780	224	1966/9/22	1	8	国民的合意による 自主的選択	
2781	224	1966/9/22	1	9	世相寸評	
2782	224	1966/9/22	1	10	虚像の中国 と実像の中国	
2783	224	1966/9/22	1	12	七面調	
2784	225	1966/9/22	2	1	論説 学生運動の大同団結を	
2785	225	1966/9/22	2	1	大学院生 新美洋二君起訴さる 高崎経済闘争において	
2786	225	1966/9/22	2	1	学内人物評 池田芳次教授	
2787	225	1966/9/22	2	1	土着の研究者 学問のための学問を	
2788	225	1966/9/22	2	3	闘う全学連再建 準備委結成さる	
2789	225	1966/9/22	2	4	大学祭日程決る 10・29～11・3	
2790	225	1966/9/22	2	4	似顔	
2791	225	1966/9/22	2	4	日韓闘争で和井田君(日大)逝去	
2792	225	1966/9/22	2	6	経済就職 大手会社ほぼ終了	
2793	225	1966/9/22	2	7	図書館(E)改装なる	
2794	225	1966/9/22	2	8	編集員時代 学生戦線分裂の中で 経済学部十三期 古結昭和	
2795	225	1966/9/22	2	9	熱き政治的季節の中で 経済学部十期 雨宮弘明	
2796	225	1966/9/22	2	9	勤評闘争の嵐の中で 経済学部七期 木本舜造	
2797	225	1966/9/22	2	10	邦楽演奏旅行	
2798	225	1966/9/22	2	11	県下高校英語弁論大会開かれる	
2799	226	1966/9/22	3	1	海外ルポルタージュ ヴェトナムの素顔 ”平和への希求”	
2800	226	1966/9/22	3	5	物価は安く、落ちついた生活 気揚げしたヴェトナム兵、意気上がる外国兵	
2801	226	1966/9/22	3	7	戦後20年 国際状況をどうみるか 出水宏一	
2802	227	1966/9/22	4	1	現在の教師観の混迷、教師は労働者か 専門家か聖職者か 教育職員免許法と 教職の専門性 清水俊彦	
2803	227	1966/9/22	4	1	随想 古本の周辺 渡辺広	
2804	227	1966/9/22	4	4	『登張竹風』と『漱石』 嘉納治五郎と対立する教師像 教職はサービスであ	
2805	227	1966/9/22	4	8	教育政策に 深い洞察の眼を	
2806	228	1966/9/22	5	1	時事随想 譜請中 北山正迪	
2807	228	1966/9/22	5	2	教養主義は知識人の責任回避 現代は民族にとって苦痛の時代である	
2808	228	1966/9/22	5	4	スターリン主義とは何か 緩和されたスターリン主義の横行	
2809	228	1966/9/22	5	5	70年安保 一つの視点 経済学部二年 向瀬隆男	
2810	229	1966/9/22	6	1	写真特集 第四回近体成績報告	
2811	229	1966/9/22	6	10	成功に満足 青木体育会長談	
2812	230	1966/9/22	7	1	悲劇的な厳肅さに満つ ウェーバーの生涯	
2813	230	1966/9/22	7	2	哲学者の道 それは、やり直しのきかない 文字通り身を賭しての歩みである。 藪田宗人	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2814	230	1966/9/22	7	2	ハイデッガーの己れの学問 に対する厳しさ、誠実さ	
2815	230	1966/9/22	7	5	サルトルの実存主義 人間存在と自由 泉隆資	
2816	230	1966/9/22	7	6	古典落語 への 招待	
2817	230	1966/9/22	7	7	長屋人的人生観 ほしい心の余裕	
2818	231	1966/9/22	8	1	随想 新制大学論 宮本義男	
2819	231	1966/9/22	8	1	随想 大学の時計塔 角山栄	
2820	231	1966/9/22	8	4	大学は普遍性探求の場 《研究体制のヴィジョンの確》 《立こそ、大学の 本質を守る》	
2821	231	1966/9/22	8	5	市民社会の伝統と時計 時計台は大学と市民の融合の象徴	
2822	231	1966/9/22	8	9	郷土の偉人 陸奥宗光 田中敬忠	
2823	232	1966/9/22	9	1	人間疎外論とマルクス 杉原四郎 清水幾太郎著『現代思想』にふれて	
2824	232	1966/9/22	9	1	本学生の健康状況に関する報告	
2825	232	1966/9/22	9	6	パッペンハイム著『近代人の疎外』より 疎外状況 経済学部4年 石川悠造	
2826	233	1966/9/22	10	1	映画に何を期待するか 心を通じて形へと向う芸術と 形を通じてころへ迫 る芸術 坂野嘉弘	
2827	233	1966/9/22	10	2	「市民ケーン」 オーソン・ウェルズ監督 ワキはシテに対して珍しい一回的体 験を要求する。映画 杉本恵蔵	
2828	233	1966/9/22	10	7	共同の人間探求 吉川文学と我々 松井勝敏 吉川英治著 親鸞	
2829	233	1966/9/22	10	8	書評 清水幾太郎 現代思想 岩波全書上下各300円 経済学部四年住吉	
2830	233	1966/9/22	10	8	根のない植物採集の標本 スターリン主義は左翼運動の終末	
2831	233	1966/9/22	10	12	変革すべき理論形成への志向 現代は人類史の前期と後期を分かつ門	
2832	233	1966/9/22	10	12	梅本克己著 現代思想入門 高橋健一郎	
2833	234	1967/5/18	1	1	論説 愚問『大学になぜ来たか』 ”そこに大学があるから”	
2834	234	1967/5/18	1	4	何をなすべきか 現在の位置づけの再確認を	
2835	234	1967/5/18	1	6	理論と実践の主體的統一 社会体制と人間意識	
2836	234	1967/5/18	1	9	学問の追求を 己自身の問題へ！！	
2837	234	1967/5/18	1	11	七面調	
2838	235	1967/5/18	2	1	学外短信	
2839	235	1967/5/18	2	2	和歌山大学を斬る！！ 累積された問題と新スタッフの動向 《学長・EL学 部長・学生部長・新聞会対談》	
2840	235	1967/5/18	2	2	拡大化政策矛盾と学舎統合の解決に 両学部長	
2841	235	1967/5/18	2	2	琉球たより 山城君訪和	
2842	235	1967/5/18	2	5	高松どう第二回公判 二六日、地裁にて	
2843	235	1967/5/18	2	6	入試結果	
2844	235	1967/5/18	2	7	三分の一講師採用 早急に今後の対策を L就職	
2845	235	1967/5/18	2	8	滋・和大定期戦 六月一七・一八日	
2846	235	1967/5/18	2	9	国立大学授業料 大巾値上げか	
2847	235	1967/5/18	2	11	世間が非常識と思 わぬ範囲なら良い 授業料値上げ 学長	
2848	235	1967/5/18	2	11	五月文化週間(E)	
2849	235	1967/5/18	2	12	L自治会選挙行なわる	
2850	235	1967/5/18	2	13	学内人事	
2851	236	1967/5/18	3	1	新入生特集 入学後の意識 アンケートに答る新入生	
2852	236	1967/5/18	3	1	学内人物評 神野教授	
2853	236	1967/5/18	3	2	小柄でファイトマン 関心ある学生運動に	
2854	236	1967/5/18	3	10	新聞会公示	
2855	237	1967/5/18	4	1	大島渚論 『渚の怨恨、日本の夜と霧』 大久保文人 経済学部3年	
2856	237	1967/5/18	4	5	小説 遊民(上) 渥美正道E4 成田孝一画	
2857	237	1967/5/18	4	9	現代日本の考察 一橋名誉教授 高島善哉著 書評	
2858	237	1967/5/18	4	11	階級と民族の関係を ”社会科学的”に解明	
2859	237	1967/5/18	4	15	「尼僧アンナ」によせて 激しい人間性 の訴え 加茂川益郎 E3	
2860	238	1967/7/18	1	1	資本の自由化と日本帝国主義	
2861	238	1967/7/18	1	2	『資本の自由化』による国内経済再編成	
2862	238	1967/7/18	1	2	日本帝国主義の強権的収奪	
2863	238	1967/7/18	1	4	日帝の野望を看破した反帝闘争を！	
2864	238	1967/7/18	1	6	新聞会公示	
2865	238	1967/7/18	1	9	七面調	
2866	239	1967/7/18	2	1	生協への問題点 学舎統合マスタープラン作製	
2867	239	1967/7/18	2	1	「将来全員組合員に」L食堂 ”従業員の公務員化を” 三食	
2868	239	1967/7/18	2	1	論説 帝国主義の大学再編に抗し 我々の大学秩序を築け <学舎統合全 学協議会の結成を>	
2869	239	1967/7/18	2	4	再建派(社会学系)完勝 全支会(民青系)総崩れ	
2870	239	1967/7/18	2	5	ベトナム 砂川-安保の 砦を構築せよ 投票率七六% E自治会前期選挙	
2871	239	1967/7/18	2	6	短大三派系全学連に加盟	
2872	239	1967/7/18	2	6	砂川基地拡張阻止 京都で三府県学連統一行動	
2873	239	1967/7/18	2	9	教育反動化の一環 教免法改悪	
2874	240	1967/7/18	3	1	再燃する砂川 5・28闘争現地ルポ 特集	
2875	240	1967/7/18	3	1	学内人物評	
2876	240	1967/7/18	3	2	”ぬーぼー”とした中に 鋭さを秘めた人 押谷教育学部助教授	
2877	240	1967/7/18	3	4	平和への闘い デモ隊へ唸る警棒	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2878	240	1967/7/18	3	5	侵略機を越国へやるな	
2879	240	1967/7/18	3	7	ブルトーザーの下じきに なっても…地元の声	
2880	240	1967/7/18	3	9	図書 紹介 シリーズ②	
2881	241	1967/7/18	4	1	学外短信	
2882	241	1967/7/18	4	2	書評 マルクス経済学への道 杉原四郎著	
2883	241	1967/7/18	4	4	「罪と罰」をよんで L二年 吉村なが子	
2884	241	1967/7/18	4	7	小説 遊民(下) 作・渥美正道(E4) 画・井沼より子(L2)	
2885	242	1967/9/18	1	1	ロシア革命の今日的意義	
2886	242	1967/9/18	1	1	ロシア革命50年と日本プロレタリア革命	
2887	242	1967/9/18	1	4	二月革命の勃発と二重政権	
2888	242	1967/9/18	1	6	一九一七年 ロシア革命の追体験 ロシア革命小史	
2889	242	1967/9/18	1	7	第一回ソヴィエト大会と総攻撃ならびに六月デモ	
2890	242	1967/9/18	1	8	民主主義会議会 予備議会とソヴィエト大会のための闘争	
2891	242	1967/9/18	1	10	軍事革命委員会と十月革命	
2892	242	1967/9/18	1	12	世界革命の必要性	
2893	242	1967/9/18	1	14	七面調	
2894	243	1967/9/18	2	1	学外短信	
2895	243	1967/9/18	2	2	大学祭日程決まる フェスティバル化よりの 脱皮成り得るか! 10・28→11・	
2896	243	1967/9/18	2	2	就職	
2897	243	1967/9/18	2	2	官憲の弾圧、強化!! 学友2名不当逮捕さる 9・20全学連統一行動	
2898	243	1967/9/18	2	2	論説 流動する世界と プロレタリア国際主義 我々の世界観を築こう!	
2899	243	1967/9/18	2	5	油納君入賞	
2900	243	1967/9/18	2	5	和歌山反戦 集会開かる	
2901	243	1967/9/18	2	5	三派系全学連大会開かる	
2902	243	1967/9/18	2	7	黒潮論壇	
2903	243	1967/9/18	2	7	民青系全学連大会 “諸要求貫徹”確認す	
2904	243	1967/9/18	2	8	放浪者その哲学は 自由・平等・反体制・国境の軽蔑 新宿フーテン族との質的相異	
2905	243	1967/9/18	2	9	学内人物評	
2906	243	1967/9/18	2	10	Anthony Ebgar Backhouoe 典型的な英国ジェントルマン	
2907	244	1967/9/18	3	1	ロシア革命 50周年記念特集	
2908	244	1967/9/18	3	1	ロシア革命における党と党派闘争	
2909	244	1967/9/18	3	2	ロシア革命の教訓 レーニン主義の実践的経験	
2910	244	1967/9/18	3	3	党の型・前衛党 概念	
2911	244	1967/9/18	3	5	党派闘争が前衛党形成 純粋培養では形成されない	
2912	244	1967/9/18	3	6	社会排外主義との党派闘争	
2913	244	1967/9/18	3	6	ブラック・パワーと 反米帝実力闘争	
2914	244	1967/9/18	3	8	激動する世界と後進国武解放闘争	
2915	244	1967/9/18	3	8	危機の環としての 後進国	
2916	244	1967/9/18	3	10	アメリカ黒人 反乱と国際連帯	
2917	244	1967/9/18	3	11	危機の進行と 中国の路線転換	
2918	244	1967/9/18	3	12	真のインターナショナルを! 人民の闘いは権力との 闘いである!	
2919	245	1967/9/18	4	1	映画評 大島渚監督 無理心中 日本の夏 五味啓悟(E4)	
2920	245	1967/9/18	4	1	投稿 現代日本とマルクス主義 細原京子(L3)	
2921	245	1967/9/18	4	6	書評 ドイツチャー著『ロシア革命五十年』未完の革命 北尾慶子(L3)	
2922	245	1967/9/18	4	8	新聞会公示	
2923	246	1967/12/11	1	1	11・12その日の羽田 訪米実力阻止に 緊迫する総決起集会 羽田闘争現地ルポ	
2924	246	1967/12/11	1	1	論説 一・一・二羽田闘争 の意義と学生運動	
2925	246	1967/12/11	1	4	駒場を占拠 長椅子でバリケード構築	
2926	246	1967/12/11	1	4	棍棒・角材・投石そして催涙ガス 灰色と濃紺の威圧感 機動隊	
2927	246	1967/12/11	1	6	全学連、民青と 対峙	
2928	246	1967/12/11	1	7	解説 反戦闘争から 反帝闘争へ	
2929	246	1967/12/11	1	9	佐藤首相訪米の本質 海外侵略と安保体制の実質化	
2930	246	1967/12/11	1	10	マスコミの 道徳的反対「暴力反対」	
2931	246	1967/12/11	1	10	日共 民青の闘争放棄 政府の敷いた軌道を走る 日共機関車	
2932	246	1967/12/11	1	12	東大駒場寮で 支持決闘	
2933	246	1967/12/11	1	13	七面調	
2934	247	1967/12/11	2	1	学外短信	
2935	247	1967/12/11	2	2	10・21国際反戦DAY	
2936	247	1967/12/11	2	2	三派系(再建派 反戦会議 連合)圧勝 新委員長に大久保君(3年) E自治会選挙 七期連続	
2937	247	1967/12/11	2	3	激化する反戦闘争 昨年に続く全日スト(E) 一部授業放棄(L)	
2938	247	1967/12/11	2	5	経済学部 市中デモに 百余名結集	
2939	247	1967/12/11	2	5	Eゼミ闘争 今年も自主調整に	
2940	247	1967/12/11	2	7	学芸学部 ベトナム人 民支援週間	
2941	247	1967/12/11	2	7	学科縦割制廃止を目指 して闘争の持続を E2年山本裕和	
2942	247	1967/12/11	2	8	野口君不当逮捕さる 10・21市中デモに関して	
2943	247	1967/12/11	2	9	大学祭総括 実行委員 村上英嗣	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
2944	247	1967/12/11	2	10	大学祭の不毛性を 克服し得ず終る 好評だった藤本氏の講演(文化部門)	
2945	247	1967/12/11	2	10	就職 学芸学部 今年も厳し そう	
2946	247	1967/12/11	2	10	42年前期決算報告 和歌山大学消費組合	
2947	247	1967/12/11	2	12	新聞会公示	
2948	248	1968/5/31	1	1	4・26国際反戦学生 ゼネスト	
2949	248	1968/5/31	1	1	全日ストで呼応(経済学部) 激動する世界階級情勢	
2950	248	1968/5/31	1	1	論説 状況と主体との結合こそ第一の作業	
2951	248	1968/5/31	1	5	当日の記録 L構内で全和歌山学生 総決起集会(デモ隊正門突破) L補導・民青門扉を閉ざす	
2952	248	1968/5/31	1	7	悪質不当な妨害の中で 新聞会全学投票貫徹さる 三項目とも圧倒的信任を獲得	
2953	248	1968/5/31	1	10	七〇年安保砕砕 樺美智子虐殺 八周年追悼 6・15集会	
2954	248	1968/5/31	1	10	総括 強固な基本姿勢の 上に巨大な発展を 状況から個へ個から 状況への接近を	
2955	249	1968/5/31	2	1	小野学生部長に聞く 和歌山大学の抱えている問題!	
2956	249	1968/5/31	2	1	5・31団交 合宿所建設・学生食堂厨房拡張 大型冷蔵庫購入等を確認さす E自治会・学生食堂経営委 学舎統合に全学対策協議会を強く要求	
2957	249	1968/5/31	2	4	三食組合大会開かる 諸施設の改善・受益者負担・生協問題等討議	
2958	249	1968/5/31	2	8	学芸学部自治会選挙 全学連(民青系)支持派 の勝利 学生戦線初登場(全学連 三派系 支持)	
2959	249	1968/5/31	2	9	準備不足だった学生戦線 解説 意識の日常性を 破ってこそ勝利が可能	
2960	249	1968/5/31	2	11	又も取材拒否の暴挙 セクトまるだしの制限集会 L学部での二七日の集会	
2961	249	1968/5/31	2	12	教育三法粉砕 5.17 全学総決起集会	
2962	250	1968/5/31	3	1	新入生座談会 主体性確立への模索	
2963	250	1968/5/31	3	2	受験勉強は必要悪か?	
2964	250	1968/5/31	3	2	閉塞状況を打破して 状況との 積極的係りあいを	
2965	250	1968/5/31	3	5	大学の在り方はいかに そこでは主体性の確立を	
2966	250	1968/5/31	3	6	学生運動とは 新入生にとって何か? 柔軟性のある運動と 意識の高揚を	
2967	251	1968/5/31	4	1	映評 ベトナムから遠く離れて 監督 クリス・マルケル アラン・レネ アニエス・バルダ ウィリアム・クライン ジャンニリュック・ゴダール ヨリス・イウエン クロード・ルルーシュ 村上英嗣(E・3)	
2968	251	1968/5/31	4	1	五月祭総括	
2969	251	1968/5/31	4	2	"全世界を 獲得するために" 五月文化週間実行委員長 E・2佐々木信彰	
2970	251	1968/5/31	4	4	ベトナムは 我々自身の問題だ	
2971	251	1968/5/31	4	5	黒潮論壇	
2972	251	1968/5/31	4	7	和太に於ける学生運動 の相剋についての私見 E4 赤羽徳雄	
2973	252	1968/6/30	1	1	闘争の全学的展開によって 閉塞状況の打破を! 学舎統合・学館闘争	
2974	252	1968/6/30	1	1	論説 この闘争を七〇年安保闘争 への主体的確立の礎に	
2975	252	1968/6/30	1	2	問われる三自治会の指導性 対応できなければ、以後 学生運動を語る資	
2976	252	1968/6/30	1	4	スト権確立(E学部) 二九日から第一波スト突入	
2977	252	1968/6/30	1	6	経済教授会、全学協議会結成を約す 当局の逃げ道は闘争をE学部 だけに閉じ込めること	
2978	252	1968/6/30	1	9	全学闘争組織の確立こそ急務	
2979	252	1968/6/30	1	12	七面調	
2980	253	1968/6/30	2	1	70年安保の現在的課題 6/7ASPAC粉砕闘争6/28	
2981	253	1968/6/30	2	1	大阪の地に実力武装闘争を 持ち込む6・28御堂筋デモ	
2982	253	1968/6/30	2	1	68年度前期E自治会選挙 再建派(社学同系)の圧勝 勝因は従来の着実な	
2983	253	1968/6/30	2	3	全国の自治会選挙戦 日共系の後退 と新左翼の 躍進傾向	
2984	253	1968/6/30	2	5	L学生大会 開かれる	
2985	253	1968/6/30	2	6	学外短信 新美公判開かる(高崎経大闘争)	
2986	254	1968/10/18	1	1	チェコ問題への我々の主体的対応は如何に ありうるか	
2987	254	1968/10/18	1	1	論説	
2988	254	1968/10/18	1	3	現代過渡期世界の危機 世界プロレタリア人民の等質的 危機の一環=チエコ人民の危機	
2989	254	1968/10/18	1	4	三年目を迎えた 一〇・二一国際反戦デー	
2990	254	1968/10/18	1	7	ソ連・ドプチェク・日共=民族社会主義	
2991	254	1968/10/18	1	10	68チェコへの視点確立の為に '56ハンガリー革命 敗北の経過を再現する	
2992	254	1968/10/18	1	14	七面調	
2993	255	1968/10/18	2	1	プロレタリア国際主義の具体化と 10・21国際反戦ストへの展望	
2994	255	1968/10/18	2	3	大学祭への提言 E二年竹下英司	
2995	255	1968/10/18	2	8	三派全学連の再編	
2996	256	1968/10/18	3	1	座談会 大学を考える!	
2997	256	1968/10/18	3	3	大学の社会的位置「高度な労働力商品生産の機関」	
2998	256	1968/10/18	3	4	本来の大学の在り方「大学は体制内的人間創造の場」「体制否定こそ大学改革への道」	
2999	256	1968/10/18	3	8	学生層の分解と 運動のダイナミズム「学生の大学管理運営への参加を」	
3000	256	1968/10/18	3	11	大学の『治外法権』『権力が大学に与える幻想』『究極状況になると弾圧』	
3001	257	1968/10/18	4	1	激動する世界経済 6月1日大学創立記念日に於ける 小野教授講演速記録	
3002	257	1968/10/18	4	2	随想 F20期中田隆哲	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
3003	258	1969/1/27	1	1	大学の自治と共同幻想『疎外』の完成としての 国大協路線と赤旗路線 新聞会編集局	
3004	258	1969/1/27	1	3	自己解放・自己利害追求 としての「大学自治」の創造 我々の手で「労働力商品形成機能」を「共同体の人間形成機能」に取替える	
3005	258	1969/1/27	1	7	学対協 経済自治会 三項目を要求して 本部建物を封鎖 23日夜 学長及び学生部長 大学側の欺瞞性を自己批判	
3006	258	1969/1/27	1	11	多難な学対協の前途 闘争の最初の ヤマ場を迎えて 「全学闘」への発展的改組が望まれる	
3007	258	1969/1/27	1	13	24日の評議会「白紙撤回案」の早急な審議 を両学部教授会に指示 今週中にも評議会の最終結論	
3008	259	1969/1/27	2	1	後期E自治会選挙 またも再建派の完勝 成功しなかった学芸自治会の全面介入 学芸自治会は学校側に「暴力学生」の処分を要求 経済自治会は学校側の強権的介入に抗議して学館占拠	
3009	259	1969/1/27	2	3	『一国社会主義論』= ナショナリズムの克服と世界革命 労研 黒杉巖	
3010	259	1969/1/27	2	3	論説 東大闘争の新局面 永続的闘いの再開あるのみ	
3011	259	1969/1/27	2	9	経済ゼミ闘争 ゼミ制度検討委員会成立 闘争の「窓口」が検討委だけに限定される恐れ	
3012	259	1969/1/27	2	11	第二回会議で採択 された経済自治会提出の 学対協協議案書 全文	
3013	260	1969/3/27	1	1	新たなる局面に立つ 学園闘争の展開	
3014	260	1969/3/27	1	1	論説 全国学園闘争と 和大全共闘	
3015	260	1969/3/27	1	2	E学部闘争経過 並びに大学当局の欺瞞性 問われている教授の姿勢	
3016	260	1969/3/27	1	9	L学部闘争の限界性と現執行部の無能力 矮小かつ閉鎖的闘争への批判	
3017	260	1969/3/27	1	13	ゼミ検討委員会の 発展とその転換	
3018	261	1969/3/27	2	1	全共闘の闘争 展開を問う 自己否定の思想を大衆に定着 させる運動過程提起の欠除	
3019	261	1969/3/27	2	4	学園闘争の持つ現在の問題点 自然と人間との均衡の危機 ”外界との『均衡』と『精神』について” 北山正迪	
3020	262	1970/12/1	1	1	偏見に取り囲まれた革命	
3021	262	1970/12/1	1	4	革命と蜂起と戦争と 獄中よりのアピール E・17期大久保文人	
3022	262	1970/12/1	1	11	叛光	
3023	263	1970/12/1	2	1	書評 ウィリアム＝バロウズ「裸のランチ」 河出書房	
3024	263	1970/12/1	2	2	映評 それにしても、「アリスのレストラン」でのあのアーロ ー・ガスリー君のモナリザにも似た微笑と、「俺たちに明日はない(ボニーアンドクライド)」で終始ヘラヘラと不 能の笑いを通したクライドとの間を結ぶものは、何なのだよ、アーサー・ベンさん。 映画研究会	
3025	263	1970/12/1	2	12	編集後雑感	
3026	264	1971/2/5	1	1	現実的諸前提と 歴史的必然性	
3027	264	1971/2/5	1	3	我々の立脚点 上村英之	
3028	264	1971/2/5	1	10	封鎖解除後一年 香山学生部長の弁	
3029	264	1971/2/5	1	11	60年代階級闘争と 全共闘運動	
3030	265	1971/2/5	2	1	映評	
3031	265	1971/2/5	2	1	書評 カルロス・マリゲーラ著「都市ゲリラ教程」 武装蜂起の準備を	
3032	265	1971/2/5	2	2	ぶつ切れの絹糸(ドラマ) の断面にいくつかの 孤立した置物が優しく光っていた 日本の悪霊	
3033	265	1971/2/5	2	6	部落解放運動に命を賭けて	
3034	265	1971/2/5	2	7	ある老闘士の魂	
3035	265	1971/2/5	2	10	叛光	
3036	265	1971/2/5	2	14	編集後雑感	
3037	266	1971/4/20	1	1	再び「大学の理念」を問う! 資料 大学の理念(続) 教育学部	
3038	266	1971/4/20	1	4	大学存在の基底を撃て! 強固なる戦線を構築せよ!	
3039	266	1971/4/20	1	7	ルポ 三里塚 二月二十二日	
3040	266	1971/4/20	1	9	文字どおりの支援から 真の連帯への肉迫へ!	
3041	267	1971/4/20	2	1	一面より続く	
3042	268	1971/5/15	1	1	4・28沖縄デー SCHEDULE闘争からゲリラ・武装闘争の地平へ!	
3043	268	1971/5/15	1	5	<資料> 大学の理念 教育学部	
3044	269	1971/5/15	2	1	連続蜂起に向け遊撃戦を闘い抜け! 1・25東京千代田公会堂に於て、革命戦線と京浜安保共闘による 政治集会が開かれ、日本武装 蜂起闘争の開始と世界革命戦争勝利に向けアピールが行われた。これは、その時の、共同宣言 であり、蜂起戦争統一戦線の戦争宣言である(編集局)	
3045	269	1971/5/15	2	2	共同宣言 日本革命戦線 京浜安保共闘	
3046	269	1971/5/15	2	9	4・28「沖縄デー」	
3047	270	1971/6/20	1	1	経済学部ストライキ貫徹 全国の沖縄・三里塚闘争に呼応して	
3048	270	1971/6/20	1	6	新聞会報 三里塚第二次強制 執行を断固粉碎せよ!	
3049	271	1971/6/20	2	1	ゼロからの出発? 寮祭を終って	
3050	271	1971/6/20	2	1	「水俣」は日本社会の縮図 古賀紀秋	
3051	271	1971/6/20	2	6	「平和なく情況」がすぎさってゆく。しかし シコシコと運動体は定着してい	
3052	272	1971/12/5	1	1	ベンガルの 革命と中国 特別寄稿 湯浅超男	
3053	272	1971/12/5	1	9	まつり考 上田章	
3054	273	1971/12/5	2	1	中国革命史 岩村三千夫	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
3055	273	1971/12/5	2	1	新聞会報	
3056	273	1971/12/5	2	3	抗日戦争期	
3057	273	1971/12/5	2	15	編集後記	
3058	274	1972/6/10	1	1	我々の運動の 緊急の課題 革命的労働者 学生諸君へ 清沢一人	
3059	274	1972/6/10	1	1	書評 山中隆次 青年 マルクス論 広松渉著(平凡社刊)	
3060	274	1972/6/10	1	3	青年マルクスの思想形成の考察	
3061	274	1972/6/10	1	10	中国革命史	
3062	274	1972/6/10	1	13	抗日戦争期 (2)岩村三千夫	
3063	275	1972/6/10	2	1	あふるる意志もて 自己の限界を突破せよ 山本富雄	
3064	275	1972/6/10	2	1	新聞会報	
3065	275	1972/6/10	2	2	中谷病院闘争に支援を 中谷病院労働組合の歩み <1>	
3066	276	1975/5/10	1	1	新たな擬制社会 への出発 新入生歓迎特集	
3067	276	1975/5/10	1	1	主張	
3068	276	1975/5/10	1	2	入学式開かる	
3069	276	1975/5/10	1	4	学内声の欄 新入生 インタビュー結果	
3070	276	1975/5/10	1	7	学内通信	
3071	277	1975/5/10	2	1	問題提起 いま僕たちにとって 性とは何か 南木隆治	
3072	277	1975/5/10	2	2	1 まえがき	
3073	277	1975/5/10	2	6	2 性における僕たちの感性	
3074	277	1975/5/10	2	8	今年度の事業方針	
3075	278	1975/5/10	3	7	3 性における 僕たちの現実	
3076	278	1975/5/10	3	11	今日のなかの昨日と明日	
3077	279	1975/5/10	4	1	性特集にあたって (編集部)	
3078	279	1975/5/10	4	2	4 性における疎外	
3079	279	1975/5/10	4	7	新聞会公示	
3080	279	1975/5/10	4	13	(編集部からのお知らせ)	
3081	280	1983/7/4	1	1	和滋戦 熱戦の末痛み分け トータルで7勝9敗2引き分け	
3082	280	1983/7/4	1	2	来年に望みをつなぐ	
3083	280	1983/7/4	1	7	青鉛筆	
3084	281	1983/7/4	2	1	学術の中心としての和大的発展を 経済学部委員長 吉川忍	
3085	281	1983/7/4	2	1	新自治会委員長語る	
3086	281	1983/7/4	2	1	民主的な統合移転の実現が重要 教育学部委員長 貴志周司	
3087	281	1983/7/4	2	6	これが大学移転先だ	
3088	282	1983/7/4	3	1	ひとかけらの夏	
3089	282	1983/7/4	3	1	「この人は誰だ」	
3090	282	1983/7/4	3	2	大阪のニ〇三高地・キタの決戦 キタには男の詩がある	
3091	282	1983/7/4	3	5	マンガ評 たかがまんが やっぱりまんが	
3092	282	1983/7/4	3	6	映画	
3093	282	1983/7/4	3	8	いっつにゆう	
3094	283	1983/7/4	4	1	タイ・ビルマ視察記	
3095	283	1983/7/4	4	1	クロスワードパズル	
3096	283	1983/7/4	4	6	大学祭実行委員長に聞く 高林実行委員長	
3097	283	1983/7/4	4	10	クラブ紹介	
3098	284	1985/10/14	1	1	教育学部栄谷へ 今後さまざまな課題残される	
3099	284	1985/10/14	1	2	その時報道機関は	
3100	285	1985/10/14	2	1	栄谷キャンパス周辺マップ	
3101	285	1985/10/14	2	2	大学祭に明日はあるか	
3102	285	1985/10/14	2	5	余録	
3103	285	1985/10/14	3	1	七夕まつり写真集	
3104	285	1985/10/14	3	2	生協解散総会 西専務理事があいさつ	
3105	285	1985/10/14	3	2	架空対談「ポルノ映画タイトルにおける考現学」 芝池博幸	
3106	286	1985/10/14	4	1	クラブ情報 文化系編	
3107	286	1985/10/14	4	1	運動会のすすめ 植田泰史	
3108	286	1985/10/14	4	5	ミニミニルポ① 引越しの現場から	
3109	286	1985/10/14	4	7	ミニミニルポ② 真砂分館	
3110	286	1985/10/14	4	7	編集後記	
3111	287	1985/11/14	1	1	状況	
3112	287	1985/11/14	1	3	'85 大学祭目前!	
3113	287	1985/11/14	1	4	暗部	
3114	287	1985/11/14	1	4	なぜ、大学祭?	
3115	287	1985/11/14	1	4	インタビュー 1年生 大学祭実行委員	
3116	287	1985/11/14	1	7	三重大学写真レポート	
3117	288	1985/11/14	2	1	奥様突撃インタビュー 第一回 高木栄一夫人 礼子の場合	
3118	288	1985/11/14	2	7	栄谷便り その一 帝橋	
3119	288	1985/11/14	2	9	新聞会アンケート結果	
3120	288	1985/11/14	3	1	”言いたい放題演劇批評” 37期甲文類51番日暮祥子	
3121	288	1985/11/14	3	1	強制販売その傾向と対策	
3122	289	1985/11/14	4	1	ほろびゆくクラブ栄えゆくクラブ	
3123	289	1985/11/14	4	1	第1回学生意識調査・要求集約	

整理No.	画像No.	年月日	頁数	段数	見出し	備考
3124	289	1985/11/14	4	5	文連役員選挙結果	
3125	289	1985/11/14	4	5	学生決起集会開かれる	
3126	289	1985/11/14	4	7	医大から	
3127	289	1985/11/14	4	7	視察相続く	
3128	289	1985/11/14	4	7	アンケート結果パートⅢ	
3129	289	1985/11/14	4	9	大掃除大会開かれる	
3130	289	1985/11/14	4	9	クラブ雑報	